

木更津市の教育

令和 4 年度

木更津市教育委員会

は じ め に

市政の発展にともない、木更津市の教育が遅滞なく着実な歩みを続けておりますことは喜びに耐えないところであります。これもひとえに、教育関係各位ならびに市民の皆様のご理解とご協力の賜物であり、深く感謝申し上げます。

令和４年度は、引き続き新型コロナウイルスの感染防止対策が求められる中で、タブレット端末を活用したオンライン授業を積極的に行い、子どもたちが安心して学べる教育環境を整備しました。

そのほかにも、児童・生徒の増加が見込まれる金田小中学校の用地の取得や、第３子以降の学校給食費の無償化による子育て世代の支援を行うなど、教育施設や教育体制の整備に努めております。

また、令和４年１１月３日には市制施行８０周年を記念し「K I S A R A Z U C O L L E C T I O N 2 0 2 2」が開催され、公募で選ばれた小中学生３０名がモデルとなって、輝かしくステージを飾りました。

現在、木更津市では、全国的な少子化社会の中、定住促進による人口増加がみられ、児童生徒数もほぼ横ばいの状況にあります。このような中、本市の教育の基本理念である「子どもを育む環境づくり・まちを支える人づくり」は、この地域が活力ある豊かな社会として発展していく上で、欠くことのできない取組条件であり、教育の果たす役割は、ますます重要なものになってきています。

教育をめぐる社会環境が大きく変化している中、今後も「まちづくりの礎は人づくり」という強い思いをもって、様々な教育環境の整備、施策の推進にあたってまいりたいと考えています。

ここに、令和４年度の「木更津市の教育」を刊行し、本市の教育の現況をお知らせするとともに、木更津市教育の更なる進展に向けて、今後のご指導、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和５年３月

教育長 廣 部 昌 弘

木更津市の教育目標

子どもを育む環境づくり

1. 子育て支援の充実
2. 学校教育の充実
3. 青少年の健全育成

まちを支える人づくり

1. 社会教育の推進
2. スポーツ・レクリエーションの振興
3. 市民文化の充実
4. 人権擁護の推進

目 次

は じ め に 木更津市の教育目標

1. 木更津市の概要

位置・地勢・市制施行・人口	3
沿革	4

2. 木更津市 教育振興基本計画

教育振興基本計画	9
----------	---

3. 木更津市 教育大綱

教育大綱	15
------	----

4. 教 育 行 財 政

教育委員	21
教育委員会会議	22
教育委員会表彰	23
教育委員会機構図	25
教育委員会職員数	28
教育財政	29

5. 学 校 教 育

重点目標	33
小・中学校一覧	38
教育相談・教職員研修・学校支援事業	40
幼児言語教室	41
特別支援教育	42
就学援助	44
学校保健	45
学校給食	47

6. 生 涯 学 習

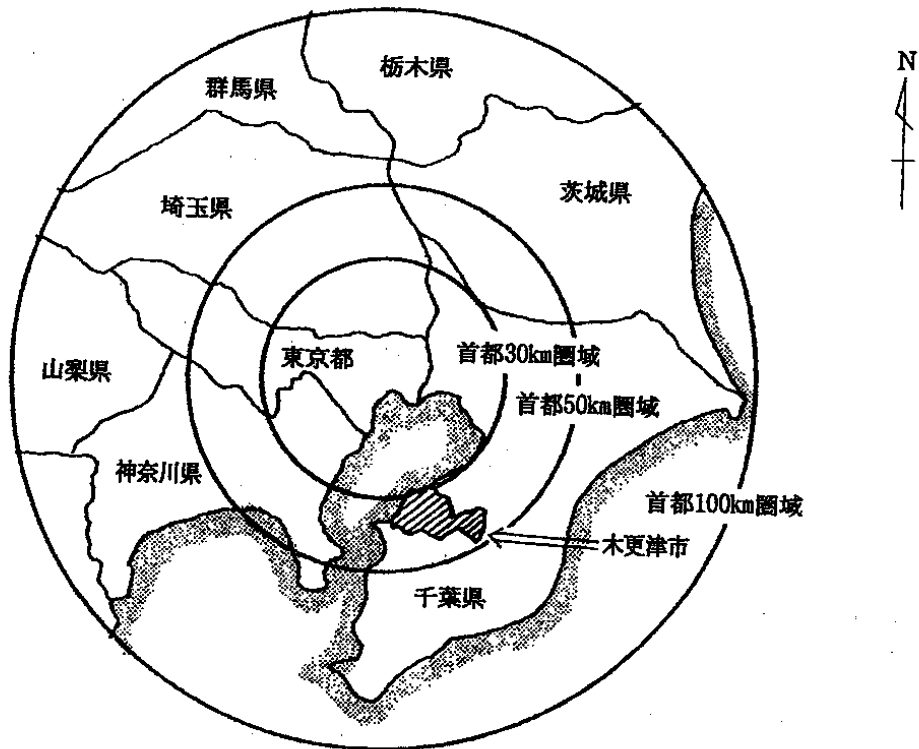
重点目標	51
社会教育事業	56
公民館	60
少年自然の家キャンプ場	69
図書館	70
郷土博物館金のすず	74
青少年指導関係	80

7. 資 料

歴代教育委員及び教育長	85
教育功勞被表彰者一覧	88
市内指定等文化財一覧	91
学 校 施 設 等	92
社会教育施設	95

1. 木更津市の概要

位 置



地 勢

令和 5 年 1 月 1 日現在

市役所の位置		広 ば う		標 高		面 積
東 経	北 緯	東 西	南 北	最 高	最 低	
139° 92′ 48″	35° 38′ 12″	21.98km	14.54 km	200.0m 真里谷	0.1m 畔戸	138.90 km ²

市制施行

昭和 1 7 年 1 1 月 3 日

人 口

1 3 6, 3 0 3 人 (令和 5 年 1 月 1 日現在の住民基本台帳による)

沿 革

「きさらづ」の名が文献に現れてきたのは、鎌倉時代に入ってからであるが、日本武尊の東夷征討伝説として『相模の走水から上総へ渡ろうとしたとき、海上にわかには強風が起こり、船はいまにも転覆せんとした。尊の妃弟橘媛命は、身をもって尊の命を救わんと海中に身を投じ、海神を慰めたので、怒濤はたちまちにしておさまり、無事上総へ渡ることができた。尊は、媛の末路を哀れみ、その運命を悲しんで、しばしこの地を去らず、後年この地を「君不去」（きみさらず）と名づけ、更になまりが変って「きさらづ」になった』という話が語り継がれている。

菅生の弥生時代農耕遺跡や長須賀の金鈴塚古墳から発掘された金鈴や飾り大刀などから考えてみても、木更津の地が古代から豪族や庶民の一大集落地として栄えていたことが立証される。

古代から平安時代の末までは、馬来田国造の支配や上総氏一族の支配を経て、鎌倉時代に入った。

室町・戦国時代には、真里谷武田氏・北条氏・里見氏の勢力がこの地の覇権を争った。天正18年(1590)、里見氏削封の後、江戸時代の末に一部請西藩の領地になったが、概ね旗本の知行所となり、明治維新に及んだ。

明治元年(1868)4月、木更津・貝渕・吾妻の3村は上総・安房監察兼知事柴山典の所轄となり、明治4年(1871)廃藩置県の改革によって桜井県の所轄に、更に同年11月には従来の諸県が廃されて木更津県となったものの、明治6年(1873)6月、木更津県は廃され千葉県を置くこととなった。

明治11年(1878)、県の官制改革によって郡制が設けられ、郡区町村編成法を定めて望陀・周淮・天羽の3郡を一区画とし、郡役所を木更津村に置き、望陀周淮天羽郡役所と称した。

その後は郡長の下に戸長制を敷いていたが、明治22年(1889)4月、市町村制が実施されて木更津・貝渕・吾妻の3村が合併し木更津町ができた。

明治30年(1897)4月に郡制が施行されて望陀・周淮・天羽の3郡は君津郡と改称され、大正15年(1926)6月、郡役所廃止に至るまで、君津郡役所の所在地となった。

昭和7年(1932)、県営築港に着手、時を同じくして海面埋立工事が行われ、翌昭和8年(1933)4月には隣接の真舟村を合併して町勢は著しく進展した。

昭和11年(1936)、築港・埋立の両工事が完成し、海路による京浜方面への利便は一段と増す一方、同年4月、木更津海軍航空隊が設置され、更に昭和16年(1941)11月、隣接の岩根村に工員1万7千人を擁する海軍航空廠が設置されたことにより、一躍軍都としてのめざましい発展を見るに至り、隣接町村間との市制施行の盛り上りによって、昭和17年(1942)11月3日、木更津町、清川村・岩根村・波岡村による1町3村が合併し、市域54.23km²、人口33,817人、全国第197番、千葉県下6番目の市として木更津市が誕生した。

木更津市はそのまま軍都として繁栄するかと思われたが、市制施行後3年目にして太平洋戦争も終わり、一転して商業都市としての新しい第一歩を踏み出すことになった。

昭和28年(1953)、町村合併法の公布によって、木更津・鎌足・金田・中郷の1市3村の合併問題が討議され、翌昭和29年(1954)11月3日に鎌足村を、同30年(1955)2月11日に金田村を、同年3月1日に中郷村をそれぞれ合併し、一躍、人口も5万人を超える木更津市となった。

やがて一連の臨海部埋立による京葉臨海工業地帯の発展に伴い、昭和36年(1961)、隣接の君津町（現君津市）と本市の臨海部にまたがって八幡製鐵（現日本製鉄㈱）の進出が決まり、同40年(1965)の操業を契機として関連企業の進出による工業化も一段と進展するなか、内陸部での土地区画整理事

業をはじめ民間宅地造成等の開発も急速に進み、首都圏内の近郊都市として発展、同43年(1968)4月、木更津港の重要港湾指定により著しい変貌を遂げてきた。

昭和46年(1971)9月に富来田町と合併し概ね現在の市域となり、昭和40年代～50年代にかけては、市民体育館、中央公民館、保健相談センター、市民総合福祉会館などの教育施設や福祉施設などの充実が進んだ。

時代が平成に変わってからは、平成4年(1992)、首都機能の一躍を担う業務核都市に位置づけられるとともに、県の千葉新産業三角構想(昭和58年)の一角に位置づけられたかずさアカデミアパークの整備が進展した。

平成9年(1997)には東京湾アクアラインが開通し、東関東自動車道館山線や首都圏中央連絡自動車道等の整備とあわせ、交通の結節点としての機能が強化された。

平成20年(2008)年には木更津市郷土博物館金のすずが開館し郷土の歴史・文化を物語る史資料を公開するとともに平成21年4月には木更津市学校給食センターが稼働開始となり小中学校の完全給食が実現となる。

その後、東京・神奈川とを結ぶ東京湾アクアライン高速バス網の充実や平成21年(2009)から実施された東京湾アクアライン料金引下げ社会実験による地域経済への様々な波及効果等から、平成23年(2011)には人口が13万人を超えた。

平成24年(2012)には、かずさアクアシティの金田東地区まちびらきに伴い、大型集客施設が相次いで開業するとともに、第1回目のちばアクアラインマラソンが開催されるなど、交流人口の増加が顕著となる。

平成26年(2014)10月には、築地地区に大型集客施設が開業するとともに、平成29年(2017)10月には、道の駅「木更津 うまくたの里」が開業し、地域全体への活力や求心力が高まりをみせている。

平成31年(2019)には富岡小学校と馬来田小学校が統合し富来田小学校が誕生するとともに中郷中学校と清川中学校が統合された。

2. 木更津市 教育振興基本計画

木更津市教育振興基本計画

【教育の基本理念・指針と基本目標】

教育の基本理念

子どもを育む環境づくり・まちを支える人づくり

教育の基本指針

まなびあい、きらりかがやく「教育都市きさらづ」

基本目標

- 1 次代を担う子どもたちを地域の中で安心して産み育てることができる環境づくりをめざします。
- 2 児童・生徒の「生きる力」を育むため、家庭や地域社会から信頼される魅力ある学校づくりをめざします。
- 3 青少年の健やかな成長を社会全体で支える仕組みを整備し、ひとりの人間として自立した、こころ豊かな人間性と主体的な判断力をもつ青少年を育みます。
- 4 自然と文化を愛し、だれもが自ら学び、健康で生きがいのある生活を送ることができる生涯学習社会の実現をめざします。
- 5 健康の保持・増進や市民相互の交流を促進するために、市民が気軽にスポーツ・レクリエーションに親しむことができ、運動習慣を身につけることができる生涯スポーツの環境づくりをめざします。
- 6 歴史・文化・芸術に触れる機会を市民に提供することで、市民による芸術文化活動を活性化するとともに、地域の文化遺産や伝統芸能を次世代に引き継ぐことをめざします。
- 7 人権問題に対する正しい認識を広めることにより、だれもお互いを認めあい、自分らしい生き方ができる差別のない社会をめざします。

【計画の対象期間：2019年度～2022年度】

年度	H27	H28	H29	H30	H31 (R1)	R2	R3	R4
木更津市	基本構想（目標年次：R12）							
	木更津市第1次基本計画				木更津市第2次基本計画			
	木更津市教育大綱				木更津市第2次教育大綱			
	木更津市教育振興基本計画				木更津市第2期教育振興基本計画			

【基本目標を実現するための政策・施策】

基本理念	基本目標	政 策	施 策
子どもを育む 環境づくり	1 次代を担う子ども たちを地域の中で 安心して産み育て ることができる環 境づくりをめざし ます。	<Ⅰ> 子育て支援の充実	子育て支援の充実 ①子どもの居場所づくり ア) 放課後等の子どもの居場所づくり（生涯学習課） イ) 余裕教室の活用促進（教育総務課）
	2 児童・生徒の「生 きる力」を育むた め、家庭や地域社 会から信頼される 魅力ある学校づく りをめざします。	<Ⅱ> 学校教育の充実	学校教育の充実 ①教育内容の充実 ア) 確かな学力の育成（学校教育課・まなび支援センター） イ) 心の教育の推進（学校教育課・まなび支援センター） ウ) 健康・体育・安全指導の充実（学校教育課・学校給食課・給食セン ター） エ) 読書活動の推進（学校教育課・まなび支援センター） オ) 国際理解教育の推進（学校教育課・まなび支援センター） カ) 情報教育の推進（学校教育課・まなび支援センター） キ) キャリア教育の充実（学校教育課・まなび支援センター） ク) 環境学習の推進（学校教育課・まなび支援センター） ケ) 就学援助事業の推進（学校教育課） コ) 小中一貫教育の推進（学校教育課） ②教育環境の整備 ア) 市立小中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針の見直し （学校教育課） イ) 管理用備品の整備（教育総務課） ウ) 学校教育施設の耐震対策（学校教育課・教育総務課） エ) 学校教育施設の適正な保全（学校教育課・教育総務課） オ) 学校教育施設の環境整備（学校教育課・教育総務課・学校給食課・ 給食センター） カ) 学校内のＩＣＴ環境の整備（まなび支援センター・教育総務課） ③特別支援教育の推進 ア) 特別支援体制づくりの推進（学校教育課・まなび支援センター） イ) 学校における特別支援教育の充実（学校教育課・まなび支援セン ター） ウ) 就学時の学校適応事業の推進（学校教育課・まなび支援センター） ④生徒指導等の充実 ア) 学校内の教育相談体制の整備（学校教育課・まなび支援センター） イ) 学校外の教育相談体制の整備（学校教育課・まなび支援センター） ウ) 学校適応指導教室の充実（学校教育課・まなび支援センター） ⑤開かれた学校づくりの推進 ア) 地域の教育力を活かす事業の推進（学校教育課・まなび支援セン ター） イ) 学校評価事業の推進（学校教育課・まなび支援センター）
	3 青少年の健やかな 成長を社会全体で 支える仕組みを整 備し、ひとりの人 間として自立し た、こころ豊かな 人間性と主体的な 判断力をもと青少 年を育みます。	<Ⅲ> 青少年の健全育成	青少年の健全育成 ①青少年育成推進体制の充実と地域教育力の向上 ア) 青少年育成支援施策の総合的な推進（生涯学習課） イ) 地域教育力の向上（生涯学習課） ウ) 地域の青少年健全育成活動の支援（生涯学習課） ②青少年育成事業の推進 ア) 青少年育成事業の実施（生涯学習課） イ) 少年自然の家キャンプ場の利用促進（生涯学習課） ウ) ボランティアの活用と活性化（生涯学習課） ③青少年を取り巻く環境浄化と非行防止 ア) 社会教育指導員等専門家による相談活動の実施（まなび支援セン ター） イ) 青少年への愛の一声運動による非行防止活動（まなび支援セン ター） ウ) 青少年非行防止啓発活動の実施（まなび支援センター・生涯学習 課） エ) 有害環境浄化活動の推進（まなび支援センター・生涯学習課） オ) 連携・ネットワークによる青少年指導関係事業の実施（まなび支援 センター）

基本理念	基本目標	政 策	施 策
まちを支える 人づくり	4 自然と文化を愛し、だれもが自ら学び、健康で生きがいのある生活を送ることができる生涯学習社会の実現をめざします。	<Ⅳ> 社会教育の推進	社会教育の充実 ①生涯学習・社会教育推進体制の充実 ア) 市民参画による社会教育行政の推進（生涯学習課） イ) 社会教育振興のための支援体制の充実（生涯学習課） ウ) 生涯学習の基盤整備と総合調整（生涯学習課） ②生涯学習・社会教育活動の充実 ア) 子育て・家庭教育支援事業の充実（生涯学習課） イ) 女性の社会参加の促進（生涯学習課） ウ) 生涯学習を通じたまちづくりの振興（生涯学習課） エ) 社会教育関係団体の育成と支援（生涯学習課） オ) 生涯学習成果の活用（生涯学習課） ③図書館サービスの充実 ア) 地域の実情に即した図書館運営（図書館） イ) 公民館等地域の読書環境の充実（図書館・公民館） ウ) 学校との連携の強化（図書館・学校教育課） エ) 魅力ある図書館事業の展開（図書館） ④公民館活動の充実 ア) 市民一人ひとりの要望と社会の要請に対応した事業の展開（公民館） イ) 家庭教育に関する学習機会の提供（公民館） ウ) 地域ぐるみの青少年教育事業の展開（公民館） エ) 高齢者の学習機会の提供と社会参加の促進（公民館） オ) 市民とともに歩む公民館活動の推進（公民館） ⑤社会教育施設の整備（郷土博物館金のすずを除く） ア) 社会教育施設の耐震対策（生涯学習課・公民館） イ) 社会教育施設の適正な保全・整備（生涯学習課・公民館）
	5 健康の保持・増進や市民相互の交流を促進するために、市民が気軽にスポーツ・レクリエーションに親しむことができ、運動習慣を身につけることができる生涯スポーツの環境づくりをめざします。	<Ⅴ> スポーツ・レクリエーションの振興	スポーツ・レクリエーションの振興 ①スポーツ・レクリエーション活動の推進 ア) スポーツ大会の誘致促進（学校教育課） イ) 学校体育施設の放課後開放（教育総務課）
	6 歴史・文化・芸術に触れる機会を市民に提供することで、市民による芸術文化活動を活性化するとともに、地域の文化遺産や伝統芸能を次世代に引き継ぐことをめざします。	<Ⅵ> 市民文化の充実	市民文化の充実 ①芸術文化活動の推進 ア) 芸術文化活動の充実（文化課） イ) 芸術文化団体への支援（文化課） ②ふるさと文化の継承 ア) 文化財保護対策の推進（文化課） イ) 埋蔵文化財保護対策の推進（文化課） ウ) 木更津市史の編さん・刊行（文化課） エ) 博物館事業の充実（木更津市郷土博物館金のすず） オ) 金鈴塚古墳出土品の調査研究の推進（文化課・木更津市郷土博物館金のすず） カ) 郷土に関する調査研究の推進（文化課・木更津市郷土博物館金のすず） ③文化施設・木更津市郷土博物館金のすずの整備 ア) 文化施設の適正な保全・整備（文化課・木更津市郷土博物館金のすず）
	7 人権問題に対する正しい認識を広めることにより、だれもお互いを認めあい、自分らしい生き方ができる差別のない社会をめざします。	<Ⅶ> 人権擁護の推進	人権擁護の推進 ①人権意識の高揚 ア) 人権教育研修会の開催（生涯学習課） イ) 人権啓発活動の実施（生涯学習課）

3. 木 更 津 市 教 育 大 綱

木更津市第2次教育大綱

1 趣旨

平成27年4月から施行された地方教育行政の組織及び運営に関する法律では、市長と教育委員会から構成する総合教育会議を設置することが義務付けされました。

また、同会議において、地域の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めるものとされ、本市では平成27年11月に木更津市教育大綱を策定し、市長と教育委員会が連携してそれぞれの施策を進めてきました。

今般、この教育大綱の期間が平成31年3月をもって終了することから、市長と教育委員会が協議、調整のうえ、新たな教育大綱を定めるものです。

2 大綱の位置づけ

市長は、総合計画である「木更津市第2次基本計画」を、教育委員会は、教育振興の基本計画である「第2期木更津市教育振興基本計画」を所管し、施策を推進しています。

この教育大綱は、市長が教育行政のうち、特に重点的に教育委員会と連携して進めるべき事項について、総合教育会議における協議を経て定めたもので、「木更津市第2次基本計画」及び「第2期木更津市教育振興基本計画」と同様に7つの施策から構成されます。

3 計画期間 2019年4月から2023年3月まで

4 基本目標

魅力あふれる 創造都市 きさらづ～東京湾岸の人とまちを結ぶ躍動するまち～（木更津市基本構想）

- ・人がつながり支え合うまちづくり（木更津市第2次基本計画・重点テーマ）

良好な教育環境の提供

- ・～まなびあい、きらりかがやく「教育都市きさらづ」～（第2期木更津市教育振興基本計画）

5 基本施策

（1）子育て支援の充実

①児童生徒の放課後の居場所づくりを推進します。

放課後に児童生徒が安心して過ごせる場所が必要です。引き続き放課後子ども教室や放課後児童クラブに関する施設整備や担い手の確保を進め、放課後に児童生徒が安全かつ有意義に過ごせる居場所をつくり、子育てを支援します。

（2）学校教育の充実

①小中学校の統合の検討及び学校跡地の利活用を進めます。

「木更津市立小中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針」に基づき、小中学校の再配置を進めるとともに、同方針と整合を図り、統合後の学校跡地の有効活用や社会教育施設との複合化を検討します。

②グローバルな人材を育成します。

外国語指導助手（ＡＬＴ）の拡充や海外の友好都市との交流により、児童生徒の国際的な視野を養うとともに、コミュニケーション能力を高めます。

③健康な体を育むために、児童生徒の体力向上に取り組めます。

児童生徒の体力向上や健康づくりを支援していくとともに、「２０２０年東京オリンピック・パラリンピック競技大会」を契機として、児童生徒のスポーツに親しむ意識を高めます。

④顔の見える「地産地消」給食を推進します。

児童生徒の食育や持続可能なまちづくりに対する関心を高め、郷土意識の醸成を図るため、学校給食に地元で採れた有機・無農薬米や野菜等の素材を取り入れる地産地消給食を拡大していくとともに、これをきっかけとした地域の人たちとの交流を広げます。

（３）青少年の健全育成

①青少年が地域社会の一員となるよう支援します。

価値観やライフスタイルの変化により青少年が地域の人たちと交流する機会が減少しています。青少年が地域の人と交流し、地域を支える担い手となる人づくりを進めます。

（４）社会教育の推進

①社会教育施設とその機能の充実を図ります。

「木更津市公共施設再配置計画」等に基づき、機能の維持を図りながら社会教育施設と小中学校との複合化による再配置を検討します。

②住民主体の地域づくりの担い手を育成、支援します。

防災や福祉、青少年健全育成などについて、解決すべき地域の課題があります。地域で自ら課題を解決する力を養い、協働してまちづくりを進められる地域の担い手の育成、支援をします。

（５）スポーツ・レクリエーションの振興

①学校体育施設の有効活用を図ります。

市民が気軽にスポーツをするための施設の確保が必要です。引き続き、学校体育施設の有効活用を積極的に進めます。

②スポーツ大会の開催及び誘致・支援を推進します。

江川総合運動場の陸上競技場等を活用して、児童生徒を対象とした各種スポーツ大会を積極的に誘致するとともに、児童生徒がスポーツに接する機会を増やします。

（６）市民文化の充実

①多彩な芸術文化活動を推進します。

市民が身近な地域文化や多彩な芸術文化に触れる機会を提供するとともに、市民の芸術文化活動の発表の場となる新たな市民会館ホールの建設及び運営方法について検討します。

②文化財を活用した地域の活性化を推進します。

金鈴塚古墳出土品など地域の特色ある文化財の価値や魅力を市内外に広く発信することを通じて、郷土意識の醸成や観光・産業振興等に活かします。

(7) 人権擁護の推進

①人権問題に係る教育や啓発等を推進します。

児童虐待、いじめ問題などの身体的、精神的な暴力の防止を図るとともに、L G B T等への差別、偏見などさまざまな人権問題に対して、多様性を認め合える豊かな心の育成をします。

4. 教 育 行 財 政

教育委員



教 育 長
廣 部 昌 弘



教育長職務代理者
渡 部 佳 子



委 員
豊 田 雅 之



委 員
小 寺 孝 次 郎



委 員
加 藤 緑

役 職	氏 名	就任年月日	職 業
教 育 長	廣 部 昌 弘	R3. 4. 1	
教育長職務代理者	渡 部 佳 子	H28. 10. 1	
委 員	豊 田 雅 之	R4. 10. 1	
委 員	小 寺 孝 治 郎	R3. 10. 1	医 師
委 員	加 藤 緑	R4. 4. 1	専任講師

教育委員会会議

○ 令和３年及び令和４年の会議開催数

区 分	回 数	
	R3	R4
定 例 会	12	12
臨 時 会	1	0
計	13	12

○ 令和３年及び令和４年に議決された案件

内 容	件 数	
	R3	R4
○教育行政の運営に関する基本方針の決定に関する事。	1	2
○教育委員会事務の点検評価に係る報告書の作成・議会への報告・公表		1
○教育機関の設置及び廃止に関する事。		
○教育財産の取得及び処分の申し出に関する事。		
○職務の級が５級以上の職員等の任免に関する事。	2	1
○校長及び教頭の進退の内申に関する事。		
○職員及び教職員の分限及び懲戒の処分に関する事。		
○教育委員会規則の制定又は改廃に関する事。	1	4
○教育功労者の表彰に関する事。	1	1
○議会の議決を要する事件の議案の申し出に関する事。	1	4
○教育機関の敷地並びに建物の設定又は変更に関する事。	2	
○附属機関の委員の任命又は委嘱に関する事。	9	5
○教育関係職員の研修の一般方針の決定に関する事。		
○教科書採択及び教科書等の取扱いの一般方針の決定に関する事。	2	2
○学校の通学区域の設定又は変更に関する事。		
○文化財の指定及び解除に関する事。		1
○職員団体との重要な交渉に関する事。		
○請願及び陳情に関する事。		
○その他	3	4
計	22	25

教育委員会表彰

昭和28年「教育功績者表彰内規」が制定され、木更津市教育の向上に功績のあった個人及び団体について表彰していたが、昭和44年「教育委員会表彰規程」に改正され、木更津市における教育・学術又は文化の振興に関し、特に顕著であった個人又は団体を表彰するもので、11月に表彰式を行う。

○ 表 彰 基 準

1. 職員にして教育向上のため尽力し、その功績が顕著なもの
2. 有益な研究、考案又は発明をし、教育に貢献したもの
3. 学校教育又は社会教育の振興について、その功績が顕著であったもの
4. 学術又は文化の向上発展について、その功績が顕著であったもの
5. 上記1～4以外で、表彰することが適当と認められる業績があったもの

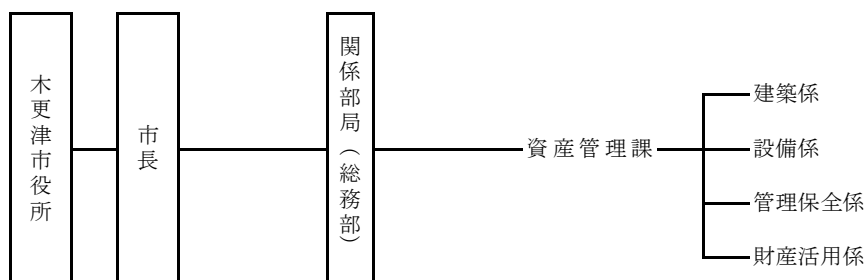
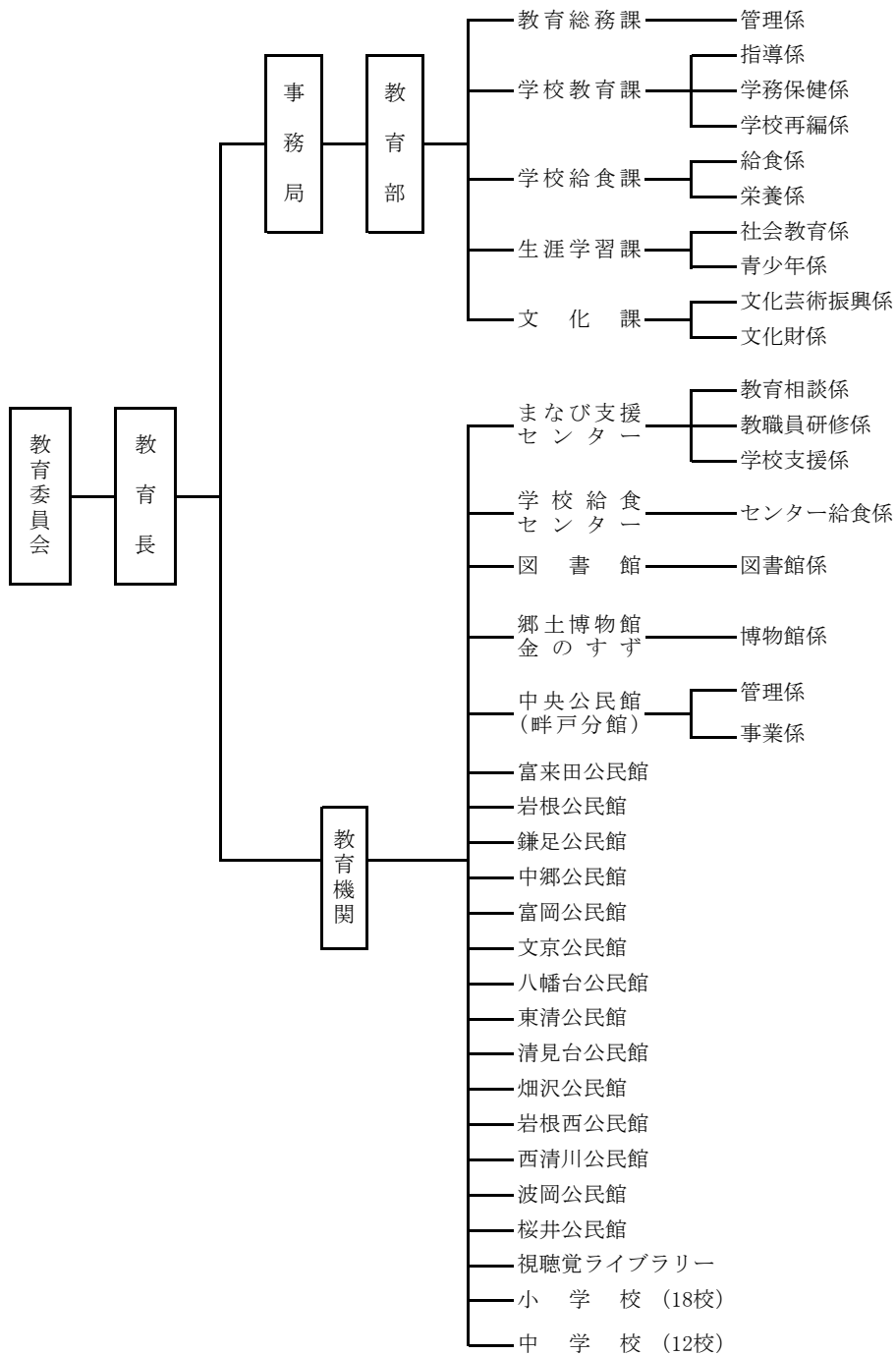
○ 令和4年度被表彰者

所 属 等	氏 名	備 考
木更津第一小学校 校長	篠 田 薫	
請西小学校 校長	齋 藤 雄 一	
木更津第一中学校 校長	西 克 夫	
金田中学校 校長	吉 沢 信 之	
富来田中学校 校長	臼 井 弘 子	
太田中学校 校長	唐 鎌 勲	
岩根中学校 前校長	故 窪 田 宏 一	
岩根中学校 教頭	根 本 勝 也	
富来田小学校 教諭	宮 下 英 子	
太田中学校 教諭	額 賀 美代子	
太田中学校 教諭	藤 寄 啓 子	
波岡中学校 教諭	鳥 飼 栄 一	
鎌足中学校 養護教諭	石 渡 恵 理	
畑沢小学校 事務長	入 野 すみ江	
木更津市スポーツ推進委員会 委員	吉 澤 隆 子	

木更津市スポーツ推進委員会 委員	藤 浪 孝	
木更津市文化協会 理事	天 野 早 苗	

教育委員会等機構図

令和5年1月1日現在



○ 事務局（教育部）の業務内容

課 名	主 な 業 務 内 容
教育総務課	教育委員会会議、職員の任免・分限・服務及び身分、教育財産の取得又は処分・契約・登記及びその他管理、奨学基金、学校施設台帳の保存
学校教育課	教育課程・学習指導その他学校教育の指導、教職員の研修、教職員の配置等・人事、通学区域、学校保健、学校再編の計画推進
学校給食課	学校給食の運営、学校給食費の賦課・徴収
生涯学習課	生涯学習事業の企画及び振興、社会教育関係団体の育成、生涯学習バスの管理運営、青少年健全育成、少年自然の家キャンプ場
文 化 課	芸術・文化の振興、芸術文化団体の育成、文化財の調査・保護及び活用、埋蔵文化財の保護対策、文化財の指定及び管理、木更津市史の編さん

○ 教育機関の業務内容

機関名	主 な 業 務 内 容
まなび支援 セ ン タ ー	幼児及び保護者に対する指導・助言、教育相談教室・学校適応指導教室の運営、教職員研修の企画・運営、外国語指導助手の配置・指導等、青少年の非行防止・指導及び相談
学 校 給 食 セ ン タ ー	学校給食センターの管理運営、学校給食の献立作成・食材契約、配食校の食指導関係、食物アレルギー対応
図 書 館	図書館の管理運営、図書の管理・貸出、図書館協議会
郷土博物館 金 の す ず	郷土博物館金のすずの管理運営、郷土博物館金のすず協議会、旧安西家住宅、教育普及事業、展示事業、郷土資料の調査
公 民 館	公民館の管理運営、公民館の利用、定期講座、講習会等
視 聴 覚 ライブラリー (生涯学習課内)	視聴覚教材及び視聴覚機材の整備及び貸出しに関すること

○関係部局の業務内容

課 名	主 な 業 務 内 容
資産管理課	学校施設整備計画の作成、学校施設の整備に係る補助金、 教育施設の維持管理の要望処理、学校施設台帳の整備

教育委員会職員数

令和5年1月1日現在

○ 事 務 局

課 \ 職	部 長	次 長 部 参 事	課 長 主 幹	補 佐 副 主 幹	係 長 主 査	主任主事 主任技師	主 事 栄 養 士	事務員 嘱託員	計
教 育 部	1								1
教 育 総 務 課		1			2	1	1	1	6
学 校 教 育 課		1	1	1	7	3	1	会 (1)	14 会 (1)
学 校 給 食 課			1	2		2		1	6
生 涯 学 習 課			1		2	3	1	会 (2)	7 会 (2)
文 化 課			1	3	2	1	1	会 (18)	8 会 (18)
計	1	2	4	6	13	10	4	2 会 (2)	42 会 (2)

○ 教 育 機 関

機関 \ 職	館 所 館 長	主 幹 副 館 長	副 館 長 副 主 幹	主 査	主任主事 主任技師	主 事	事務員 栄 養 士	指導員 相談員 指導助手 支援員 管理人	計
ま な び 支 援 セ ン タ ー	1		3	5			会 (1)	会 (39)	9 会 (40)
学校給食センター	1		1		2				4
図 書 館	1		3	4	3		1	会 (7)	12 会 (7)
郷 土 博 物 館 の す ず	会 (1)	1	1		3			会 (2)	5 会 (3)
公 民 館	6 会 (9)		9	1	11	3	2	会 (22)	32 会 (31)
計	9 会 (11)	1	17	10	19	3	3 会 (1)	会 (68)	62 会 (80)

○ 小 中 学 校

学校 \ 職	副主幹	栄 養 士	総括：学校事務員 用務員・調理員	主任：学校事務員 用務員・調理員	学校事務員 用務員・調理員	計
小 学 校	1	6	1	7	会 (14)	15 会 (14)
中 学 校			1	3	会 (10)	4 会 (10)
計	1	6	2	10	会 (24)	19 会 (24)

教 育 財 政

○ 項目別教育費

単位：千円

款 項 目	令和4年度当初(A)		令和3年度当初(B)		比 較 ((A)-(B))	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
50 教育費	3,844,901	100.0%	4,285,914	100.0%	△ 441,013	△10.3%
5 教育総務費	526,553	13.7%	514,494	12.0%	12,059	2.3%
5 教育委員会費	17,225	0.4%	16,663	0.4%	562	3.4%
10 事務局費	372,393	9.7%	355,917	8.3%	16,476	4.6%
17 まなび支援センター費	136,935	3.6%	141,914	3.3%	△ 4,979	△3.5%
10 小学校費	580,326	15.1%	704,601	16.4%	△ 124,275	△17.6%
5 学校管理費	386,893	10.1%	502,918	11.7%	△ 116,025	△23.1%
10 教育振興費	165,701	4.3%	173,981	4.1%	△ 8,280	△4.8%
15 学校建設費	27,732	0.7%	27,702	0.6%	30	0.1%
15 中学校費	370,985	9.6%	663,188	15.5%	△ 292,203	△44.1%
5 学校管理費	220,096	5.7%	496,939	11.6%	△ 276,843	△55.7%
10 教育振興費	145,864	3.8%	166,249	3.9%	△ 20,385	△12.3%
15 学校建設費	5,025	0.1%	0	0.0%	5,025	－
20 幼稚園費	0	0.0%	0	0.0%	0	－
5 教育振興費	0	0.0%	0	0.0%	0	－
25 社会教育費	910,100	23.7%	895,531	20.9%	14,569	1.6%
5 社会教育総務費	161,580	4.2%	168,152	3.9%	△ 6,572	△3.9%
10 青少年育成費	11,924	0.3%	11,731	0.3%	193	1.6%
15 公民館費	477,660	12.4%	485,013	11.3%	△ 7,353	△1.5%
20 図書館費	179,552	4.7%	142,526	3.3%	37,026	26.0%
25 少年自然の家費	11,101	0.3%	11,678	0.3%	△ 577	△4.9%
27 博物館費	61,389	1.6%	70,539	1.6%	△ 9,150	△13.0%
30 生涯学習まちづくり推進事業費	6,894	0.2%	5,892	0.1%	1,002	17.0%
30 保健体育費	1,456,937	37.9%	1,508,100	35.2%	△ 51,163	△3.4%
5 保健体育総務費	0	0.0%	0	0.0%	0	－
10 体育施設費	0	0.0%	0	0.0%	0	－
20 学校給食費	1,456,937	37.9%	1,508,100	35.2%	△ 51,163	△3.4%

* 市民1人あたり教育費予算

28,208 円

(令和5年1月1日現在住民基本台帳人口136,303人)

5. 学 校 教 育

「自立する力」と「共生する姿勢」を身につけた児童生徒の育成

家庭・地域社会から信頼される魅力ある学校づくり

学校教育の重点目標

1. 学習習慣の形成

- ①基礎的・基本的学力の定着
- ②学習意欲を高める授業改善の推進
- ③学習に前向きな学級・集団づくり
- ④特別支援教育の充実
- ⑤読書活動の推進
- ⑥ICTを活用した学習活動の定着
- ⑦外国語・国際理解教育の充実
- ⑧キャリア教育の推進
- ⑨家庭学習の習慣化
- ⑩プログラミング教育の推進

2. 自他を大切にする心の育成

- ①正しく前向きな自己決定を促す生徒指導の推進
- ②「なかなかヤルー」運動の推進
※3つの心「やさしい心」「ルールを守る心」「一生懸命取り組む心」を育成する（自己肯定感を高める）
- ③道徳教育（人権教育）の充実
- ④いじめのない学級・集団づくり
- ⑤SDGs教育の推進
- ⑥長期欠席児童生徒対応の取組の強化
- ⑦コミュニケーション能力の育成
- ⑧共に学ぶ体験活動の工夫・充実

3. 健康・安全意識の確立

- ①健康意識・食品選択能力を育てる食育の推進
- ②健康的な生活習慣の定着
- ③運動意欲の高揚と体力の増進
- ④保健・体育授業の工夫・改善
- ⑤災害に備えた学校安全指導体制の充実
- ⑥地域の安全ネットワークの整備・充実
- ⑦児童生徒のメンタルヘルスの強化
- ⑧新型コロナウイルス感染予防対策の徹底

学校における具体的取組

①★年間1回は、算数数学検定を受検するように働きかける。 ※算数・数学検定ドリル（過去問題）の活用 ②★相互授業参観を定期的に設定する。 ③★県標準学テにおいて、各学年各教科で半数以上の児童生徒が県平均点を上回る。 ★小学校において、教科担任制、交換授業の導入を積極的に行う。 ④★校内委員会を定例化し、個別的教育支援計画、個別の指導計画の作成、活用を図る。（通常の学級含む） ※特別支援教育木更津システムの活用 ⑤★月1冊以上読書する児童生徒を90%以上にする。（読書0の児童生徒をなくす） ★市立図書館を効率的に活用する（電子図書を含む） ⑥★情報化推進チームを組織し、教職員のICT活用指導力の向上を図る。 ★全教職員がICTを活用した授業を行う。 ★ICTを活用した授業等の実践例をまなび支援センターHPで共有し、活用する。 ⑦★ALTとのチームティーチングを通して、外国語教育を充実させる。 ★ALTの活用を工夫し、国際理解教育を推進する。 ⑧★（小）6年生の就業密着観察学習を推進する。 （中）2年生の職場体験学習を充実させる。 ⑨★家庭学習啓発資料の作成・配付やA1ドリルの活用等、家庭学習の工夫や定着を目指した取組を行う。 ⑩★プログラミング教育に関する連携協定を活用し、プログラミング教育の充実を図る。	①★「学校評価木更津システム」を効果的に活用する。 ★生徒指導の機能を活かした学級経営、授業づくりを推進する。 ★生徒指導部会を定例化し、関係機関との連携ネットワークを明確にする。 ③★「考え、議論する道徳」を意識した特別の教科道徳の学習を、年35時間実施する。 ★地域行事に積極的に参加させる。（地域との交流・ボランティア活動） ★「木更津市いじめ防止対策基本方針」に則した各学校の基本計画を改訂し、いじめ防止、いじめ対応の体制強化を図る。 ★いじめ実態調査を年間3回行う。 ④★学級経営、いじめ防止対策（生徒指導・教育相談・望ましい集団づくり）に関する校内研修を行う。 ★児童生徒の自治的活動による「いじめ防止」を推進する。 ⑤★SDGsについて学習する機会を設定する。 ★長欠対策部会を組織し、会議を定例化し、長欠児童生徒の欠席数の減少に努める。 ★長欠率（小）1%以内（中）4%以内 ⑥★市適応指導教室「あさひ学級」を効果的に活用する。 ★SC、心の相談員、SSW等の役割を明確にし、効果的に活用する。 ★市教育相談教室を効果的に活用する。 ⑦★自らテーマを決めて、研究できる体制をつくり、研究発表を行う場を設定する。 ★勇者の旅プログラムの活用を図る。 ⑧	★（小）3年生以上で年間1回「栽培」→「調理」→「食す」体験学習を実施する。 ①（中）望ましい食生活に関する指導を、全学級で年間1回行う。 ②★各教科・領域の横断的学習に配慮した食育計画を立案し、実施する。 ★一人一人の生活リズムを把握し、教育相談に活用する。 ★運動能力証合格者を40%以上にする。 ★千葉県体力・運動能力調査の結果を分析し、体育授業の工夫・改善を通して、運動意欲の高揚を図る。 ③★保健の授業で、生活習慣病の予防及びがん教育、薬物乱用防止教育、性に関する教育の実施に努める。 ★保健指導の充実を目指し、学校保健委員会を年間1回行う。 ④★学校安全の手引に基づき、学校安全指導マニュアルの改訂を行い、機能的な学校安全体制を確立する。 ★実践的避難訓練（予告なし）を年間1回実施する。 ★AEDの使用を含め、心肺蘇生法及びアレルギー等、緊急時の対応に関する研修を定期的に行う。 ★遊具を含めた学校施設の安全点検を日常化する。 ★児童生徒の安全意識の高揚を図る。特に自転車乗り方については、交通安全教室を実施するとともに、横断歩道の渡り方や通行の仕方について、指導の強化を図る。 ⑤ ⑥★登下校の安全確保のための安全パトロール組織の充実を図る。 ⑦★定期教育相談を年間2回以上実施する。 ⑧★学校における新しい生活様式を踏まえた感染症予防対策に努める。
---	--	---

教育委員会の重点施策

- A 算数数学検定を年間2回実施 - B スクールサポートティーチャー24名を配置 - C ALT23名を全小中学校に配置 - D 読書相談員を全小中学校に配置 - E スクールアクティブサポーター（SAS）の配置 - F 特別支援教育支援員の配置 - G 英語検定料補助金制度の実施 - H ICT支援員の派遣 - I プログラミング学習に関する連携協定の締結	- A 生徒指導担当者研修会の開催（年3回） - B 心の相談員の配置 - C 市教育相談教室の実施 - D 適応指導教室「あさひ学級」の活用 - E 市スクール・ソーシャル・ワーカーの配置・活用 - F 「心の教育ポスター」の活用 - G 心の教育推進協議会の活用 - H 「いじめゼロポスター」の活用 - I 長欠目標値、具体的取組の設定 - J 学習活動研究発表会の開催	- A 市食育推進計画・アクションプランの活用 - B 学校安全の手引の活用 - C 新型コロナウイルス感染症感染対策ガイドラインの活用 - D 熱中症ガイドラインの活用 - E 部活動ガイドラインの活用 - F 防犯ブザー（小1）の配布 - G 安心・安全メールの配信 - H 陸上教室の開催（木更津高専との連携） - I 「救急こども安心カード」の活用 - J 防災ジュニアハイスchoolの実施
--	---	---

☆研修による指導力の確立☆

- ①夏季教職員研修に積極的に参加する
- ②魅力ある校内研修を推進する

☆家庭・地域社会との協働☆

- ①学校支援ボランティア活動の更なる充実を図る
- ②コミュニティスクールを推進する

☆教職員のチーム力の向上☆

- ①校内組織を見直し、組織の活性化を図る
- ②働き方改革に向けた業務改善を推進する

①学校による自己評価（統一20項目）

学校評価木更津システム

②学校関係者評価 ③結果の公表

家庭・地域社会、学校・行政によるトライアングル子育て運動

令和4年度 学校教育の重点目標及び推進方策

I 学校教育の重点目標

「自立する力」と「共生する姿勢」を 身につけた児童生徒の育成

—— 家庭・地域社会から信頼され、魅力ある学校づくり ——

II 推進方策

1. 基盤となる方策

- (1) 「家庭、地域社会、学校・行政によるトライアングル子育て運動」を更に推進し、「地域に開かれた学校」、「地域に信頼される、魅力ある学校」をつくる。
 - ① 学校支援ボランティア活動推進事業の推進を図る。
 - ・ 校内交流会の定例化と交流集会の開催方法を工夫する。
 - ・ 担当教職員とボランティアコーディネーターの連携の複線化を図る。
 - ・ 交流集会実践発表DVDの活用を図る。
 - ② 学校評議員制度推進事業の充実とコミュニティスクールの推進を図る。
 - ・ 学校の教育活動を公開する。
 - ・ 外部評価委員としての活動の充実を図る。
 - ・ 学校評価「木更津システム」の結果に基づき、よりよい学校運営を推進する。
 - ③ 家庭との連携の重要性を認識し、教師と保護者の信頼関係を構築する。
 - ・ HPの充実 ・ 各種たよりの工夫 ・ 家庭訪問、三者面談、オープンスクール等の工夫
 - ④ 学校種間、研究機関、社会教育機関、清和大学、木更津工業高等専門学校等と連携した取組の充実を図る。
- (2) P（計画）・R（調査）・D（実施）・C（評価）・A（改善）のマネジメント・サイクルを柱に、教育施策を推進し、学校教育の活性化に努める。
 - ① 学校評価「木更津システム」に基づいた学校評価及び教育施策評価を行う。
 - ② 人事評価制度を効果的に活用し、教職員の資質力量を高める。
- (3) 教職員の年齢層やニーズに応じた教職員研修を企画運営するとともに、授業改善プログラムを生かし、教職員の資質力量の向上を図る。
 - ① 初任者、ミドルリーダー研修を有効に活用する。
 - ② 夏季教職員研修に積極的に参加し、資質力量の向上のための研鑽に努める。
 - ・ 若年教員が主体的に研修できる体制を整備する。
 - ③ オンライン研修を推進する。
- (4) 学校における働き方改革に向けた、業務改善の推進を図る。
 - ① 勤怠管理システムを活用し、教職員の出退勤時刻の管理と、学校行事や業務内容の見直しを行う。
 - ② 「部活動ガイドライン」に沿った、適正な部活動運営を推進する。
 - ③ 学校事務共同実施の推進や、校務支援システムの有効活用を図る。

2. 学習習慣の形成

- (1) 新学習指導要領に基づいた教育課程を編成するとともに、カリキュラムマネジメントに努め、効果的な教育諸活動を推進する。
- (2) 「授業改善」、「学習に前向きな学級集団づくり」、「学習評価の充実」のための、校内研究・教職員研修を計画的、継続的に推進する。
 - ① 層別教員の相互授業参観を推進し、校内における授業研究を充実する。
 - ② 小学校において教科担任制・交換授業を積極的に行う。
 - ③ 全国学力学習状況調査の分析ツールを活用するとともに、県標準学力検査の結果を分析し、課題解決のための具体的取組を実践する。
- (3) 算数数学検定を積極的に活用し、基礎・基本の定着と学習意欲の喚起を図る。

- (4) 「第4次木更津市子ども読書活動推進計画」に基づき、**読書活動の一層の充実**を図る。
- ① **読書相談員や学校支援ボランティアと連携**し、読み聞かせの充実や学校図書館の整備に努める。
 - ② 「読書の日」の有効活用や市立図書館（電子図書の活用含む）、家庭との連携に努め、読書に対する意欲の喚起を図る。
- (5) **共生社会構築のための特別支援教育の意義を理解**し、特別な支援が必要な児童生徒の指導の充実に努める。
- ① 保護者との連絡を密にしながら、関係機関との連携に努め、**適切な就学支援**を行う。
 - ② 「特別支援教育木更津システム（第4版）」に基づき、**校内の特別支援教育体制の確立**を図る。
 - ③ 児童生徒の実態に応じて**個別の教育支援計画、個別の指導計画**を作成し、校内委員会を定例化する。
 - ④ **スクールサポートティーチャー（SST）**および**特別支援教育支援員配置校**は、特別支援教育に関する実践研究を行い、成果を広める。
- (6) **家庭学習の定着**を目指し、**A Iドリル等**を活用した、児童生徒一人一人の学習意欲や学習スタイル等に応じた**個別支援の充実**を図る。
- (7) 勤労意欲や正しい職業観を育成するための**キャリア教育の充実**を図る。
- ① 児童生徒の発達段階に応じた学習活動の中で、効果的なキャリア形成を図るために、「キャリアパスポート」を有効に活用する。
 - ② 小学校では、第6学年で半日間程度の就業密着観察学習を実施する。
 - ③ 中学校では、第2学年で3日間程度の職場体験学習を実施する。
- (8) 外国語教育の充実と国際理解教育の推進に努める。
- ① 小学校においては、学習指導要領の外国語活動および外国語科に対応した授業づくりの研修を進め、教職員の指導力の向上を図るとともに、外国語指導助手（ALT）を効果的に活用することによって、「話す」「聞く」の領域を基本とした指導を充実させる。
 - ② 中学校においては、ALTとのチームティーチングを有効に活用し、コミュニケーション能力の育成に努める。
 - ③ 中学校3年生を対象にした英語検定3級の検定料補助制度を活用し、英語の学習意欲向上を図る。
- (9) 新しい社会 Society 5.0に対応するための、**情報教育の推進**に努める。
- ① **1人1台タブレット等**の教育機器の効果的活用を通し、**児童生徒の情報活用能力の育成**に努めるとともに、**個人情報保護及び情報モラルの高揚（SNSに関する指導含む）**に努める。
 - ② 教職員の情報活用能力やコンピュータ等を活用した授業づくり等の指導力を向上するための研修の充実を努める。
 - ③ 校内情報化推進体制の確立を図り、全教職員のICTの活用指導力の向上を図る。

3. 自他を大切にする心の育成

- (1) 教育活動全体を通じ、人権教育、道徳教育を推進し、児童生徒の人権意識の高揚に努める。
- ① 木更津市中心の教育推進協議会が提唱する**3つの心「やさしい心」、「ルールを守る心」、「一生懸命取り組む心」**を養い、豊かな人間性や社会性の育成に努める。
 - ② 「考え、議論する道徳」を意識した「**特別の教科道徳**」の学習を、年間35時間実施する。
 - ③ 地域の行事や学校支援ボランティア活動の様子を紹介し、**地域の行事に児童生徒が積極的に参加**できるようにする。
- (2) 教職員の意識啓発と「**いじめの予防**」、「**いじめが起きた場合の連絡指導体制づくり**」を柱とし、**いじめのない学校づくり**を推進する。
- ① 「木更津市いじめ防止対策基本方針」に則し、各学校の実情に応じた「**学校いじめ防止対策基本方針**」を改訂し、いじめ防止、いじめ対応の体制強化を図る。
 - ② **学級経営、いじめ対策に関する校内研修等**を行い、全教職員が、「いじめはどこにでも存在する」という意識を持つ。
 - ③ 児童会活動や生徒会活動等、児童生徒の**自治的活動による「いじめ防止」**を推進する。
 - ④ **定期的にいじめの実態を把握**し、いじめが起きた場合には、迅速かつ組織的な対応ができるような体制を確立する。
- (3) **機能的な生徒指導体制づくり**に努め、自己肯定感を高める**生徒指導の一層の充実**を図る。

- ①生徒指導に関する教職員研修を充実し、**生徒指導の機能を生かした学級経営、授業づくり**を推進する。
- ②**生徒指導部会を定例化**し、生徒指導体制を的確に機能させる推進組織とする。
- ③生徒指導上の諸課題に対しては、生徒指導体制の下、全教職員で連携し、組織的に対応する。
- ④「勇者の旅プログラム」等を活用し、児童生徒の自己肯定感を高めるとともに、教職員が児童生徒の人間関係能力を育成するスキルを習得するための研修を推進する。
- (4) 教育相談体制を整備し、**長欠、不登校児童生徒の予防的指導を強化**するとともに、長欠、不登校状態の改善・解消に努める。
 - ①的確な児童生徒理解を推進するため、**定期的に教育相談期間を設置**するとともに、日常的に教育相談が行われるような教職員の意識啓発に努める。
 - ②**長欠児童生徒対策部会を定例化**し、長欠、不登校児童生徒に組織的に対応する。
 - ③児童生徒、保護者からの**相談窓口を明確に**するとともに、**スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等、心の教室相談員、市教育相談教室などの学校外の相談機関との連携**を図り、教育相談ネットワークを構築する。
- (5) 日常の児童生徒の様子に注意し、虐待が疑われる場合は、児童相談所をはじめとした関係機関と連携し、児童生徒の安全を最優先とした迅速な対応に努める。

4. 健康・安全意識の確立

- (1) 「食」に関する指導の充実を図り、児童生徒の健康管理能力を高め、**健康的な生活習慣の定着**を推進する。
 - ①望ましい食生活に関する指導を、児童生徒の発達段階に応じ、意図的・計画的に行う。
 - ②毎日の給食指導の中で、「食」に関する指導の日常化を図る。
 - ③「早寝・早起き・朝ごはん」運動を推進する。
- (2) 保健体育に関する授業の工夫改善を行い、児童生徒の健康維持、体力向上に努める。
 - ①運動課題を明確にし、**達成感を味わえる授業づくり**に心がける。
 - ②保健の授業を計画的に実施するとともに、生活習慣病の予防及びがん教育、薬物乱用防止教育、性に関する教育の実施に努める。
 - ③児童生徒の健康づくりを推進するため、**保健室経営の充実**と年間計画に基づいた、**計画的な保健指導の推進**に努める。
 - ④**学校保健委員会を定例化**し、家庭、地域社会、学校の三者の協力により、組織的に児童生徒の健康づくりを推進する。
- (3) 学校安全指導マニュアルを改訂し、「学校危機管理対策ガイドライン」「学校大災害対応ガイドライン」に基づいた**機能的な学校安全指導体制を確立**し、児童生徒の安全指導の充実を図る。
 - ①**地震・火災・風水害・不審者対応に関する避難訓練（予告なし・引き渡し等）を実施**し、児童生徒の安全意識及び危険回避能力を高める。
 - ②遊具を含めた**学校施設の安全点検の日常化**を図り、学校事故を未然に防止するシステムを確立する。
 - ③エピペンやAEDの使用法を含め、緊急時の対応に関する研修を定期的に行う。
 - ④「救急こども安心カード」を救急隊員等に提供することで、けがやアレルギー症状等の緊急時に、速やかで適切な対応と引き渡しを行う。
 - ⑤「学校における新しい生活様式」により感染症予防を徹底することで、**教育活動を継続し、児童生徒の学びの保障に努める**。
 - ⑥中学校では、防災ジュニアハイスクールを活用し、防災意識を高めるとともに、防災対応のスキルを身につける。
 - ⑦「熱中症ガイドライン」に基づいて熱中症の危険について正しく理解し、熱中症指数モニター等の活用により事故防止に努める。
- (4) 地域の安全ネットワークの整備に努め、児童生徒の安全対策の強化を図る。
 - ①学校支援ボランティア、PTA等と連携し、児童生徒の登下校の安全確保のための**安全パトロール組織を構築**する。
 - ②学校安全、交通安全等、安全に関する授業や行事等を取り入れ、児童生徒の安全意識の高揚を図る。特に自転車の乗り方については交通安全教室を実施するとともに、横断歩道の渡り方や通行のしかたについて、指導の強化を図る。
- (5) 「部活動ガイドライン」を活用し、適切な活動時間や休養日の設定等の基準に沿った部活動運営に努める。

市內小學・中學指定校等実績一覧

(1) 市立研究指導校(校内研究)の校科別研究指導校の数は、次の通りである。

[illegible][illegible]

※平成13、14年度、全中学校で社会体験学習モデル事業(県指定)を実施。CSW:キャリア・スタート・ウィーク

小・中学校一覧

木更津市立小学校一覧

令和4年5月1日現在

区分	学 校 名	電話番号	所 在 地	校 長 名	児童数 (人)	学 級 数						
						学級数	特別支援学級					
							知的障害	自閉症・情緒障害	肢体不自由	弱視	虚弱	難聴
1	木更津第一	23-1051	中央一丁目11番1号	篠田 薫	396	12	2	2		1		2 (言語)
2	木更津第二	23-2216	文京五丁目6番24号	根本 修身	435	14	2	1				
3	東 清	98-0424	菅生114番地	木村 高士	51	6	1	1				
4	西 清	22-2818	長須賀2445番地	藤平 善史	251	10	2	1				
5	南 清	98-3193	ほたる野三丁目5番地	熊切 和也	361	13	1	1	1	1		
6	清見台	98-2351	清見台南一丁目15番1号	高橋 等	547	18	4	2				
7	祇 園	98-3158	清川一丁目1番1号	福中 義宏	593	19	4	1				1 (言語)
8	岩 根	41-1303	西岩根8番1号	座間 良彦	336	12	2	2				
9	高 柳	41-2085	高柳5932番地	石渡 勇斗	385	12	2	2				1 (言語)
10	波 岡	36-2820	畑沢1270番地	泉澤 由和	215	7	2	1				2 (言語)
11	鎌 足	52-2004	矢那609番地	泉 隆史	88	6	1	1				
12	金 田	41-0009	中島2931番地1	藤崎 仁	335	13	1	1				
13	中 郷	98-0824	井尻978番地	長島 則彦	90	7	1	1				
14	富来田	53-2004	真里谷518番地	佐藤 雅之	180	7	1	1				
15	畑 沢	36-3003	畑沢南二丁目16番1号	岡崎 由子	559	18	2	1				2 (言語)
16	請 西	36-9331	請西二丁目8番1号	齋藤 雄一	519	17	2	1				
17	八幡台	36-6696	八幡台四丁目5番1号	土生 こずえ	805	24	2	2				1
18	真 舟	36-0058	真舟二丁目6番1号	北岡 由佳	998	30	2	2				
合 計					7,144	245	34	24	1	2	0	2 8

木更津市立中学校一覧

令和4年5月1日現在

区分	学 校 名	電話番号	所 在 地	校 長 名	生徒数 (人)	学 級 数				
						学級数	特別支援学級			
							知的障害	自閉症・情緒障害	肢体不自由等	通級指導教室
1	木更津第一	22-5321	中央一丁目10番1号	西 克夫	306	9	2	1	0	—
2	木更津第二	36-2280	請西941番地	高橋 達之	469	14	2	2	0	—
3	木更津第三	23-2645	永井作一丁目1番1号	吉岡 秀樹	312	10	2	1	0	—
4	岩 根	41-2096	高柳三丁目7番49号	窪田 宏一	203	6	1	1	0	—
5	鎌 足	52-2092	矢那2797番地	佐々木伸司	44	3	1	1	0	—
6	金 田	41-0032	中島2820番地	吉沢 信之	87	3	1	1	0	—
7	富来田	53-2020	真里谷275番地	臼井 弘子	97	3	1	1	0	—
8	太 田	98-7001	東太田一丁目2番1号	唐鎌 勲	688	20	2	2	0	—
9	畑 沢	36-5021	畑沢1053番地1	上田 真里	324	9	2	1	0	—
10	岩根西	41-3681	久津間373番地	石井 隆久	147	6	2	1	0	—
11	波 岡	36-0911	大久保三丁目9番1号	中務 公明	455	12	1	1	1	—
12	清 川	98-0188	中尾1096番地	出口 雅志	331	10	1	1	0	—
合 計					3,463	105	18	14	1	—

児 童 ・ 生 徒 数 の 推 移

各年5月1日現在

(単位：人)

区 分		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
小学校	児童数	6,916(214)	6,960(236)	6,930(247)	6,960(277)	6,867(311)	6,817(277)
	学級数	249(48)	252(50)	248(51)	245(58)	243(60)	245(63)
中学校	生徒数	3,422(85)	3,392(97)	3,367(118)	3,348(119)	3,358(135)	3,319(144)
	学級数	114(26)	111(26)	107(27)	106(29)	105(28)	105(33)
小中計	児童・生徒数	10,338(299)	10,352(333)	10,297(365)	10,308(396)	10,225(446)	10,136(471)
	学級数	363(74)	363(76)	351(87)	351(87)	348(88)	350(96)

() は特別支援学級

教育相談・教職員研修・学校支援事業

1. 目的

教育相談事業活動の充実を図るとともに、教職員研修・学校支援活動を推進し、子どもたちの健やかな成長と教職員の指導力向上を支援する。

2. 業務内容

(1) 教育相談

- ① 教育相談教室：精神科医、臨床心理士等による、発達障害や不登校等、問題を抱えた子どもたちの教育相談活動を充実する。

令和4年度実施回数及び人数（1月1日現在）：41回（のべ111件） 85人（人数は実人数、対象児童生徒数）

- ② 学校適応指導教室「あさひ学級」の運営：不登校児童生徒の学校復帰を目指し、学校以外場に集め積極的な適応指導を行う。

・開設場所：まなび支援センター内

・開設日時：月曜日～金曜日（学期は小中学校と同じ） 10:00～15:00

・通級者数（＊令和4年度は、1月1日現在 仮通級含む）

年度	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4
人数	16	16	17	15	16	14	15	25	20	22	28	25	23	30	34

(2) 学校教育関係職員の研修

- ① 研究指定校：木更津市研究指定校の研修会の取組を支援する。

- ② 夏季教職員研修講座：教育相談・特別支援教育、授業改善等現場のニーズや今日的課題に即した研修を実施する。

- ③ 初任者研修、ミドルリーダー研修等教職員層別研修を実施する。

- ④ 外国語教育充実に向けた研修：学級担当が主導する外国語科、小中連携の在り方についての研修を実施する。（小学校外国語実践研修：4校で実施／小中連携外国語授業研修会：各校1名参加）

- ⑤ 情報教育の充実：コンピュータを含めた教育機器を活用した授業のあり方についての研修を実施する。

(3) 学校支援

- ① 小・中学校に外国語指導助手（ALT）の配置：児童生徒の英語でのコミュニケーション能力向上と国際理解教育推進のために配置し、効果的な活用方法について研究する。

- ② 算数数学検定：児童生徒の学習意欲の喚起を支援するため年2回実施する。

- ③ ICTを活用した授業実践の収集と提供：情報化推進リーダーと連携を図り各校のICTを活用した授業実践を収集し、誰でも閲覧できるシステムを構築する。

- ④ 学校ネットワークの活用促進および小・中学校のホームページの充実支援、センターホームページの充実を図る。

幼児言語教室の活動

1. 業務目的

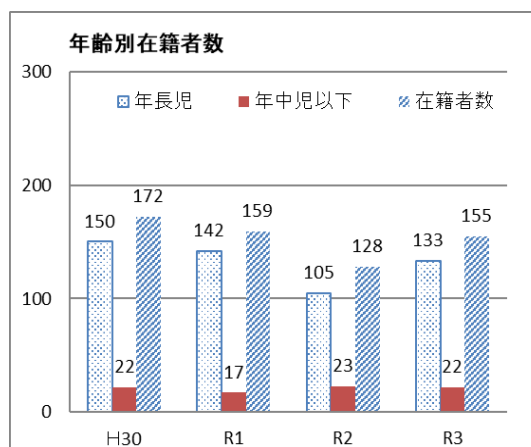
ことばに課題を持つ就学前の幼児に対し、その問題を早期に発見し、個別の言語指導・保護者との面談等を通して、スムーズな小学校就学に向けてのよりよい支援を目指す。

2. 業務内容

- 相談・個別指導・保護者面談（年齢やケースによって週1回～月1回の指導）
ケースの種類
 - ・発音の誤り……………置き換え音・歪み音等の構音障害
 - ・言語発達の遅れ……多動傾向・コミュニケーションがとれない等を含む
 - ・吃音……………ことばのつまりや繰り返し
 - ・難聴……………聞こえが悪いためのことばの遅れ
- 年長児の言語検査
4月18日～6月17日 市内28園年長児対象 1025名実施
6月13日～6月24日 検査日欠席児・市外園通園児など対象 33名実施
- 入学後のことばの検査対象児の名簿作成・小学校への伝達
- 小学校への引き継ぎ・個別の引き継ぎシート作成・配付
- 講演会開催 11月28日 参加者36名
講師：発達支援くうぼの 言語聴覚士 金子 義信 氏
- 就学支援委員会調査員
- 特別支援教育連携協議会参加
- 幼児言語教室便り「ひまわり」発行
- 特別支援教育啓発リーフレット・ポスター「にっこり」作成
- 事例研修会 年間3回 講師：発達支援くうぼの 言語聴覚士 金子 義信 氏

3. 利用状況

就学前の年長児を最優先とするため、年中児以下の幼児は、「子育て世代包括支援センター（きさらづネウボラ）」を紹介している。新型コロナウイルス感染症の影響により換気や消毒の時間を必要としたため指導枠を減らして対応した。



4. 成果と課題

- 低年齢児の相談場所として、「子育て世代包括支援センター（きさらづネウボラ）」を紹介できるようになったので、年長児がより早い時期から多くの回数、通所できるようになった。
- 幼児言語教室では、お子さんの様子について保護者と振り返る機会を設けることで、目に見えない成長への気づきを促したり、保護者の子育てについて励ましたりする場となっている。
- 年長児は、言語教室から入学予定校への引き継ぎを行い、スムーズな就学へ繋がっている。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、今までのような発音指導はできない状況である。アクリル板を使用したり、透明マスクを活用したりするなど工夫をして取り組んでいるが、限られた中での指導内容となっている。

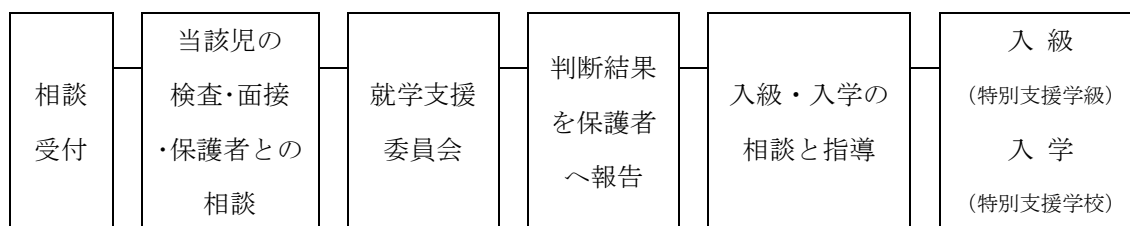
特別支援教育

『特別支援教育』とは、特別な支援を必要とする児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するために適切な教育や指導を通じて必要な支援を行うものである。また、特別支援教育は、これまでの特殊教育の対象の障害だけでなく、知的な遅れのない発達障害も含めて、特別な支援を必要とする児童生徒が在籍する全ての学校において実施されるものである。さらに、特別支援教育は、障がいのある児童生徒への教育にとどまらず、障がいの有無やその他の個々の違いを認識しつつ様々な人々が生き生きと活躍できる共生社会の形成の基礎となるものである。

○ 就学支援委員会

就学支援委員会では、特別な支援が必要な児童生徒に対し、ニーズに合った教育的支援を医学的・心理的・教育的見地から総合的に審議検討し、適切な就学措置を判断して指導している。

・入級（入学）の手順



近年、就学支援委員会の対象となる児童・生徒が増えており、その重要性からも一層の充実を図っていかねばならない。

○ 知的障害特別支援学級

知的発達の遅滞や意思疎通に軽度の困難さのある児童・生徒に対して、発達段階に応じた教科指導や基本的生活習慣の確立、日常生活に必要な基礎的な技能の習得を目指しスモールステップで指導を行っている。

○ 自閉症・情緒障害特別支援学級

自閉症やそれに類するもの¹で、意思疎通や対人関係の形成に困難さのある児童・生徒、情緒障害²があるために学校生活や社会生活への適応が困難な児童生徒に対して、情緒の安定を図り、円滑に集団に適応し、より充実した生活が送れるように指導を行っている。

¹ アスペルガー症候群を含む広汎性発達障害

² 内在化のタイプ（選択性かん黙、不登校、過度の不安やうつ状態、身体愁訴を訴える場合など）と外在化のタイプ（かんしゃくや集団からの逸脱行動など）がある

○ 肢体不自由特別支援学級

日常生活動作に困難さのある児童・生徒に対して、障害に基づく困難を主体的に改善・克服するための指導を行なっている。特に、自立活動の指導において、身体の動きの改善を図ることやコミュニケーションの力を育てることに重点を置いている。

○ 弱視特別支援学級

視機能が低下している児童・生徒に対して作業や行事等を通して生活体験の拡大を図ったり、補助具の活用の仕方を学ぶ場を設定したりして、障害に基づく困難を改善・克服するための指導を行っている。

○ 病弱・身体虚弱特別支援学級

慢性の呼吸器疾患その他疾患の状態が持続的、または間欠的にあり、医療や生活の管理を必要とする児童・生徒に対して、健康状態の維持、改善に必要な習慣の育成や知識、技能の習得を目指し、指導を行っている。

○ 難聴特別支援学級

聴覚機能が低下している児童に対して、保有する聴力を最大限に活用し、多様なコミュニケーション能力を高めるための指導を行っている。

○ 言語障害通級指導教室（ことばの教室）

ことばの教室では、ことばに課題のある児童に対し、その要因をできるだけ的確に把握し、コミュニケーション上の困難を改善または軽減する教育を行っている。児童の自己表現の援助をし、社会生活への適応力を高めることなどを目標としている。

就 学 援 助

○ 奨学金制度

本市奨学金制度は、経済的理由により修学困難な者に対し、奨学基金により入学資金の支給及び奨学資金の貸し付けを行う。

・ 入学資金

学 校 種 別	支 給 額
高 等 学 校 高 等 専 門 学 校	25,000 円
大 学	50,000 円

・ 奨学資金（限度額）

学 校 種 別	貸 付 額
高 等 学 校 高 等 専 門 学 校	月 10,000 円
大 学 短 期 大 学 高等専門学校(4・5 年)	国・公立 月 40,000 円 私立 月 50,000 円

・ 年度別奨学資金新規貸付者数

年度	高校生	大学生	計
H23		2	2
H24	1	2	3
H25		2	2
H26		2	2
H27		2	2
H28	1	1	2

年度	高校生	大学生	計
H29	1	1	2
H30		2	2
H31 (R1)		2	2
R2		2	2
R3		2	2
R4		2	2

○ 就学援助制度

経済的に困難な児童、生徒の保護者に対し、就学に要する経費の補助を行うもので、令和 5 年 1 月 1 日現在、23,764,759 円の援助を行っている。

○ 特別支援教育就学奨励制度

特別支援学級へ就学する児童、生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、就学に要する経費の補助を行うもので、令和 5 年 1 月 1 日現在、7,540,486 円の補助を行っている。

学 校 保 健

1 新型コロナウイルス感染症発生状況

(1) 令和2年度

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計 (のべ人数)
小学校						1			1	3		1	6
中学校								1	5		1		7
教職員				1						1			2
合 計				1		1		1	6	4	1	1	15

○前年度3月からの全国一斉臨時休校が千葉県は5月末まで延長され、6月より学校再開。

○夏季休業を2週間に短縮し、修学旅行等の各種学校行事も中止・縮小を余儀なくされた。

(2) 令和3年度

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計 (のべ人数)
小学校	0	1	4	5	20	6	1	0	3	95	228	303	666
中学校	1	2	3	5	24	4	0	0	0	40	44	32	155
教職員	1	0	0	0	3	0	0	0	2	2	14	9	31
合 計	2	3	7	10	47	10	1	0	5	137	286	344	852

○7月～8月はデルタ株、1月～3月はオミクロン株による感染拡大がみられた。

○「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」の発令と解除が繰り返され、その都度、各種教育活動における対応が変更された。

(3) 令和4年度

※12月31日現在

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計 (のべ人数)
小学校	107	94	26	358	341	153	102	289	572				2042
中学校	61	30	10	118	145	48	26	89	201				728
教職員	10	7	0	29	46	16	7	33	50				198
合 計	178	131	36	505	532	217	135	411	823				2968

○7月中旬～8月(第7波)と11月中旬～年末(第8波)、オミクロン株による感染が拡大。

○ウィズコロナ政策の下、各種行動制限が緩和。2類相当から5類への法改正議論が進む。

2 学校保健特別対策事業費補助金の活用

(1) 令和2年度・・・・・・決算額 101,469,000円

① 学校における感染症対策等支援

- ・ 3密(及び熱中症)対策に係る備品購入 ※サーマルカメラ、大型冷風機、放送機器 等
- ・ 保健衛生用品購入 ※ディスペンサー、消毒液、ペーパータオル、非接触型温度計 等

② 子どもたちの学習保障支援

- ・ 効果的な学習のために用いる教材の購入 ※教材・教具、印刷トナー・インク・用紙 等
- ・ 校外学習等のバスの増便に伴う費用

③ コロナ対策等に資する教職員研修等支援

- ・ 新型コロナウイルス感染症に関する校内研修の講師謝金
- ・ 関連研修等の出張旅費

(2) 令和3年度・・・・・・決算額 37,794,000円

① 学校における感染症対策等支援

- ・ 3密対策に係る備品購入 ※サーマルカメラ、サーキュレーター、書画カメラ 等
- ・ 保健衛生用品購入 ※パーティション、アルコール消毒液、ペーパータオル 等

② 子どもたちの学習保障支援

- ・ 効果的な学習のために用いる教材の購入 ※教材・教具、印刷用トナー・インク・用紙 等
- ・ 校外学習等のバスの増便に伴う費用

③ コロナ対策等に資する教職員研修等支援

- ・ 新型コロナウイルス感染症に関する校内研修の講師謝金

(3) 令和4年度・・・・・・予算額 43,850,000円

① 学校における感染症対策等支援

- ・ 3密対策に係る備品購入 ※電子黒板、CO2モニター、空気清浄機 等
- ・ 保健衛生用品購入 ※アルコール消毒液、ペーパータオル、非接触型温度計 等

② 子どもたちの学習保障支援

- ・ 効果的な学習のために用いる教材の購入 ※タブレット端末充電用アダプター 等
- ・ 校外学習等のバスの増便に伴う費用

学校給食について

1. 給食の実施方式

(1) 給食センター方式(10校)

木更津第一小学校、木更津第二小学校、清見台小学校、畑沢小学校、請西小学校、真舟小学校
木更津第一中学校、木更津第二中学校、太田中学校、畑沢中学校

(2) 自校親子方式(19校)

(東清小学校・南清小学校)、(祇園小学校・清川中学校)、(岩根小学校・岩根西中学校)
(高柳小学校・岩根中学校・金田中学校)、(波岡小学校・波岡中学校)、(鎌足小学校・鎌足中学校)
(中郷小学校・西清小学校)、(富来田小学校・富来田中学校)(八幡台小学校・木更津第三中学校)
※左に記載されている小学校で2校分、または3校分を調理し、右に記載されている学校へ配送します。

(3) 自校単独方式(1校)

金田小学校

2. 給食費の額

給食費の1食単価は、小学校265円、中学校320円です。

3. 給食の実施日数

各校学年ごとに191日を上限

4. 学校給食センター

木更津市学校給食センターの建設・稼動に関して、PFI方式を採用し「木更津教育サービスPFI株式会社」によるHACCPの概念とするドライシステムでの衛生管理を実施し、最新式調理機器を活用した調理を行っています。

○ 施設概要

所在地	木更津市潮見二丁目13番地1
敷地面積	5,474.93㎡
建築面積	1,912.55㎡
延床面積	2,524.08㎡
構造	鉄骨造2階建
開設年月日	平成21年4月1日

○ 事業概要

施設稼働日	年間199日以内
給食数	6,000食/日(最大提供可能食数)
配食校	給食センター方式による10校

5. 学校給食を活用した食育の推進

給食食材の選定は、地場産物を活用した地産地消の推進に取り組んでおります。

鎌足地区では、給食の調理過程で出る野菜くずを活用した循環型給食の取組、中郷地区では地元養豚場と事業者と学校で取り組んだ食育授業等の実施及び地元産の「レタス・とうもろこし」の使用、富来田地区では特定非営利活動法人が作付けした「じゃがいも」、岩根・金田地区では「木更津ねぎ」を活用した食育に努めています。市街地においては、千葉県産食材を積極的に取り入れています。市内公立小・中学校では、市の特産品「木更津産焼きのり」を用いることで、将来の地域での食の関心など理解を深めております。

また、市内産コシヒカリを提供するなか、環境や地域農業への関心を高めるため、生産部局と市内生産者及び事業者の協力により有機米（通称：きさらづ学校給食米）の提供を促進します。

今後も市内や近隣市で生産された野菜や有機野菜等を優先的に使用できるよう取り組んでいきます。



6. 生涯學習

1 青少年の健全育成

青少年の成長と自立を実現するために、家庭、地域、学校・行政をはじめとした、多様な人間関係のなかで青少年を育み、支える環境づくりを推進し、地域の教育力の向上を図ります。あわせて青少年育成に係る団体・関係機関等の一層の連携と担い手育成に取り組みます。

（１）青少年育成推進体制の充実と地域の教育力の向上

- ・青少年の指導育成、保護、矯正に関する総合的施策や自立支援方策等について必要な事項を調査・審議するとともに、関係機関との連絡調整を図るため、青少年問題協議会を開催します。
- ・家庭、地域、学校・行政が連携して地域の教育力の向上を図るため、子どもたちの居場所づくりを進める「生き生き子ども地域活動促進事業」等の取組みを進めるほか、これらの活動を支援する地域の担い手の育成に努めます。
- ・青少年の健全育成を推進するため、県と連携し青少年相談員を委嘱し、制度の活性化と活動の充実を図ります。
- ・制度の持続化や地域の青少年の指導者育成の観点から、将来の青少年相談員となる人材を確保するため、制度の知名度向上のための施策を実施します。
- ・地域での青少年健全育成活動を推進するため、子ども会育成連絡協議会、青少年育成木更津市民会議等の関係団体を支援します。

（２）青少年育成事業の推進

- ・青少年の豊かな人間性を育み、自立と社会参加を促すため、生き生き体験キャンプ事業や野外体験促進事業、成人式事業など、青少年育成に関する各種事業を地域の参画による世帯間の交流を通じて実施します。
- ・少年自然の家キャンプ場が、自然体験活動の拠点として一層活用されるよう、積極的な広報や老朽化した施設の計画的な整備に努め、利用促進を図ります。
- ・国や県のマニュアル、ガイドラインに沿い、関係機関との連携を図りながら、新型コロナウイルス感染症対策を徹底します。
- ・青少年のさまざまな活動を支援するため、アフタースクールボランティアやユースボランティアなど各種ボランティアを活用するとともに、各ボランティアの活性化を図ります。

（３）青少年を取り巻く環境浄化と非行防止

- ・さまざまな問題に悩む青少年や保護者への支援を行うため社会教育指導員による相談活動（電話相談・来所相談・メール相談）を実施します。
- ・青少年の非行防止と健全育成を図るため、青少年補導員による地区街頭補導、乗車マナー指導、喫煙・飲酒防止キャンペーンなどの「青少年への愛の一声運動」を関係機関・団体との連携のもと行います。
- ・青少年の非行防止と健全育成に関する啓発のため、青少年健全育成だより「News Letter」の発行や青少年指導関係活動報告「青少年に愛の一声を」を発行するとともに、関係機関や学校、また地区住民会議や地域の各種団体と連携し、地域ぐるみの非行防止啓発活動に

取り組みます。

- ・青少年の非行防止と健全育成を図るため、関係機関や青少年補導員・相談員・PTAなど地域の関係団体とともに、青少年を取り巻く有害環境浄化活動を行います。
- ・青少年育成、非行防止に関わる関係機関・団体・有識者との連携を図り、まなび支援センターの青少年指導関係事業を効果的に運営するために、青少年指導関係運営協議会を開催します。

2 社会教育の推進

さまざまな暮らしの課題に対し、市民一人ひとりがあらゆる機会、あらゆる場所を利用して学習できる環境を整えるとともに、社会の変化に対応したまちづくりを推進するために、必要な学習機会を提供し、その活動を奨励します。

また、社会教育を推進する各機関・団体との連携・協力や社会教育施設の整備を図ります。

(1) 生涯学習・社会教育推進体制の充実

- ・広く民意を反映し、市民参画による社会教育行政の推進を図るため、社会教育委員会議に社会教育推進施策等を諮問し、答申や意見を求めます。
- ・総合的な生涯学習の推進にあたり、広く市民の意見や要望を取り入れるため、生涯学習推進協議会を開催します。
- ・市民に多様な学習機会を提供し、学習活動を側面から支援するため、職員の力量形成の向上に努めるほか、専門職員による学習支援体制の充実を図ります。
- ・社会教育機関が持続可能な地域づくりを推進する拠点として、SDGs 達成に貢献する多様な学びの場となるよう、関係職員の研修活動の充実に努めます。
- ・近隣市や県内の関係団体とも連携し、社会教育関係委員や社会教育関係職員の研修活動の充実に努めます。
- ・視聴覚教材を活用し、各種団体・機関等の学習活動を支援します。
- ・社会環境の変化に対応した「第2次生涯学習基本構想」と「基本計画」のあり方について検討、協議します。
- ・今後の公民館のあり方に鑑み、関係部等と調整しながら、公民館の総合的な整備の方向性を検討します。

(2) 生涯学習・社会教育活動の充実

- ・家庭教育の不安や悩みを解消するため、家庭、地域、学校・行政が一体となって家庭の教育力向上を図ります。
- ・家庭教育支援の拡充を図るため、官民含めた機関、団体との連携を図り、社会全体で子育てを支援する機運を高めるとともに、親の育ちを応援する学びの環境を充実します。
- ・女性の社会参加の促進や地域社会・まちづくりへの積極的な関わりを推進するための、学習機会の提供に努めます。
- ・市民の多様で高度な学習ニーズに対応するため、市内高等教育機関と連携した公開講座の開催や市政に理解を深めてもらうことを目的とした出前講座を実施します。また、「動く教室」として生涯学習バスを運行します。
- ・市民による生涯学習活動の一層の拡充と生涯学習を通じたまちづくりの振興を図るため、若者語り場など生涯学習に関する啓発事業を実施します。特に、若手が中心に関わる

事業展開を目指します。

- ・新型コロナウイルス感染症感染拡大に配慮し、オンラインを活用した事業に取り組みます。
- ・社会教育関係団体との協働の事業を推進し、団体が自主的に行う社会教育活動の円滑な運営や一層の充実を図るため、求めに応じて助言・指導します。また、木更津市教育振興事業補助金交付要綱に基づき、対象となる事業に対して補助金を交付し活動を支援します。
- ・生涯学習活動により培ってきた知識や経験など、市民の生涯学習の成果をそれぞれの社会生活や地域社会に活かすための情報提供に努めます。

（３）図書館サービスの充実

- ・利用者の要望及び社会の要請に対応するため、基本的運営方針、資料の収集方針、各年度ごとの事業計画の策定及び公表について検討し、運営の状況、目標の達成状況等に関して自らの点検及び評価を行うよう努めます。また、市民の生活や仕事に関する課題及び地域に関する課題の解決に向けた活動を支援するため、本市の実情に即した情報や各分野にわたる資料を収集・整備・提供するとともに、県内外の公共図書館、大学図書館や他機関との連携を図り、豊富な情報資産を活用して、司書によるレファレンス機能を充実させ、的確な情報提供を行います。さらに、ハンディキャップにより図書館への来館や読書が困難な市民に対して点字図書・録音図書・大活字本や電子図書を計画的に収集し、読書格差が生じないようにします。
- ・図書館遠隔地の市民の読書環境を整備するため、公民館図書室資料の整備・充実を図ります。
- ・子どもの読書活動の推進を支援するため、児童図書の整備、学校及び教諭、読書相談員との連携を強化します。
- ・地域住民の学びを支える図書館づくりを図るため、図書館ホームページ・図書館報等により情報を発信するとともに、利用者・地域・他機関との協働・連携を推進し、魅力ある講演会・講座・展示会等の事業展開に努め、利用者の一層の拡大を図ります。

（４）公民館活動の充実

- ・市民の学習要求に応えるため、各種学級・講座を実施します。また、安心して暮らせる地域社会の構築を図るため、生活課題や地域課題の解決に向けた学級講座を実施します。
- ・家庭教育の充実を図るため、小中学校や地域の教育機関との連携を進めます。また、親同士のネットワークを広げるため、乳幼児期、児童期、思春期の各成長段階に応じた家庭教育学級や子育て講座を地域の状況にあわせて実施します。さらに、地域において乳幼児と親が孤立しないため、気軽に集える場を提供し、子育てを支援します。
- ・未来を担う青少年の健全な育成を図るため、サタデースクール事業等の青少年教育事業を実施します。また、地域ぐるみの青少年健全育成を促進するため、生き生き子ども地域活動促進事業を支援します。さらに、効果的な事業の推進を図るため、地区住民会議など、地域や学校、各種関係機関との連携・協働を進めます。
- ・高齢者の生きがいや健康づくりを促進するため、高齢者教室を実施します。また、豊かで活力のある長寿社会の実現のため、高齢者の持つ豊富な知識や経験を活かした他世代交流の機会を創出するとともに、社会参加を促進します。
- ・民意を反映した公民館運営の推進を図るため、各種事業の企画実施について調査・審議する公民館運営審議会を開催します。また、地域住民の自主的な社会教育活動を推進する

ため、市民参画による事業を進めます。さらに、地域の絆づくりと新たなコミュニティ形成を図るため、地域住民や各種関係機関との協力支援体制を構築します。合わせて、地域自治の拠点として行政と地域をつなぐ役割を担い、まちづくり協議会の支援に取り組みます。

(5) 生涯学習・社会教育施設の整備（郷土博物館金のすずを除く）

- ・耐震診断の結果、建物の耐震性能が不足とされた施設について、耐震補強工事の実施に努めます。
- ・快適に学習できる環境を維持するため、建物や設備の不具合を補修するほか、備品の管理に努めるなど、適正な維持・保全及び整備に努めます。

3 市民文化の充実

市民がふるさとの歴史や文化に誇りと愛着を持つために、地域の芸術文化を育む環境づくりを図りながら多様な芸術文化活動の推進をめざします。また、歴史的な文化遺産と豊かな自然を後世に伝えていくため、埋蔵文化財、古文書、民具、伝統行事などを保存し、継承するとともに、それらの保管管理ができる施設の整備に努めます。

(1) 芸術文化活動の推進

- ・児童生徒の芸術文化にふれる機会を充実させるため、音楽鑑賞教室等の事業を企画します。また、市民を対象にプロの芸術家などによるコンサートやアート制作ワークショップを開催し、多くの老若男女がアートと直接ふれあうことができる環境づくりを行い、本市全体に少しずつアートの種をまきながら、芸術文化の向上を図ります。また、収蔵作品の適正な保存、管理及び活用に努めます。
- ・各種芸術文化団体の自主的な活動を支援するため、情報提供や助言するとともに、市内の芸術文化団体が実施する事業へ補助金を交付します。さらに、市民会館大ホールが利用できないため、市外の対象施設を利用する場合に使用料の一部を補助します。

(2) ふるさと文化の継承

- ・市内に所在する有形・無形の文化財、史跡、天然記念物の保護を図るため、文化財の指定・活用・周知に努めます。また、市内の文化財を保存・伝承する団体を支援するため、求めに応じた助言・指導とともに補助金を交付します。
- ・埋蔵文化財保護のため、開発事業に対応した調整を図り、必要な発掘調査や整理作業を実施し、調査報告書を刊行して記録保存に努めます。また、発掘調査で出土した資料を博物館の展示に活用し、適正に管理するよう努めます。
- ・本市の歴史や文化、また豊かな自然への関心を高めるため、新たな「木更津市史」を編さん・刊行し、調査・研究成果を活用した学習活動の支援や公開講座の実施に努めます。
- ・博物館事業の充実を図るため、学校の受入れ等を積極的に行う博学連携事業及び市民が博物館事業の運営に参画する市民との連携事業をさらに推進し、利用者の増大に努めます。
- ・金鈴塚古墳出土品の国宝化をめざして推進事業に取り組むとともに、国の機関等との共同研究及び資料整理を行い、研究報告書を刊行します。
- ・博物館事業の充実を図るため郷土に関する調査研究を、市民、研究者及び研究協力機関と協力して推進し、その成果を企画展事業や講座、体験教室等に反映させます。

（３）文化施設・郷土博物館金のすずの整備

・市民文化の発展に資するため、新たな中規模ホールの活用方法の検討を進めます。また、埋蔵文化財を適正に管理するため、公共施設再配置計画の中で施設の整備に努めます。

4 人権擁護の推進

社会状況の変化とともに発生しているさまざまな差別意識を解消し、相互に基本的人権を尊重し、すべての人が自分らしい生き方のできる社会を実現するために、学校教育・社会教育における新たな人権教育の充実を図ります。

（１）人権意識の高揚

・差別のない人権が尊重される社会の実現のため、人権の理念を普及し、その理解を深めるための研修を行います。

・人権問題に対する市民の理解を深め、人権に対する意識を高めるため、啓発活動を推進します。

社会教育事業

○ 生涯学習課事業

事業名	概要
社会教育委員会議	広く民意を反映し、市民参画による社会教育行政の推進を図るため、年4回開催。
人権教育研修会	人権教育のより一層の推進を図るため講演会を開催。 実施日：令和5年2月21日（火） テーマ：私と学校生活 講師：西原さつき氏 （俳優・「乙女塾」代表、カンコー学生服サポーター）
家庭教育支援事業	困難を抱えた子どもを持つ保護者のための家庭教育支援事業として、講演会を開催。 実施日：令和5年3月1日（水） テーマ：発達障がいへの理解を深めるために 講師：谷口 実彩氏 （千葉県発達障害者支援センターCAS・公認心理師・臨床心理士）
家庭教育学級交流会	家庭教育学級生・担当職員相互の交流を深めながら、学級をより充実したものにするため、運営方法等を学ぶことを目的として開催。 実施日：令和4年7月5日（火） テーマ：安心して本音で語ることができる家庭教育学級になるために 講師：矢代幸子氏 （元公立高等学校教諭（千葉県）、親業訓練協会インストラクター）
家庭教育学級研究集会	家庭教育学級の意義やあり方について学び合うことを目的に開催。 実施日：令和5年1月31日（火） テーマ：家庭教育学級のあり方～学級生の本音、担当職員の本音～ 講師：「千葉県における家庭教育について」 提案：千葉県教育庁教育振興部生涯学習課学校・家庭・地域連携室 副主幹 吉田俊一氏・主査 糸井孝仁氏
生涯学習推進協議会	総合的な生涯学習の推進にあたり、広く市民の意見や要望を取り入れ、生涯学習を推進することを目的として、年2回開催。
市民公開講座	高等教育機関のスタッフによる高度な学習機会を提供し、市民の多様な学習要求に応えるとともに生涯学習の振興を図ることを目的としてオンラインを活用し、年6回の講座を開催。
生涯学習バス「まなび」	生涯学習の「動く教室」としてバスを運行し、公民館事業等をはじめ、市民の生涯学習活動における体験的学習の機会拡充を図った。
きさらづ出前講座	市職員等が市民の学習会、集会、会合に出向き、市の施策や取り組み、身近な生活に役立つ情報などについて説明する講座を83メニュー提供し、市政へ関心と理解を深めることを目的として実施した。
視聴覚ライブラリー事業	視聴覚機材及び教材を管理し、教育機関・学校等へ視聴覚機材及び教材を配達し、視聴覚教育の充実を図った。
少年自然の家キャンプ場利用促進事業	新規事業として「キャンプ場まつり」を実施。少年自然の家キャンプ場を会場に、青少年関係団体等8団体協力の下、焚火・竹細工・野外炊さんといった体験コーナー等を実施。

野外体験活動 促進事業	子どもたちの体験活動を促進するためのモデルとなるような事業や、事業を計画するための参考となるようなプログラム等の資料作成事業を実施。団体への委託事業。
青少年問題協議会	青少年の指導育成、保護、矯正に関して関係機関との連絡調整・情報共有を図るべく協議会を2回実施。
アフタースクールボ ランティア養成事業	子どもたちが放課後や週末に自由に集い、遊び、学べる場をつくり、活動を手助けするためのボランティアを養成、組織化し、子どもたちの地域での活動を支援するための事業として年間を通し実施の予定でしたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、全ての事業が中止となった。生涯学習課、公民館事業への協力と定例会は実施。
生き生き体験キャン プ事業	中学生及び小学6年生を対象に、ふるさとの自然環境を生かした自然体験活動の中で子どもたちの豊かな感性を養い「生きる力」を育むとともに、地域のリーダーを養成することを目的としていたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大のため中止。
生き生き子ども 地域活動促進事業	学校・家庭・地域社会の連携の下で、子どもたちの体験活動機会を意図的に作り出し、児童・生徒が積極的に地域活動に参加するような事業を実施。地区住民会議への委託事業。
二十歳を祝う会 (旧成人式)	二十歳としての自覚を持ち、「自らが作る二十歳を祝う会」という意識を高めるため、当事者自らが実行委員会方式で企画・運営を行った。当日は892名が参加した。※令和4年度より成人式から二十歳を祝う会に名称変更。
放課後子ども教室 推進事業	家庭、地域、学校・行政が連携し、子どもたちが放課後に安全・安心に過ごせる居場所づくりを目的として市内7小学校区に7教室設置している。新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため活動を休止とした1教室を除く6教室が実施。
子ども会新インリー ダー・新役員講習会	子ども会の運営上必要な仕事を明らかにし、リーダーの具体的な役割を理解することを目的に講習会を実施。
ユースボランティア 登録制度	地域での小中学生の活動支援、及び青少年の奉仕活動・体験活動の機会を提供するため、高校生・大学生等のボランティアを登録。

○ 文化課事業

事業名	概要
芸術文化振興事業	市内小中学校で音楽鑑賞教室を行い、芸術鑑賞の素地を醸成した。また、市所蔵の美術品を市民一般へ展示・公開に供するため、適切な管理を図った。
芸術文化に親しむまちづくり振興事業	市民を対象としてプロの音楽家や芸術団体等を招いたコンサートの開催、木更津駅周辺の公共施設等を活用したアートのワークショップを実施して芸術文化の振興を図り、本市全体にアートの種をまきながら市民の文化レベルの向上を図った。
木更津アートプロジェクト事業	市制施行80周年協賛事業として、アーティストと子どもたちを中心に地域の人々とともに「考える・つくる・みせる」ことを学びながら、それぞれが「アート」を体感して、新たな文化・芸術的な価値の創造を図った。
芸術文化活動補助金事業	「木更津市文化協会」等の社会教育団体が行う教育振興事業に要する経費に対し、補助金を交付し芸術文化活動の支援を図った。
市民会館市外利用等補助金事業	市民会館大ホールの利用を停止していることから、代替施設の利用料を補助することによって、市民の文化・芸術活動の維持・振興を図った。
金鈴塚古墳出土品国宝化推進事業	金鈴塚古墳の魅力を紹介するイラスト・パンフレット等を市内小学校の対象児童へ配付して、ふるさと木更津への愛着心の醸成を図った。
文化財保護審議会	木更津市文化財保護条例の規定に基づき設置され、市内に所在する文化財の保存・活用に関して意見を具申し、必要な調査を実施して、本市文化財行政の円滑な推進と文化財の保存・活用に寄与した。
文化財保護事業	文化財全般の保護と活用を図るため、「金鈴塚古墳」「貝渕木更津県史蹟」等の市内に所在する、指定文化財及びその他の文化財の管理、出土した金属製品を対象とした文化財保存処理を行った。
文化財保護事業補助金事業	「県指定無形文化財木更津ばやし保存会」等の社会教育団体が行う、教育振興事業に要する経費に対し、補助金を交付し有形無形文化財の継承・保存の支援を図った。
市内遺跡発掘調査事業	市内の中小規模開発や個人住宅建設等に対応して、試掘、確認調査を実施して開発事業と埋蔵文化財保護との調整を図るとともに、土地区画整理事業に伴い発掘調査を行った千束台遺跡群について整理作業及び調査報告書の刊行を行い、文化財の保護活用を図った。
市内遺跡発掘調査（民間）事業	市内の民間開発事業に対応した確認調査と本調査を実施して、その調査成果をまとめた調査報告書を刊行して、民間開発事業と埋蔵文化財保護との調整を図った。
木更津市史編集委員会	附属機関設置条例の規定に基づき設置され、新たな「木更津市史」の編さん・刊行に関し、市史編集計画の審議と調査を行い、事業遂行に必要な事項を市長に答申又は建議することにより、木更津市史編さん事業の推進に寄与した。
木更津市史編さん事業	市史基本構想及び基本方針や刊行計画に基づき市史編さん部会を組織し、史・資料の調査、研究を実施した。「通史編」「史料編」「民俗編（総論・資料編）」「自然編（総論・資料編）」の編さんに向けて各部会が分担して取り組んだ。調査・研究成果を市民に提供するため公開講座の開催や、「木更津市史研究」などを作成した。

金鈴塚古墳保護事業	き損が目立つ金鈴塚古墳の復旧工事を実施することにより、古墳の適切な管理と地域住民への安全性の確保が可能となった。
将棋文化継承・普及関連事業	「木更津市長杯小中学生将棋大会」開催し、将棋を通じて地域の芸術文化の振興を図った。

公 民 館

○ 中央公民館

事 業 名	実施回数	事 業 概 要
ボランの広場	10	ハンディキャップを抱える人に対し、可能な範囲で実施出来る体験活動や学習機会を提供することにより、仲間との交流や余暇充実の一助となった。
おしゃべりたぬき学級 (家庭教育)	11	小中学生期の子育てや家庭教育のあり方について考えるとともに、子育てを通じて地域の母親の交流と仲間づくりをすすめた。
中央コミュニティカフェ (地域課題)	7	まちづくり協議会と共催事業として、地域住民が気軽に立ち寄り交流する機会を提供すると共に、地域課題を語るコミュニティカフェを開催した。
中央郷土史講座	11	木一中学校区を中心とした郷土の歴史、文化・伝統などについて学習し、地域に発信すると共に郷土愛を育む機会を提供した。本年度は「一中学区の隠れた歴史を探ろう」をテーマに学習した。
スマートフォン講座	2	高齢者層を対象として、発達していく情報機器について学ぶ機会を提供することにより、受講された方に、生活のツールとしてより役立させて頂くことを目的とした。
中央KIDSクラブR4 (サタデースクール事業)	10	市内の様々なボランティア団体の協力を得ながら、近年減少傾向にある自然体験、野外体験活動の機会を提供し参加者の自主性、社会性の醸成を図った。
中央ふれあい学級 (高齢者学級)	11	高齢者を取り巻く諸問題について見識を広めるとともに、高齢者の生きがいづくりや健康増進を図ることを目的に開催した。
中央健康講座	6	あらゆる世代が健康のために今からできる習慣作りをテーマに、実習や講義を通して多角的な面から健康について考える場を提供した。
気まぐれウォーク	2	コロナ禍による自粛生活からくる運動不足やストレスの解消のために、健康ウォーキングを開催した。
てくてく木更津わくわく散歩 中央コース	1	『木更津街なか路地めぐり～路地の先には未来が見える～』のテーマのもと、昔ながらの通りや路地を歩きながら、中央地区の歴史を探ったり新たな木更津を発見したりする機会とした。
ステップたぬき学級（思春期学級）	10	高校生以上の保護者を対象に、思春期の子どもの心身の成長や家庭教育のあり方について情報交換や学習をしながら、地域の保護者の交流と仲間づくりを目的として実施。
利用者懇談会	2	公民館の目的や役割、利用方法等について理解を深めるとともに、利用団体相互の交流・情報交換の場となった。
中央公民館だより発行事業 (公民館HP含む)	12	公民館事業の報告を中心に、生涯学習情報や身近な地域の話題を取り上げ、地域に対して広く情報を発信した。
やすらぎの珈琲講座	4	珈琲の種類、淹れ方などの基礎知識を学び、コミュニティカフェのボランティアの育成を目的とすると共に、地域住民の生活を潤す一助として開催した。
木更津第一中学区住民会議 (事務局)	4	地域の青少年育成関係団体や教育機関相互の情報交換を通じて、青少年健全育成のための交流を図った。
中央地区まちづくり協議会 (事務局)	5	地域で活動する多様な団体会する場として、地域課題を主体的に解決していくための会議や事業を実施した。今年度は、コミュニティカフェの開催や避難訓練など防災関連のイベントを実施した。
第46回中央公民館まつり (事務局)	1	3年振りの開催となったが、新型コロナウイルスの影響により、参加団体数は過去と比べ少なかったが、反省会での意見交換の成果を次回に生かしていきたい。
図書貸出事業	通年	図書の貸出、整理など、資料の提供を行った。

○ 木更津市立公民館（全体事業）

事 業 名	実施回数	事 業 概 要
てくてく木更津わくわく散歩	4	地域には固有の「歴史」「文化」「人材」という魅力がある。これらの魅力を再発見していただくと共に、公民館活動を広く周知し、利用者の拡大へとつなげることを目的に、5月と11月に全4回を連携して全館で実施した。
さとやまアドベンチャー	1	木更津の里山の自然を生かした体験を提供し、自然とのふれあいやそこに住む大人たちとの交流を通して、子どもたちの豊かな心と身体を育み、自然豊かな木更津の魅力を再発見する目的として、小学生を対象にツリーイング・竹細工製作・草木染め・きのご観察・ネイチャージム・どんぐり工房などを実施した。
スマートフォン活用講座	3	全市民を対象とした、講座を行うことで日頃関わることの無い他の地域にお住いの受講者が関わることで、操作の方法だけではなく、広い範囲で交流の場とすることが出来た。また今年度は初心者だけでなく応用編としてスマホを更に便利に活用するための講座も実施した。
自治会向けタブレット端末操作体験会	4	地域のデジタル化を推進する一助として、市が配布したタブレット端末の操作を題材として取り上げ、市民活動支援課と合同で実施。またラインワークスを活用した公民館を中心とした職員、市民で情報共有する利便性や必要とする内容等の検証を市政協力員と一緒にに行った。

○ 木更津市立公民館（ブロック連携事業）

事 業 名	実施回数	事 業 概 要
Aブロック (中央、文京、桜井)		夏休みに親子対象のデイキャンプ、冬に食育に関する講座を実施した。 ・夏休み親子デイキャンプ（7月） ・食育に関する講座（太巻きずし、味噌づくり：1月～2月） ・フリースペース（各館で実施）
Bブロック (富来田、富岡、岩根、岩根西、金田出張所)		里山の冒険8月（青少年健全育成事業）1回 陶芸教室7・8・9月（成人教育事業）4回 太巻き寿司に挑戦12月（家庭教育関係事業）1回 富来田の祭典3月（地域課題関係事業）1回
Cブロック (清見台、東清、中郷、西清川)		地域の課題（食に絡めた『環境』をテーマ）や家庭教育学級、食育の講演会を実施した。 ・食と環境を考える講座7・8・9月の4回 ・家庭教育学級6・9・11月の3回 ・フリースペース（各館で実施）
Dブロック (畑沢、波岡、八幡台、鎌足)		4公民館が連携して開催することで、各公民館事業の発展につなげた。 ・4公民館家庭教育学級交流会・ポッチャのゲームを通して交流 ・鎌足健康講座（公開）5回 ・八幡台・波岡思春期家庭教育学級公開講座・講演会開催 ・畑沢そよかせ家庭教育学級公開講座・ボードゲーム体験 ・教育講演会・心身の不調を訴える子どもが増えている現状を伺い、家庭や地域でどう支援していけばよいかを考える機会とするため開催。

○ 富来田公民館

事業名	実施回数	事業概要
子ども体験教室※一部共催 (サタデースクール事業)	4	地域の方から梅の実の刈り取りも出来ない状況との相談を受け、梅刈りから梅ジュースづくりやお飾り作り、ガラスドーム作り、そば打ち体験を実施。大人と子ども楽しく時間を過ごし異年齢交流を深めた。
ワクワク子ども陶芸教室※ (サタデースクール事業)	4	富岡公民館にて実施。子どもの自由な発想を活かしながら、ものづくりによる知育を育て、道具等の協力による人間関係を学ぶ機会を提供した。
わくわく子どもヘルシークッキング※ (サタデースクール事業)	2	メニュー作りから食材選び、調理、試食まで、食と健康について自ら考え、工夫しながら食に対する興味を深め、家庭で実践できる料理の基本を学ぶ機会を提供した。
生き生きロビー活用事業	通年	ふるさと観光、来館記念の思い出写真等のため、伝統のかすりの着物、手作り甲冑の貸出を行った。
花いっぱい運動※ (生き生き子ども地域活動促進事業)	2	感染症予防を考慮し、今年は青少年健全育成会議の役員と公民館、地区協力者によって、公民館の花壇の植替え及び除草作業実施した。
デイキャンプ (生き生き子ども地域活動促進事業)	1	富来田地区青少年健全育成会議と共催で計画し、少年自然の家キャンプ場を利用し、子どもの自炊やレクレーションで、自立や異年齢交流を深めた。
きらきらひろば (富来田家庭教育学級)	-	乳幼児・小学生・中学生の保護者を対象に、館内のフリースペースを利用できる場を準備し利用を促した。
ふくた健康講座	7	インボディ計測と運動・良い睡眠環境・体組成計の利用の仕方等の理解を深め、学級生の健康増進に努めた。
富来田みどり学級※ (高齢者学級)	9	事前に学級生と相談し、年間計画を策定。ものづくり体験、涵養を高める学習、芸術鑑賞等を実施した。
富来田ふるさと講座	9	開講時に班編成し、年間の計画を作成。郷土の学びを深め、またゲーム形式による過去の学びの復習を含め、受講生自身が学びを語れるようになる機会を模索した。
Someデイハイク	3	主に中高年層を対象とし、「歩き」を通して体力・健康寿命の向上を促進させることを目的に3回実施した。
ディスカバリーウォーキング	1	主に中高年層を対象とし、歩きを通して「新たな発見」を目指すと共に体力・健康寿命の向上を促進させることを目的に実施した。
活き生きクッキング講座	-	地区社会福祉協議会との連携で計画したが、参加希望者が少数であったため中止。
富来田市民講座	2	環境カウンセラー千葉県協議会の職員を招いて「みんなで学ぶSDG's」と題し、環境問題を考える機会とした。
竹取物語（地域課題講座）	3	地域課題でもある竹の繁茂の抑制、竹資源の利用価値を考えるため実施。竹炭・竹熊手、浮書絵、竹細工（花かご）づくりなどに挑戦した。
スマートフォン講座（地域課題講座）	2	特に高齢者がスマホ活用した各種手続きに対応できるように、2回開催を1講座として実施した。
てくてく木更津わくわく散歩	1	「猛者が割拠した字麻具多」と題し、国産バナナ園・寺社・真里谷武田氏山城・ブルーベリー園などの見学等を行い、富来田の隠れた魅力を紹介した。
利用者懇談会	2	年度当初に書面で利用方法の再確認のための資料を配布。年度末に公共施設予約システム等DXの活用講習、説明を行った。
富来田地区まちづくり協議会	12	総会は通常開催し承認を得たが、富来田地区納涼大会、コスモスフェスティバルは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。
展示ホール活用事業	通年	地域住民、博物館等の協力を得て、展示ホールを開放し、市民作品や博物館情報の公開を行った。
公民館だより発行事業	12	富来田公民館だよりの各地区全戸配布による公民館情報等の提供(富来田公民館だより)その他に、小中学校等へも配布した。
地域活動支援事業	通年	区長会、富来田ふれあいの会、フレンズスポーツ倶楽部、武田川コスモスロードの会、元旦マラソン大会実行委員会など、地域で活動する団体・組織の求めや必要に応じた助言・援助を行った。特に地域で発足した里山農業体験塾では、子どもの事業担当として地域とともに事業を運営することができた。
富来田地区市民文化祭	1	3年ぶりに開催。新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、各団体・サークルの作品展示や舞台での発表の場となった。
富来田地区青少年健全育成会議※ (事務局)	6	事務局として総会、役員会を開催し、地域の子どもの健全育成に関する情報交換、花いっぱい運動の事業運営を協力して行った。
図書貸出事業	通年	図書の貸出・整理、リクエストの受付、各種資料の提供。

※富岡公民館と共催事業

○ 岩根公民館

事業名	実施回数	事業概要
YOU 遊 イングリッシュ (サタデースクール事業)	5	小学3年から6年の子どもたちが、会話を通して英語に親しむとともに、異年代間の交流を図った。
子どもなんでも体験教室 (サタデースクール事業)	1	多様な体験(正月飾りづくり)を通して、物ごとへの関心を高めた。
岩根つくし家庭教育学級	9	小中学生を子どもに持つ親を対象に、家庭教育の役割等、子どもの心と身体について学習し、子育てを支えあう仲間づくりの機会とした。
岩根すぎな家庭教育学級	10	高校生以上の思春期の子どもを持つ親を対象に、家族や地域との関わり方を学びながら、家族や地域を支えあう仲間づくりを目指した。
岩根パソコン教室	6	パソコン入門者を対象に、パソコンの基本的な使い方を学び、実生活に役立つ技術習得することで、趣味を広げ生活を豊かにするための一助とした。
岩根健康学習会	10	健康と病気の予防の大切さを学び元気な過ごし方を知恵を体得した。話し合い学習を通して、健康を支え合う仲間づくりを進めた。
岩根郷土史講座	10	郷土の歴史を学び、ふるさとの再発見を通して、郷土を愛する心を育てた。
利用者懇談会	1	公民館活動への理解を深めるとともに、利用者相互の交流を図り、もって公民館活動の推進を図った。
初めてのスマホ・タブレット講座	3	スマートフォンの基本的な操作から、ライン、キャッシュレスの使い方まで、日常の中で使用頻度の高い内容を学ぶことで、スマートフォンの使用促進を図った。
公民館報発行事業	12	地域の生涯学習、公民館活動、地域情報を発信し、地域内の社会教育及び公民館活動の振興を図った。毎月1回の定期発行、全戸配布を行った。
青少年育成岩根東地区住民会議(事務局)	6	青少年健全育成に関わる団体相互の連絡調整を図るため定期的に会議を開催し、地区内の青少年健全育成の機運を高めた。また、今年度は新たに防災を加えたウォークラリー大会や防災体験コーナーを加えた模擬店を文化祭で開催したり、「地域の先輩に学ぶ」の講師も11名に増やし、昨年同様中学1・2年生を対象に行った。
岩根公民館運営協力委員会(事務局)	4	効果的な事業運営と住民主体の公民館活動を図るため、地域住民からの助言、協力を得た。
岩根東地区まちづくり協議会(事務局)	4	地域における諸課題に対し、地域各団体が連携を取り解決していく組織。今年度は、市とタイアップしての防災訓練を実施した。高齢者生活支援部会では、支援組織の体系化、ふれあい訪問を実施した。コミュニティカフェ事業では、公民館との共催で「にじいろサロン」を実施した。

図書貸出事業	通年	市立図書館の協力支援のもとに、地区住民の読書活動の普及促進を図った。
子どもサイエンス教室 (サタデースクール事業)	1	夏休みに入り、小学生とその保護者を対象に観察や実験などを通して、科学の楽しさに触れた。
ホット スカット ハイキング	-	新型コロナウイルス感染症対策のため中止。
にじいろサロン	10	まちづくり協議会との共催事業として、地域住民が音楽やパフォーマンスを楽しむ機会を作るとともに、地域課題を探るコミュニティーカフェの場としても位置付け、実施した。
岩根陶芸教室	4	Bブロック連携事業の一環として、岩根西公民館と共催した。陶芸の基礎を学ぶとともに、文化祭での展示を目標に作品作りに取り組んだ。地域内外の受講生同士で交流を行い、親睦を深めた。
岩根ほがらか高齢者教室	9	学びを通じて高齢者の生きがいがいつくりや健康増進を図るとともに、高齢者を取り巻く課題の理解を促進した。
第65回岩根東地区文化祭(共催：同実行委員会)	1	感染症対策を行いながら、展示・発表・イベントの3部門ともほぼ例年並みの規模で3年ぶりに開催した。
いきいき子ども地域促進事業(事務局)	1	文化祭において、防災クイズを加えたウォークラリー大会を実施したり、防災体験コーナーを加えた模擬店を開催した。

○ 鎌足公民館

事業名	実施回数	事業概要
子ども体験事業 (サタデースクール事業)	6	土曜日や夏・冬休みを利用して、親子の交流と地域文化の継承などを目的に実施した。
You*You (遊友) 鎌足	16	地域の子どもが地域の大人と日常的・定期的に関わり合うことを目的としたフリースペースを企画した。
どんぐり山の親子くらぶ	11	母親同士の交流、情報交換を図りながら、地域で子育てを行う環境の醸成に努めた。
鎌足むかし発見講座	3	地区内の歴史・仏像等の調査を行い、地域の歴史・文化をより深く知り、周知するように努めた。
伝統ほうき作り研究	3	原材料を栽培し、千葉県唯一のほうき職人から、途絶えつつある伝統技術を学び、地域の活性化につなげる方法を模索した。
東洋医学から読み解く私たちの健康	5	健康を維持するための様々な視点を学習した。
野山歩き隊	1	千葉県内の自然公園を歩き、歴史・自然に親しみ、健康増進を図った。
鎌足ふるさとたずね歩き (共催：鎌足ふるさとかるた会)	1	鎌足内外の方に、鎌足地区の歴史を紹介し、郷土愛を深めた。
スマホ講座	3	スマホに不慣れな方を対象に、スマホの使い方や木更津市のICTの取り組みについて説明した。
優れた文化に触れる教室	1	優れた建造物や美術品などに触れることにより、鎌足地域の文化醸成・発信の一助とした。
精進料理教室	1	地元の食材を使用して、誰でも作ることのできる精進料理を学ぶ機会を提供した。
公共施設予約システム操作研修会	2	サークル・団体の公共施設予約システムの利用促進を図るために実施した。
Zoom体験会	3	オンラインに参加するきっかけづくりの創出として実施した。
鎌足公民館利用者懇談会	1	鎌足公民館を利用する地域団体関係者・利用サークル代表者の情報交換、交流を図る。
たこづくり・たこあげ大会	1	鎌足地域で風づくり・風揚げ大会を通じて、世代を超えた地域住民の交流の場とした。
鎌足公民館運営協力委員会	1	公民館活動への理解を深めると共に、助言・協力を得た。
館報発行事業	12	公民館と地域住民を結び公民館活動への理解を深め、生涯学習機会の情報を提供した。
図書貸与事業	通年	地域住民の読書活動の推進を図った。
鎌足地区青少年育成住民会議 (事務局)	2	地域ぐるみで青少年の健全育成・地域の子育て環境の醸成に寄与した。
鎌足地区まちづくり協議会 (事務局)	通年	地域における諸課題に対し、地域住民及び各団体が連携を取り解決していく方法を模索した。
P T Aサマーキャンプ (共催)	-	新型コロナウイルス感染症対策のため中止。
鎌足桜学級	11	健康増進や趣味の充実の為に学び生きがいがいつくりに資するとともに、地域の高齢者の交流の機会とした。
第43回鎌足地区文化祭 (事務局)	1	合同開催だった敬老のつどいは中止となったが、地域文化の醸成に寄与することができた。
連句入門教室	6	俳句の生まれる元となった連句を通して、日本文学の奥深さを学ぶ。

○ 中郷公民館

事業名	実施回数	事業概要
中GO!探検オリエンテーリング大会 (東清川・中郷地区青少年育成住民会議 中郷分会主催)	1	中郷中学校跡地を含め23か所のポイントを設置、親子で地域にまつわる問題を解きながら制限時間内に巡ることにより、地域への愛着と青少年健全育成活動の促進となった。
中郷思春期家庭教育学級 (中郷けやき思春期学級)	4	人が集まらずに継続的な実施が困難な状況になったが、家庭での心のゆとりを得る機会となった。
中郷幼児家庭教育学級 (中郷どれみふぁキッズ)	9	孤立しがちな母親同士の仲間づくりや基本的な学習を実施した。
パパ育児のすすめ	1	父親が子育ての歓びを実感し、積極的に楽しみながら育児参加できる環境づくりを醸成する一助とする。
60代から始める電子決済入門講座	1	アクアコインを主とした電子決済の使い方を体験し、高齢者がデジタル社会に対応できる一助とした。
公民館だより発行	12	公民館事業及び地域の情報を広く地域全体に提供・発信する広報活動を展開した。
中郷公民館運営協力委員会 (事務局)	通年	効果的な事業運営と住民主体の公民館活動を図るため、地域住民からの助言、協力を得た。
東清川・中郷地区青少年育成住民会議中郷分会(事務局)	通年	地域の青少年育成関係団体や教育機関相互の情報交換や中GO!探検オリエンテーリング大会等の開催を通じて、青少年の健全育成を推進した。

中郷地区まちづくり協議会(事務局)	通年	地域の身近な話題に、自主的かつ主体的に対処し、安全で安心な暮らせる魅力ある地域づくりの推進に取り組んだ。
図書の貸し出し	通年	地域住民にとっての身近な“図書館”として、利用の促進及び読書活動の普及を図った。
中郷こども体験教室	1	マジック教室でいくつかのマジックを身に付けてもらい、コミュニケーション手段としてもらう。
中郷ふれあい夏まつり (東清川・中郷地区青少年育成住民会議 中郷分会主催)	1	中郷地区の様々な団体が事前準備、出店、運営等を実施し、夏まつりを実施。予想を超える地域の方々が来場した。
精進料理教室	2	安心安全で地産地消を目指して、誰もが簡単に作れる精進料理教室を開催
おにぎり料理教室	1	地元産の米などを使用したシンプルで奥の深いおにぎり教室を、農協女性部の協力を得て実施
魚料理教室	2	魚市場のプロによる実践的な魚の扱い、さばき方、調理等を学習。
ゆる楽ピラティス講座	2	ピラティスにより心と体を癒す方法を学び、これからの生活を張りのあるものにしていただく。
中郷カレッジ	7	中郷地区だけでなく、周辺地域を含めた様々な歴史や民俗、文化に目を向け学ぶことにより、地域の文化をより深めていく一助とする。
連句入門教室	6	俳句の生まれる元となった連句を通して、日本文学の奥深さを学ぶ。
みのり学級(高齢者教室)	3	普段の健康維持だけでなく、様々な環境や人々について学び、自らのこれからを考える契機とする。
第41回中郷地区文化祭 (事務局)	1	地区内の様々な活動をしている団体や個人の学習成果を披露する場を設け、更なる中郷文化を発展させていく。

○ 富岡公民館

事業名	実施回数	事業概要
ワクワク子ども陶芸教室 (サタデースクール事業) ※	4	陶芸を通してものづくりの楽しさを学び、子どもどうしの交流を深めた。
わくわく子どもヘルシークッキング ※	2	献立づくりから食材選び、調理、試食まで、食と健康について自ら考え、工夫しながら食に対する興味を深め、家庭で実践できる料理の基本を学ぶ機会を提供した。
陶芸教室	8	陶芸の知識や技術を学び、作陶を通して受講者どうしの親睦を図りながら、趣味の充実や潤いのある生活を送るための一助とした。
応急手当講習会	1	コミュニティカフェの立ち上げ準備を兼ねて、公民館活動中に急病者が発生した場合に、応急手当の知識や救急隊が到着するまでの対処の仕方について、体験しながら習得する機会を提供した。
とみおかにこにこカフェ	8	地域の誰もが自由かつ気軽に参加し、対話を通してコミュニケーションを深めながら、楽しく有意義なひとときを共有し合える場として、新たにコミュニティカフェを立ち上げ、地域交流促進の一助とした。
てくてく木更津わくわく散歩	1	富岡・ロマン街道の協力のもと、「雨乞如来・ててぼ様」ゆかりの場所である木の根沢区をメインとした地域の散策と創作紙芝居の上演を行い、富岡の隠れた魅力を紹介した。
富来田みどり学級(高齢者学級) ※	9	日常生活に必要な学習やものづくりなどを通して、高齢者が健康で豊かな毎日を過ごすための一助とした。
第43回富岡地区文化祭	1	富岡地区の文化の発表の場として、サークルや子どもの作品、地域活動の展示や各種イベントを通して、住民の交流と結束を促し、地域の絆を深める機会とした。
富岡公民館運営協力委員会	5	公民館活動に対する理解と事業充実に向けて助言や協力を得るため、総会、役員会を開催し、富岡地区文化祭や利用者合同研修会、コミュニティカフェの検討に取り組んだ。
利用者合同移動研修会	1	移動研修を通して、郷土の歴史・自然・文化など富岡地区の魅力や課題などについて認識を深め、公運協委員と利用者どうしの対話と交流の機会とした。
富来田地区青少年健全育成会議 ※	4	富来田地区の青少年健全育成に向けて、総会、役員・理事会、夏冬の全体会議などを行った。
花いっぱい運動(富来田地区青少年健全育成会議主催) ※	2	とみおか・ロマン街道の会の協力を得て、公民館の花壇やロマン街道沿いの花の植替えを行った。

※富来田公民館との共催事業

○ 文京公民館

事業名	実施回数	事業概要
サタデーきつぷチャレンジ (サタデースクール事業)	5	創作活動や体験学習を通して、技術の向上やものづくりの楽しさを伝える機会とした。
書初め教室 (サタデースクール事業)	2	新しい年に希望を込めて、書き初めの課題を楽しく練習した。
文京ネイチャークラブ自然探検隊 (サタデースクール事業)	2	地域に残るホテルの生息地を訪ね、自然環境について親子で考える機会とした。
子育て広場カモミール (家庭教育学級)	10	木更津第二小学校・請西小学校通学の児童を持つ保護者を対象に、家庭教育の役割について学び、親同士の交流を図りながら、子育てに関する諸問題をともに考える機会とした。
にこにこルーム (乳幼児家庭教育学級)	9	概ね、生後10ヶ月～就学前の乳幼児及びその保護者を対象に、様々な遊びを通じて参加者同士の交流を図る機会とした。
フリースペース	8	親子を対象とした子育ての支援をした。育児に関する悩みや不安を軽減し、のんびりリフレッシュする場とした。
放課後広場「プラタナス」	7	放課後等において、児童が安心・安全に過ごせる居場所づくりの支援をした。
てくてく木更津わくわく散歩文京コース	1	木更津第二中学区の魅力再発見として、坐禅体験を取り入れた祥雲寺山散策道のコースを紹介し、新規公民館利用者を増やすことができた。
防災学習講座	1	地域住民の防災についての意識向上を図るための座学及び災害時等に役立つロープワークの講習を実施した。
スマートフォン体験講座	2	スマートフォンの基本的な使い方について講習を行い、木更津市が推進する「アクアコイン」や「らづナビ」・「らづfit」について周知活用を促した。
文京ふれあい学級(高齢者教室)	10	65歳以上の高齢者を対象に、心と身体の健康維持・増進・生きがいづくりと仲間づくりを講義や実技を通して行った。
健康寿命アップ講座	2	地域住民の心と体の健康の増進を目標に、転倒予防体操、フレイル予防についての学習を実施した。
秋の健康ハイキング	1	健康について考え、身体を動かすきっかけ作りとするためバスハイキングを実施した。
リモート連携講座	1	当館で実施する講座をZoomアプリを使用し、桜井公民館の大型モニターにて放映し、桜井公民館利用者に視聴・参加可能とした。

木更津市立木更津第二中学校区 青少年健全育成住民会議（事務局）	7	二中学区の青少年健全育成のため関係団体や教育機関等と相互の情報交換を主に行った。青少年懇談会と役員会等を実施した。（桜井公民館共催）
利用者懇談会	1	公民館の利用方法を確認し、コロナ禍における公民館まつりについて検討を行った。
公民館だより発行事業	6	公民館事業の案内や地域情報を発信した。
地域交流防災学習体験会 （生き生き子ども）	1	災害に際し、自らが生活する二中学区の防災活動の担い手となることの気づきの場とすると共に、児童の健全育成と地域防災意識の向上のため各団体との連携・協力の場とすることを目的として実施した。（桜井公民館と共催）
ごみ拾い活動 （生き生き子ども）	1	新田・貝渕地区を中心にごみ拾い活動及び地域の危険箇所の確認を行った。（桜井公民館と共催）
第21回文京公民館まつり（事務局）	1	展示・イベント・芸能発表を行った。延べ来場者数は1,126人となり、サークル・地域住民の交流の場とすることが出来た。
木二中学区学社連携会議	1	木二小・請西小・真舟小・木二中の小中学校の担当職員と公民館職員で会合を持つことにより、相互の活動の円滑化・活性化を図った。
公共施設予約システム操作講習会	1	講習会を開催し操作方法について説明を行った。また、講習会実施後には参加者のスマートフォン等を使用し、個別に使用方法の説明を行った。

○ 八幡台公民館

事業名	実施回数	事業概要
ほたる鑑賞のタベ （サタデースクール事業）	1	地元上烏田に発生するほたるの鑑賞を通して地域の自然環境を理解する機会とする。また併せて世代間の交流を図った。
親子ハゼ釣り教室 （サタデースクール事業）	-	新型コロナウイルス感染症対策のため中止。
八幡台サタデースクール夏休み 体験事業（サタデースクール事業）	2	「華道体験」及び「絵手紙体験」を実施。子どもたちが、普段では学ぶことができない分野を学ぶ機会を創出することができた。
お飾りづくり教室 （サタデースクール事業）	1	地元上烏田に伝わる正月のおかざりづくりを通じて、地域の伝統文化を理解するとともに世代間の交流を図る場とした。
遊び塾なみ・はち （サタデースクール事業）	4	波岡小学校の児童と一緒に、自然体験や制作体験を地元講師に教わりながら行うことにより、異学校交流、異学年交流を図った。
めばえ家庭教育学級	8	親子遊び、母親同士の交流を通して仲間づくりを行うとともに、育児に関する知識を学ぶことにより、よりよい子育ての手助けを行った。
ひばり家庭教育学級	10	主に小学生期の児童を持つ親を対象に、家庭教育や子育て学習を通して、親同士のつながりをつくることができた。また、子どもの理解や親のあり方について考えた。
思春期家庭教育学級 （波岡公民館共催事業）	10	思春期の子どもを持つ親を対象に、家庭教育や子育て学習を通して、親同士のつながりをつくることができた。また、子どもの理解や親のあり方について考えた。
八幡台郷土史講座	10	郷土の歴史・民俗・文化を学習し、郷土への理解と愛着を深め、郷土愛を育てた。
八幡台健康講座	6	現代的課題の一つである「健康」について、「免疫力を高める」をテーマに取り上げ、学習し、市民の健康増進を図った。
スマートフォン体験教室	4	スマホに不慣れな方を対象に、スマホの使い方や木更津市が推進するらぶナビ等の取り組みについて説明した。
てくてく木更津ワクワク散歩八幡台コース	1	八幡台地区の身近な自然にふれる機会を作るために、「ほたる舞う里山から開発続く街並みへ」というコースを設定し実施した。
波岡・八幡台歴史探訪ハイキング	-	新型コロナウイルス感染症対策のため中止。
利用者懇談会	1	サークル活動の意義や公民館・社会教育に対する認識を深め、サークル間の交流を図る機会とした。
八幡台公民館だより発行	11	公民館活動を広く周知するとともに、地域の情報紙として機能するよう活用を図った。
波岡地区学校公民館連絡会	1	波岡中学校区の児童、生徒にかかわる情報交換及び次年度年間事業計画の共有を行った。
八幡台かえで学級	10	社会の変化や健康等についての学習を通して、高齢者の生きがいの増進と健康の維持、仲間づくり、地域づくりを図った。
図書貸出事業	通年	図書のリクエストや貸し出し業務を行い、読書活動の普及と推進を行った。
サークル支援事業	通年	主に館を利用する団体・サークルが円滑な運営をするために、活動の調整等で支援した。
コロナに負けるな、俳句で吹き飛ばせ！ 俳句作ろうコンテスト（共催事業）	1	八幡台小学校児童を対象に、新型コロナウイルス感染症対策に伴い、自宅でもできる活動として俳句コンテストを実施した。
ひばりカフェ（共催事業）	10	地域間の交流促進を図るとともに、情報提供の場や活動の仲間が集められる場所を設けた。
星空シアター（共催事業）	1	公民館前の四季の杜の広場に大きなスクリーンを設置し、星空の下映画鑑賞を実施した。
窓ガラスに絵を描こう！（共催事業）	2	八幡台小学校児童及び波岡中学校生徒を対象に、水性クレヨンを使って公民館の窓ガラスいっぱい絵を描いた。またボランティアで関わった大人達とも交流を図った。
ちょこっと講座（共催事業）	9	八幡台地区の住民を対象に、子育てなどその時々々の身近な話題の情報を提供し、いっしょに考える場を設けた。
中学生によるスマホ教室（共催事業）	1	波岡中学校生徒を講師として招き、スマートフォンの使用方法について高齢者の質問に答えてもらった。生徒の社会参加を促進し、多世代交流の機会を創出することができた。
第19回四季の杜音楽祭（共催事業）	-	新型コロナウイルス感染症対策のため中止。
第39回上烏田・八幡台・羽鳥野 地区文化祭（共催事業）	1	3年ぶりに開催。展示・芸能発表・イベント（模擬店・体験教室）などを実施。
生き生き子ども地域活動促進事業 （共催事業）	1	風づくりを通して親子、地域の大人と子どもの交流の機会とする。郷土の民俗文化への理解を深めた。（青少年育成連絡会議と共催）
波岡中学校区青少年育成連絡会議（事務局）	通年	地域の青少年育成に関わる団体の連絡調整と啓発活動を行うことにより、青少年健全育成活動を推進した。
ひばり（八幡台小学校区） まちづくり協議会（事務局）	通年	地域の身近な課題に、自主的かつ主体的に対処し、安全で安心することができる豊かで住みよい魅力ある地域づくりの推進に寄与した。
地域を考える会（事務局）	通年	会議に参加し、地域住民の抱える悩みやその他の現状を情報共有した。
八幡台小ひばりチャレンジ広場 （協力事業）	通年	八幡台小児童の放課後の居場所づくり事業として保護者や地域が主体となる運営委員会により実施し、その活動を支援した。今年度は開催に向けて打ち合わせ等を実施し、3年振りに開催した。

○ 東清公民館

事業名	実施回数	事業概要
夏の子ども教室 (サタデースクール事業)	4	夏休み等に創作活動や体験的な学習を実施し、異年齢児童や地域の大人との交流を図り、豊かな情操を育む一助となった。(七夕かざりづくり、ポスターづくり、手づくりハガキ)
冬の子ども教室 (サタデースクール事業)	4	冬休みに創作活動や体験的な学習を実施し、異年齢児童や地域の大人との交流を図り、豊かな情操を育む一助となった。(お飾りづくり教室、書き初め教室、お正月料理づくり、雛祭りスイーツづくり)
親子映画会	2	映画の視聴を通して、親子のふれあいの場とともに、豊かな情操を育む一助となった。
小中学生のママ講座	9	小中学生の子どもを持つ親の子育てに関する学習や情報交換、地域での母親のネットワークづくりを図ることができた。実技も昨年の経験をふまえて、1歩進んだ作品に挑戦することができた。
子育て学級（フリースペース）	6	主任児童委員と連携して町内会の集会所を会場に実施し、地域に住む親子同士の交流と保健師等から子育てのヒントやアドバイスを貰える場を提供することができた。
ふるさと歴史講座	8	木更津市や千葉の歴史を学ぶことにより、郷土愛を深め、新旧住民相互の交流の機会となった。
石造物調査隊	16	地区内の石造物の調査及び記録活動を通じて身近な郷土の文化遺産を後世に伝承することができた。
発酵ライフ体験教室	7	健康で豊かな生活を送るために、発酵に関する講義や移動研修、実習を通して、食育や免疫力アップに繋がる意識を高めることができた。
初心者のためのスマホ入門教室	2	スマートフォンを持っていない、これから購入する予定の方を対象に、スマホを利用した情報収集・活用方法についての基礎的な学習機会を提供することを目的として開催した。
東清市民講座	2	実際に災害に直面した状況を想定してグループワークや作業など取り入れながら学習することで、災害時における事前準備・対策について学ぶことができた。
てくてく木更津わくわく散歩	1	戦国時代のロマンと里山の豊かな自然を楽しみながらウォーキングすることで、東清川地区の魅力を木更津市内の住民にPRできた。
利用者懇談会	1	サークル活動の意義や公民館・社会教育に対する認識を深め、サークル間の交流を図る機会とすることができた。
公民館だより「かけはし」発行	12	地域の情報や公民館活動・生活情報などを幅広く住民に発信し、住民と公民館との「かけはし」となった。
図書貸出事業	通年	市立図書館と連携し、地域における読書活動の普及を図った。
東清川・中郷地区青少年育成住民会議 /同東清川分会(事務局)	14	地域の青少年健全育成に向け、関係団体・機関の情報交換や連絡調整を行うとともに「生き生き子ども地域活動促進事業」として「こども防災体験フェスタ」や「花いっぱい運動」を実施した。
東清公民館運営協力委員会 (事務局)	4	住民の代表である委員（市政協力員やサークル代表者）に公民館活動の理解と協力をお願いするとともに、移動研修や40周年記念事業に関する協議などを行った。
第39回東清川地区文化祭(共催)	1	コロナウイルス感染対策のため、展示発表、芸能発表、一部イベントのみを実施。日頃の文化活動の発表や交流、地域住民のつながり、心と心のふれあいを図ることができた。
東清川地区まちづくり協議会（事務局）	10	防災部会を中心に避難所運営マニュアルづくりや避難所開設訓練、地区防災講座等を実施した。また、青少年育成住民会議や地区社会福祉協議会と連携して地域づくりを進めることができた。
東清公民館40周年記念事業実行委員会 (事務局)	9	東清公民館開館40周年記念の事業として、開館40周年のつどい、次の世代に残したい”地域の宝”プロジェクト、記念誌の発行等を行った。
ふるさと歴史ハイキング	2	地域住民の健康増進とともに、自然に触れることで環境への理解を深めることができた。
東清シニアカフェ	11	民生委員や北部包括支援センターと連携し、スマホの使い方だけではなく、健康相談や健康体操、ゲーム、美容、健康講座等外部講にも依頼して楽しく高齢者の居場所づくりを進めることができた。
東清さわやか学級 (高齢者学級)	10	健康体操や落語、脳トレ等、楽しく生き生きとした笑顔の中実施できた。今年度は2回の移動研修も実施できた。

○ 清見台公民館

事業名	実施回数	事業概要
キッズわくわくチャレンジ教室	4	子どもたちや親子によるお飾り作りやデイクャンプ等の体験した。
たんぽぽ家庭教育学級	10	子育て・家庭教育に関する学習、情報交換や体験活動。母親同士の仲間作りの場となった。
ふるさと講座	10	郷土の歴史を学ぶことにより、交流の機会となった。
清見台・太田地区防災連絡協議会 (事務局)	5	地域連携についての協議・意見交換、自主防災訓練についての意見交換、段ボールパーテーション組立て訓練などを行った。
清見台スマホ講座	2	スマホの基本操作や様々なアプリケーションの操作方法について学習した。
公民館だより発行事業	12	広報誌「ハイ公民館です」を年12回発行（予定）。町内会を通じて配布・回覧した。
太田中学校区学社連携担当者会議 (事務局)	3	太田中学校区内の小中学校・公民館による情報・意見交換、連絡・調整をした。
清見台・太田地区まちづくり協議会（事務局）	16	青少年の健全育成や防災意識の向上を目指した活動や地域の危険箇所確認パトロール、コミュニティカフェを開催した。
清見台公民館関係団体連絡協議会 兼利用者懇談会(事務局)	8	清見台公民館・附属体育館利用団体及び地域関係団体相互の連絡・連携し、公民館周辺の環境美化活動(3回)をした。
青少年育成太田中学区住民会議 (事務局)	8	地域の青少年に関係する諸団体相互の連絡・調整と地域の危険箇所確認パトロール、生き生き子ども地域活動による青少年の健全育成をした。
図書貸与事業	通年	本の貸し出しや閲覧による読書活動の推進した。
子育て広場「このゆびとまれ」	22	乳幼児を持つ保護者や親子の遊びと交流。
はつらつ学級	10	高齢者が健康・生活に関する講座や体験をした。
第28回清見台音楽祭(事務局)	-	参加団体と協議した結果中止。
スマイルフェスタ2022	-	関係団体と協議した結果中止。
清見台地区房総かるた大会	-	関係団体と協議した結果中止。
第38回清見台地区文化祭(事務局)	1	地域文化活動の発表の機会として、展示物の掲示及び動画による発表のみを実施。

てくてく木更津わくわく散歩	1	請西地区の歴史に触れながら散歩をして、地域の魅力を発掘した。
プチトレ！ お腹ひきしめチャレンジ	4	お腹のひきしめを目標に、家でもできる運動の一環としてピラティスやストレッチを学習した。
ドキドキ心臓講座	3	眠りの仕組みや健康への影響、効果的な運動等について学び、生活リズムを整えて質の良い睡眠をめざした。

○ 畑沢公民館

事業名	実施回数	事業概要
そよかぜ家庭教育学級	10	学級生と一緒にプログラム作成し、小中学生及び高校生の子どもを持つ母親同士のネットワークづくりと、子育て・家庭教育に関する学習をした。
おやじ専科	10	学級生と一緒にプログラム作成し、地域の男性同士のネットワークづくりと生活課題、地域課題等の学習をした。
ボランティア講座	2	住みやすい地域となるよう住民自ら活動していくための組織づくりの実現について講座生が話し合い、自分にできるボランティアは何かを考え取り組む活動内容を出し合った。
はたざわ歴史講座	10	学級生と一緒にプログラム作成し、郷土の歴史を学ぶとともに、地域住民の交流の機会となった。
健康カレッジ	10	学級生と一緒にプログラム作成し、健康学習や実技・実習を通じて、受講生自身の健康増進に留まらず、将来的に地域ぐるみで健康長寿を促進するための方策を考える講座を開催した。
防災講座	2	まちづくり協議会と共催し、まち協の会員・自主防災会役員・災害対策コーディネーターが一堂に会して講座を受講し意見交換を行い、今後の地区防災活動につなげていく機会となった。
災害コーディネーター集まれ	1	畑沢公民館地区の千葉県災害コーディネーターに呼びかけ、交流会を実施。
スマートフォン講座	13	初心者対象の講座とし、生活が便利で豊かになるよう3パターンの内容構成で開催。また、講座とは別の時間に相談会を2回開催した。
利用者懇談会	3	コロナ感染対策のため、サークル連協の行事、公運協の会議で説明するなど工夫して開催した。
公民館先行予約調整会議	1	自治会・地区社協・民児協を対象とした、公民館使用の先行予約の調整会議を開催した。
公民館だより発行事業	12	公民館事業や地域の情報を提供した。
生き生き子ども地域活動促進事業(事務局)	通年	地区の小中学生を対象に、「絵手紙を描いて地域の方へ私たちの思いを届けよう」をテーマに、地域の大人に日頃の感謝の気持ちを伝える絵手紙を募集し、地区内7カ所で巡回展示を実施した。
畑沢中学校区青少年健全育成連絡会議(事務局)	通年	定例会開催の他に、地域の青少年健全育成のための情報交換を行うため、「子どもたちのための地域フォーラム」を開催した。
畑沢公民館運営協力委員会(事務局)	2	公民館と地区住民をつなぐため、公民館運営の助言や協力を得た。
図書貸出事業	通年	地域の子どものからお年寄りまでを対象に読書活動の普及を図った。
はたざわ子ども公民館(サタデースクール事業)	1	夏の子ども公民館として小学生高学年を対象に全6日間、午前中はフリースペース(自習・読書)、午後にはさまざまな体験学習(ボードゲーム、イラスト、手話ダンス、ふまねっと、プログラミング、ボッチャ、おやつ作り他)を実施。
公民館子ども映画会(サタデースクール事業)	2	小学生対象に、映画を鑑賞して情操の涵養を図る機会とした。
夏休み中学生フリースペース(サタデースクール事業)	8月	中学生を対象に、8月中フリースペースとして自習コーナーを保育室に設置し実施。
びよびよ子育てスペース	10	保護者と乳幼児の交流と子育て学習を実施して、近くに住む親子の仲間づくりを進めた。
びよびよ子育てフリースペース	6	乳幼児期の子とその親が気軽に集えるようフリースペースを開催し、親子遊び・子育て相談をしたり、自由にすごすことができる空間づくりを行った。
野山歩きのつどい	2	公民館入門事業として5月・12月に実施し、身近な自然に親しむと共に健康増進と参加者の交流の機会とした。
てくてく木更津わくわく散歩畑沢コース	1	畑沢公民館地区の魅力再発見として、史跡を見学しながら畑沢公民館地区を一周するコースを歩き、畑沢の魅力を紹介するとともに新規公民館利用者を得るため開催。
畑沢むつみ学級	10	地域在住の65歳以上の方を対象に、毎月1回さまざまな学習を通して学級生どうしの交流が図れるよう開催。
ふれあいフォーラム	1	地区社協と共催し、自宅に引きこもりがちで公民館に行くことが困難な独居・日中独居の高齢者を対象にカフェを開催し、歌や健康講話を実施しフレイル予防を図る。コロナ感染拡大防止のため中止。
第38回畑沢公民館地区文化祭	1	展示を中心に、グラウンドゴルフ大会等のイベント、コロナ対応が可能な販売を実施、芸能発表は中止したが、希望するサークルの成果発表、サークル・団体の紹介を市プロモーションチャンネルより視聴できるよう制作配信した。総じて地区の文化交流の機会となった。
波岡西地区まちづくり協議会(事務局)	通年	役員会を毎月1回開催し活動の基礎固めを図った。防災講座を2回開催、市防災訓練の役員視察、昨年度9月に設立以来初の評議員会を12月に開催し、今後の地区防災活動についての方針について承認を得た。また、災害時に必要な備品購入を実施した。

○ 岩根西公民館

事業名	実施回数	事業概要
なのはな家庭教育学級(家庭教育)	12	小中学生期の子育てや家庭生活に活かせるような様々な体験学習や活動を行い、併せて母親同士の交流と仲間作りを進めた。
めばえ学級(家庭教育)	13	親子遊びを中心に、乳幼児と母親のふれあいの場を提供することで、子育て支援の一助とするとともに、地域の母親同士の交流を図った。
岩西ふれあい学級(高齢者)	9	65歳以上の高齢者を対象に地域住民同士の交流の場や生きがいづくり又、健康増進を目的とした。
伝統文化いけばなこども教室(サタデー)	11	子供たちが「いけばな」を学びながら、伝統文化について関心や理解を深めるとともに、豊かな人間性を育む機会とした。
岩西野山ハイキング	2	地域住民の健康増進を目的に歩く会を実施した。
スマートフォン入門講座	2	テンキーなどのボタンがある多機能携帯電話(ガラケー)からスマートフォンへ移行が進む社会情勢の中、IT弱者を少しでも減らすとともに、木更津市が推進している「らぶナビ」、「アクアコイン」の利用促進を図った。
岩根西地区青少年育成住民会議(事務局)	2	地域の子ども達は地域で育てることを目的に各種青少年育成団体との連絡調整を行い、必要に応じて地域の教育課題をとりあげ会議・事業を実施した。(岩西夏の冒険スペシャル、かぼちゃの重さ当てクイズ実施)
岩根西地区まちづくり協議会(事務局)	通年	地域住民が主体となって地域の課題を掘り起こし、検討・取り組み・評価することによって、地域力を高め、地域自治力を促進させた。
公民館報発行事業	12	公民館事業を中心に生涯学習情報を提供するとともに、読者に身近な地域の話題等を取り上げ、広く情報を発信した。
第37回岩根西地区文化祭	1	地域文化活動の発表の機会として、今回はコロナ対策のため、展示部門のみによる開催を実施した。

岩西おしゃべりカフェ	6	地域交流の場を提供する目的で開催した。
図書貸し出し業務	通年	身近にある図書室として、地域における読書活動の普及と推進を図った。
公民館運営協力委員会	2	地域区長が中心となり、公民館事業全般の運営について協力を仰いだ。
利用者懇談会	1	館を利用する団体・サークルが一堂に会し、公民館利用についての意見交換をし、館の今後の円滑な運営について協議を行った。
フリースペース	通年	公民館を利用する方々の憩いの場として提供した。

○ 西清川公民館

事業名	実施回数	事業概要
にしきよサタデースクール キッズわくわく体験隊	7	地域の自然を活用した体験学習を行うことで、地域の大人と子どもの交流を図った。
なんでも体験教室	5	有識者の方に協力をいただき、陶芸、イラスト・まんが教室やダンスレッスンを行い子どもたちの体験学習の機会とした。
正月お飾り作り教室	1	地域の伝統文化の伝承を目的として、地域の高齢者の方から「お飾り作り」を学んだ。
子育てサロン (家庭教育学級)	9	小～高校生期の子どもを持つ親を対象として、子どもたちの心身の発達や親子関係について学ぶとともに、親同士の交流を図る機会とした。
西清川歴史学級	7	主に県内の歴史を学び、郷土の歴史への理解と知識を深め、地域住民同士の交流を図った。
おとなの学び舎遊歩道	9	中高年を対象に暮らしに根付いた身近な課題や興味を深め、地域での仲間づくりを図った。
ワンデイハイキング	3	身近な自然に触れる機会を提供し、健康の増進と地域住民の交流・親睦を図るとともに、環境保全の意識を高めた。
てくてく木更津わくわく散歩 にしきよ謎解きウォークラリー～ギオンとナガイサグの謎～	1	西清川地区の「地域の歴史や自然、文化」を、他地域の住民や公民館を利用したことがない方々に紹介する街歩きを実施することで“地域の魅力”を再発見し公民館活動を周知することを目的とした。
にしきよ健康講座	6	健康の増進を目的とした講座の開催、健康を維持するための実技（健康ストレッチ）を実践するとともに、地域住民相互の交流を図った。
西清川福寿学級 (高齢者教室)	10	高齢者を取り巻く課題等の学習をするとともに、参加者相互の交流を図り、生きがいづくりの一助とした。
スマホ入門講座	1	初めてスマートフォンを使う方や、持っているけれど自信がない方を対象に、基本操作や使用方法を学んだ。
西清川公民館だより発行	12	公民館活動を広く周知するとともに、地域への情報発信、情報提供を目的として毎月1回発行し地域住民に配布した。
利用者懇談会	1	公民館を利用する団体・サークルが一堂に会し公民館利用についての意見交換、今後の円滑な運営等について協議を行った。
第33回西清川地区文化祭	1	西清川公民館で活動するサークルの日頃の学習成果と文化活動の発表の場を設けた。
図書貸出事業	通年	地域における読書活動の普及と推進を図った。
たこ作り教室 (生き生き子ども)	1	風づくりを通して親子、地域の大人と子どもの交流機会とするとともに、郷土の民俗文化への理解を深めた。(青少年育成会議と共催)
昔遊びのつどい (生き生き子ども)	1	昔遊び（竹とんぼ・竹馬・羽根つき・ペーゴマ・コマ・お手玉・けん玉など）を通して地域の子ども同士、大人と子どもの交流、郷土の民俗文化への理解を深めた。(青少年育成会議と共催)
西清川地区学社連携会議 (事務局)	1	木更津第三中学校区の西清小・祇園小・木更津第三中・西清川公民館の4機関の職員による情報交換により、事業の円滑な運営を図った。
三中学区青少年育成会議 (事務局)	通年	地域の青少年育成に関わる団体の連絡調整と啓発活動を行うことにより、青少年健全育成活動を推進した。
西清川まちづくり協議会 (事務局)	通年	地区における身近な課題に自主主体的に対処し、安全で安心な地域づくりの推進をはじめ、防災に関する施設見学や学習会を開催するなど、防災に関する意識を高めた。また、防犯パトロールの実施・防犯交通安全のぼり旗・看板等の設置を実施した。
KIZUNA（絆）コンサートの開催	1	定期利用の4サークルの協力を得て、音楽を楽しみながら地域住民の交流を図る機会として実施した。
にしきよ防災学習会(西清川まちづくり協議会共催)(地域課題)	1	西清川まちづくり協議会と共催で、防災学習会の開催や避難所開設訓練など、地域住民の防災意識を高める機会として実施した。
スクールアドベンチャーワールド2022 (生き生き子ども)	1	こどもたちの体験学習の充実を図るとともに、地域の大人との交流を図った。

○ 波岡公民館

事業名	実施回数	事業概要
遊び塾「なみ・はち」 (サタデースクール事業)	4	子どもたちの「遊び」の中での体験活動を充実させ、「生きる力」を育む機会とした。あわせて、波岡小学校と八幡台小学校の児童の交流を図った。(八幡台公民館共催)
思春期家庭教育学級 (八幡台公民館共催事業)	10	思春期の子どもの心身の発達や親子の関わり方を学ぶことで、家庭教育の充実を図った。また、親同士の交流を図った。八幡台公民館との共催事業。
波岡歴史講座	9	郷土の歴史・民俗・文化を学習し、郷土の理解を深めた。身近な歴史への興味関心をひく内容とした。
健康講座～体組成計でじぶんの体を知ろう～	1	体組成計の使用方法和データの見方を知り、健康作りに役立てる。
防災セミナー	2	防災について学習を深め、今後の地区の防災活動につなげていく機会となった。(波岡公民館地区まちづくり協議会・千葉県防災研修センター共催)
スマートフォン入門講座	2	デジタル社会に対応するため、スマートフォンの基本的な使い方を学習し、木更津市が推進する「らぶナビ」・「アクアコイン」等の周知を図った。
星空観賞会	1	星空観賞を通して自然への興味関心を高める機会とした。
たき火イベント	1	たき火を通して自然への関心を高め、イベントを通じて親子や若年層等新たな公民館利用者層の拡大を図った。
認知症についての講演会	1	認知症について正しい知識を得る機会とした。(波岡公民館地区まちづくり協議会共催)
利用者懇談会	2	サークル活動の意義や公民館・社会教育に対する認識を深め、サークル間の交流を図る機会とした。公共施設予約システムの使用方法について周知を図った。
波岡公民館運営協力委員会 (事務局)	通年	公民館と地区住民とのパイプ役として公民館運営への助言や協力を得た。
サークル支援事業	通年	主に公民館を利用する団体・サークルが円滑な運営をする為に求めに応じて支援した。

波岡公民館だより発行	12	地域の情報や公民館活動等の情報を提供した。
図書貸出事業	通年	地域における読書活動の普及と推進を図った。
波岡子育て学級	9	乳幼児親子の交流を図るとともに、育児に関する学習や情報交換の場として月1回開催した。
親子でホテルウォーク	1	地域ボランティアの協力によりホテルの観察会を実施し、親子及び地域住民の交流を促進した。
ふれあい（菜の花）教室 （高齢者学級）	9	健康や趣味等の学習会を通して、高齢者の生きがいがづくりや地域のコミュニティーづくりを推進した。
フリースペース赤ちゃんサロン	10	共働き家庭が増える中、0歳児の保護者が知り合い、地域の子育て仲間のつながりをつくる場を提供した。（波岡公民館地区まちづくり協議会共催）
フリースペースねんちようさん	3	入学前の不安を軽減する目的で入学前の同学年の交流を図った。転入検討中の家族の参加もあった。（波岡公民館地区まちづくり協議会共催）
夏休みこども工作教室 （サタデースクール事業）	-	新型コロナウイルス感染症対策のため中止。
てくてく木更津わくわく散歩～波岡公民館コース	1	B29搭乗員之墓・羽鳥野・熊野神社と波岡地区をぐるりと一周するコースを歩き、地域の魅力を再発見することができた。
波岡公民館地区まちづくり協議会（事務局）	通年	地域における諸課題に対し、地域各団体が連携を取り解決していく。組織の立ち上げ初年度として3つの部会で各々定例的に事業等を実施。主に、子育て支援部会はフリースペースを開催。防災部会は防災資機材用倉庫を設置・高齢者支援部会はガイドブックの検討と講演会を開催。
波岡地区学校公民館連絡会（事務局）	1	波岡中学校区内の小中学校・公民館による情報・意見交換、連絡・調整を行い連携を図った。
生き生き子ども地域活動促進事業	1	風づくりを通して親子、地域の大人と子どもの交流の機会とする。郷土の民俗文化への理解を深めた。（※波岡中学校区 八幡台公民館 青少年育成会議と共催）
第30回波岡地区文化祭（事務局）	1	3年ぶりに開催。展示・芸能発表・体験・小物販売など。

○ 桜井公民館

事業名	実施回数	事業概要
お飾り作り教室	1	青少年とその保護者を対象とした伝統文化の体験事業であり、親子での参加を原則としている。ボランティアの協力も得て世代間交流の場となった。
桜井公民館コミュニティカフェ	10	発達障がい（気になる）の子どもを持つ保護者や支援者の交流の場となった。
人とつながりものづくり講座	6	コロナ禍の閉塞感を解消し、暮らしに潤いをもたらす「フラワーアレンジメント」を中心に開催した。
木二中学区学社連携会議	1	木二小・請西小・真舟小・木二中の小中学校の担当職員と公民館職員で会合を持つことにより、相互の活動の円滑化・活性化を図った。
木更津市立木更津第二中学校区 青少年健全育成住民会議（事務局）	7	二中学区の青少年健全育成のため関係団体や教育機関等と相互の情報交換を主に行った。青少年懇談会と役員会等を実施した。（文京公民館共催）
地域交流防災学習体験会 （生き生き子ども）	1	災害に際し、自らが生活する二中学区の防災活動の担い手となることの気づきの場とすると共に、児童の健全育成と地域防災意識の向上のため各団体との連携・協力の場とすることを目的として実施した。（文京公民館共催）
ごみ拾い活動 （生き生き子ども）	1	新田・貝淵地区を中心にごみ拾い活動及び地域の危険箇所の確認を行った。（文京公民館共催）
公民館報「さくら公民館だより」 発行	6	学習情報等の提供により公民館活動への理解と推進を図り、地域づくりを促進した。
図書貸出事業	通年	地域における読書活動の推進と普及を図った。
日本伝統文化にふれよう！ 茶道体験教室 （サタデースクール事業）	7	新型コロナウイルス感染症対策のため対象小学校及び人数を制限して開催した。少人数であったため、講師の手厚い指導があり、参加者たちの満足度も高かった。
こどもまつり実行委員会	-	新型コロナウイルス感染症対策のため中止。
桜井親子家庭教育学級	6	七夕飾りづくり・芋ほり・クリスマス会等、親子での体験活動を中心に、ボランティアの方々の協力を得て実施した。
真舟小学校家庭教育学級	8	真舟小学校在籍児童の保護者を対象に、家庭教育の役割について学び、体験的な活動を通して親同士の交流を図りながら、子育てに関する諸問題をともに考える機会とした。
桜井あしたば学級	7	高齢者を取り巻く課題等を学習するとともに、体験的活動やバスハイク等を通して参加者相互の交流を図り、生きがいがづくりの一助とした。
スマートフォン入門講座	4	地域のデジタル化を推進する一助として、主として高齢層のデジタルディバイドの解消へ向けた情報学習に取り組んだ。
第21回桜井地区文化祭（事務局）	1	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、展示部門及び開館20周年特別展のみの開催であったが、490名の来館者があった。
利用者懇談会	2	サークル活動の意義や公民館・社会教育に対する認識を深め、サークル間の交流を図る機会とした。
桜井公民館協力委員会	5	公民館と地区住民をつなぐために、公民館運営の助言や協力を得ると同時に、文化祭・20周年記念事業の方向性について検討していただいた。
自然と親しむ ゆったりハイキング	3	天候不順により4回の計画のうち1回は中止となった。毎回定員を上回る参加申し込みがあり、好評を博している。
てくてく木更津わくわく散歩 ～鎌倉道～	1	桜井地区の歴史・自然・文化を他地域の方々や公民館を利用したことがない方々に紹介し、地域の魅力を再発見するとともに公民館利用促進の一助とした。若年層の参加者が多かった。
桜井公民館開館20周年記念事業 （事務局）		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、式典等は実施しなかったが、鎌足桜記念植樹、及び桜井地区の歴史を中心とした記念誌を発行した。

少年自然の家キャンプ場

生活体験・自然体験の機会が乏しくなっている青少年が、豊かな自然の中で心身を鍛錬し、生き生きとした野外活動を体験することによって、集団の中の規律・協働・友愛・奉仕の精神を身につけ、豊かな人間性を育むとともに、市民相互の交流を図る。

○ 施設の概要

1 北キャンプ場

- (1) キャビン 3 (各 8 人程度)
- (2) 炊事場 1 (かまど 10 基・流し)
- (3) 水洗トイレ 1 (男 7・女 4)

2 西キャンプ場

- (1) テント 5 (各 10 人程度)
- (2) キャビン 3 (各 8 人程度)
- (3) 炊事場 1 (かまど 10 基・流し)
- (4) 水洗トイレ 1 (男 7・女 4)

3 南キャンプ場

- (1) テント持ち込み (100 人程度)
- (2) 水道栓 1

4 その他の施設

- (1) 屋根付き広場 (広さ 138 m² テーブル・長いす 10 卓設置)
- (2) 自由広場 (広さ 1,260 m²、キャンプファイヤー場等)
- (3) シャワー室 (男女別各 3 温水シャワー)
- (4) 管理棟 (事務室・倉庫)
- (5) 駐車場 (普通自動車 48 台・大型バス 2 台)



○ 利用状況

(令和 5 年 1 月 1 日現在)

		令和 3 年度		令和 4 年度	
種 別		件 数	人 数	件 数	人 数
市 内	子 ど も 会	0	0	0	0
	青少年育成団体等	2	4 8	0	0
	青少年相談員	0	0	0	0
	学校	0	0	0	0
	ボーイ・ガールスカウト	1	1 2	2	4 5
	各種団体等	0	0	4	1 3 3
	行政・公民館	0	0	3	8 1
	個 人	1 6	8 0	2 4	9 2
市 外	青少年育成団体等	0	0	0	0
	各種団体等	0	0	0	0
	行政・公民館	0	0	0	0
	個 人	0	0	3	1 7
合 計		1 9	1 4 0	3 6	3 6 8

※ 延べ件数・延べ人数による集計 (1 人が 2 泊した場合には 2 人とカウントする)

図 書 館

○ 施設の環境整備

図書館は現在の場所に新館が設置され49年目を迎えた。その間、施設の増築、駐車場の拡張、書庫の電動化、空調設備工事を実施してきた。また、令和4年度においては耐震補強工事を実施した。環境整備にあたり、利用者にとって適正な環境を維持できるよう努めている。

○ 図書館サービス

生涯学習の拠点施設として、図書館資料の収集・保存・整備を行い、閲覧・貸出をはじめ、レファレンスサービスやおはなし会などの各種事業により市民の図書館利用の増進を図っている。また、図書館ホームページの公開、インターネットを活用した図書の予約・延長サービスの実施、各種データベースの導入など、情報化社会に対応したサービスを行っている。

令和3年1月に導入した電子図書サービスを充実させるとともに大活字本の収集やマルチメディアデジ図書の活用及び市内各地域の13公民館及び金田地域交流センター図書室の資料整備を行うことにより、読書の格差解消と読書環境の整備に努めている。

○ 読書の普及と支援

学校との連携による総合学習、調べ学習の支援は、学校教諭、読書相談員との連携を密に行い団体貸出を行うほか、子どもの本、学習支援の資料収集を積極的に行っている。また、学校のおはなし会や公民館での家庭教育学級への職員派遣、教職員研修、中学生の職場体験等の受け入れを行っている。

乳児と保護者を対象としたブックスタート事業のほか、乳幼児と児童には各種おはなし会を開催し、主催事業である各種講座を通して読書の普及に努めている。

市内の清和大学図書館、県内市町村図書館、県外図書館、国立国会図書館等と連携して協力体制をとり、資料提供を行っている。

○ 主 催 事 業 (令和3年度)

事 業 名	事 業 内 容	実 施 回 数	参 加 者 数
児 童 文 学 講 座	児童文学関係者による講演	1 回	31 人
ボ ラ ン テ ィ ア 講 座	点訳講座	1 回	12 人
図 書 館 お は な し 会	3歳児から小学生への素話の語りと絵本の読み聞かせ	90 回	932 人
保 育 園 お は な し 会	保育園児への素話の語りと絵本の読み聞かせ	139 回	2,790 人
大人のためのおはなし会	大人を対象とするおはなし会	2 回	32 人
雑誌リサイクルフェア	雑誌（保存期限切れ）の無償配布	2 日間	134 人
絵 本 講 座	絵本の選び方、おすすめ絵本の紹介	1 回	10 人
夏 休 み 企 画 工作教室・こわ〜いおはなし会 ・1日図書館員体験	夏休み子ども向け工作教室、季節のおはなし会、図書館の仕事体験	こわ〜いおはなし会 (2回44人) 半日図書館員体験 (6回22人)	66 人

れきおんミニコンサート	国立国会図書館の提供する歴史的音源(れきおん)を利用したコンサート	3 回	66 人
ブックスタート事業	乳児と保護者を対象に、絵本をひらく楽しさと絵本をプレゼントする事業	26 日開催	595 組配付

○ 図書館利用状況の推移

年 度	開館日数	入館者数	館外貸出登録者数		館外貸出利用者数	館外貸出冊数	
			12歳未満	12歳以上・施設等		児童書	一般書
平成29年度	284	120,666	47,668		87,976	416,427	
			3,178	44,490		132,006	284,421
平成30年度	283	117,304	49,365		85,927	404,831	
			3,090	45,966		124,378	280,453
令和元年度	263	109,444	51,171		83,017	379,858	
			2,953	47,664		122,538	257,320
令和2年度	192	62,233	52,183		49,988	235,892	
			2,679	49,504		71,437	164,455
令和3年度	288	88,783	53,855		75,456	360,151	
			2,565	51,290		119,839	240,312

※ 団体登録等(他市町村図書館等含む)の数 686を含む

○ 館外貸出登録者 性別・年齢別内訳 (令和4年3月31日現在)

性別・年齢別	性別			年齢別										
	男	女	計	0歳	7歳	13歳	16歳	19歳	23歳	30歳	40歳	50歳	60歳	計
登録者数(人)	21,432	31,737	53,169	513	2,048	1,628	1,941	2,983	5,631	8,338	9,748	6,968	13,371	53,169
比率(%)	40.3	59.7	100.0	0.9	3.9	3.1	3.7	5.6	10.6	15.7	18.3	13.1	25.1	100.0

※ 団体登録等(他市町村図書館等含む)の数 686を除く

○ 蔵書冊数の推移

年 度	総 数
平成29年度	359,519
平成30年度	361,414

令和元年度	3 6 7, 6 7 7
令和 2年度	3 6 9, 4 2 4
令和 3年度	3 7 6, 7 9 5

○ 分類別蔵書冊数 (令和4年3月31日現在)

種 別	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 総論	4 自然	5 技術	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	E 絵本	P 紙芝居	その他	うち 公民館 蔵	計
冊 数	12,335	10,516	38,140	44,617	23,386	24,015	11,162	25,719	4,536	135,266	27,600	887	18,616	50,367	376,795
比 率	3.3%	2.8%	10.1%	11.8%	6.2%	6.4%	3.0%	6.8%	1.2%	36.0%	7.3%	0.2%	4.9%	13.4%	100.0%

○ 障害者サービス (資料郵送貸出有)

年 度	登 録 者	貸出利用者	貸 出 冊 数	
			点 字 図 書	録 音 図 書
平成29年度	30	206	1, 2 5 6	
			1, 0 3 7	2 1 9
平成30年度	30	168	1, 0 6 5	
			7 2 6	3 3 9
令和元年度	30	100	7 1 1	
			6 1 5	9 6
令和 2年度	30	33	3 8 0	
			3 1 3	6 7
令和 3年度	31	29	2 9 8	
			2 7 1	2 7

○ 団体貸出 (保育園・学校・その他施設)

年 度	登 録 者	貸 出 冊 数
平成29年度	61	8, 0 9 2
平成30年度	67	11, 4 0 3
令和 元年度	67	7, 7 6 4

令和 2年度	6 8	4, 9 7 2
令和 3年度	6 6	6, 5 8 4

○ 公民館配本

年 度	配本施設（公民館）	配 本 冊 数
平成29年度	1 4	5 0, 5 8 8
平成30年度	1 4	4 8, 8 2 2
令和 元年度	1 4	4 9, 8 9 5
令和 2年度	1 4	5 0, 8 7 2
令和 3年度	1 4	5 0, 3 6 7

○ レファレンス及び資料複写サービス

年 度	調 査 ・ 回 答			資 料 複 写	
	電 話	口 頭	文書・メール	件 数	枚 数
平成29年度	6 4 4			1, 7 5 4	1 7, 6 3 0
	9 6	5 4 2	6		
平成30年度	6 3 4			1, 5 8 3	1 4, 7 0 7
	7 3	5 5 6	5		
令和 元年度	4 1 9			1, 3 5 2	1 2, 7 7 7
	4 9	3 6 5	5		
令和 2年度	3 3 4			8 5 3	8, 8 4 3
	5 3	2 6 8	1 3		
令和 3年度	2 4 7			1, 0 6 5	1 9, 0 6 0
	4 3	2 0 0	4		

○ 電子図書サービス

年 度	提供コンテンツ数	登録者数	貸 出 冊 数
令和 2年度	7, 9 3 7	4 1 1	9 2 5
令和 3年度	1 2, 3 0 7	1, 2 9 5	3, 9 8 9

郷土博物館 金のすず

○経営の重点

【展示活動】令和3年7月17日から常設展示の構成を一新し営業を再開した。令和4年から特別展等を4年ぶりに再開した。

【調査活動】令和3年度に『煌めく金鈴塚』を刊行し、平成22年度から継続していた金鈴塚古墳の共同研究事業を終了した。

【教育普及活動】感染対策を施しながら可能な範囲で「きさらづ文化財ガイドボランティアの会」との連携により、昔のくらし体験学習や旧安西家住宅の展示解説等を実施した。また他の博物館等への資料の貸出、特別利用の対応および講師派遣を行った。新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮して、主催事業を自粛していたが、令和3年度から再開した。

【施設の環境整備】定期的に職員による作業日を設け、施設の環境適正・美化に努めた。

○主要事業の概要

1. 職員体制

R3年度：館長1名（会計年度任用職員）・副館長1名（学芸員）・副主幹1名（学芸員）・主任主事1名（学芸員）・主任主事2名（再任用。うち1名12月末退職）・会計年度任用一般職員3名（学芸業務1名・受付業務等2名）

R4年度：館長1名（会計年度任用職員）・副館長1名（学芸員）・副主幹1名（学芸員）・主任主事1名（学芸員）・主任主事2名（再任用。うち1名短時間）・会計年度任用一般職員2名（受付業務等2名）

2. 展示活動

（1）常設展

空調工事に伴う休館期間を利用して常設展示の構成を改め、令和3年7月16日に常設展示リニューアル記念式典を開催し、翌17日から通常開館した。令和4年特別展終了後に第2展示室（金鈴塚）の展示替えを実施した。

（2）企画展等

年度	展 示 名 称 ・ 期 間 ・ 観 覧 者 数
3	富来田公民館出前展示 令和4年1月4日～令和5年12月24日 観覧者数：未集計 富来田公民館の展示ホールの一部を利用して主にパネル展示で実施。
4	第46回「千葉県移動美術館」9月17日～10月16日（開館26日）1,019人 ギャラリートーク 10/1：5人 10/2：12人 木更津市制施行80周年特別展「江戸絵画の美」11月1日～11月30日（開館26日間）1,238人 講演会：講師 千葉市美術館学芸課長 松尾知子 11月13日開催 参加者52人 内覧会：10/31 10時～11時30分 参加者37人

3. 調査活動

上総金鈴塚古墳出土品再整理報告書等刊行事業

R3年度：事業最終年度として普及版『金鈴塚古墳出土品ガイドブック 煌めく金鈴塚』を刊行した。記念講演会は新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止となった。

文化財調査

R3年度：市内個人所蔵民俗資料2箇所の調査及び桜井厳島神社棟札の赤外線調査の協力を実施した。また市民ボランティア等と協力して金鈴塚古墳出土品の写真撮影を33日間実施した。

R4年度：奈良国立文化財研究所の協力を得て、奈良県で出土した木更津関係木簡資料の複製・復元品作成に着手した。市民ボランティア等と協力して金鈴塚古墳出土品の写真撮影を33日間実施した。

4. 管理

資料管理

・収蔵資料管理

R3年度：空調工事終了後、展示室及び収蔵庫の全館燻蒸に代わりIPM思想による展示ケース内及び収納棚等のエタノール殺菌清掃を行った。

R4年度：本館1階第1・2収蔵庫の整理を一部実施した。

・寄贈資料の受入 申請のあった資料を検討の上、適宜受入を実施した。

R3年度：市外個人1：第2海軍航空廠関連レンガほか 市外採集資料1：模型カーフェリーきさらづ丸 市内採集資料2：大正期の鉄道地図、平成期の防災等マップ 合計4件

R4年度：市内個人2：木造船模型、昭和40年代の写真/日章旗寄書・千人針 公民館からの保管替え1：明治期等の文書類 図書館からの保管替え3：県指定文化財至徳堂関係資料・県指定文化財天正検地帳・市指定文化財鈴木三郎家蔵古文書 合計6件

・寄託資料の受入 R3年度：3件（林忠崇揮毫「熊野神社扁額」1点・下烏田区有文書32点・木更津神社関係献納受領書1点） R4年度：なし

環境管理

R3年度：清掃業務委託の内に館外清掃を新たに設けたことにより、職員による業務負担が軽減した。館外からの資料受入等には、適宜、殺虫剤による資料の保全を図った。

R4年度：旧安西家住宅周辺の倒木を整備して旧安西家住宅用の薪利用を進めた。

建物管理

R3年度：第3展示室天井補修工事（6/11～6/25） 保管庫水道蛇口、給水管漏水修理（4/23） 資産管理課と修繕の次年度以降の計画を協議した。

R4年度：本館トイレ排水管改修工事（4/1～4/24） 旧安西家住宅放水銃一式の取り換え工事を資産管理課が主管となり令和5年度完成を目指し業務に着手した。

5. 教育普及活動

（1）博学等連携事業

・博物館実習受け入れ R3年度：6大学6名（8/27～9/7） R4年度：3大学3名（8/24～9/6）

・教職員研修受入・職場体験受入 R3年度：大学1年生のインターンシップを半日受け入れた。

R4年度：市内中学校1校3名を1日受け入れた。

・講師派遣 講師として郷土に関する講義を実施した。（詳細は別表参照）

R3年度：市内公民館10回

R4年度：市内公民館9回 市外公民館1回 市内小学校1回 生涯学習課1回 その他2回

- ・学校等見学等受入 小学校を中心に、昔のくらし・社会科見学を主として体験学習等を受け入れた。小学校の昔のくらし体験学習では、「きさらづ文化財ガイドボランティアの会」の協力などにより、石臼による黄粉作り、いろり等の体験を行った。

R3年度：11校（小学校等11校＝市内9校、市外2校） 公民館10館（市内6館、市外4館）

※新型コロナウイルス感染防止対策を受けて2校・1館が中止となった。

R4年度：13校（小学校等13校＝市内11校、市外2校） 公民館5館（市内4館、市外1館）

他3団体（大学2校、木更津市社会教育研究会1）

（2）資料貸出等

R3年度：特別利用（熟覧・撮影等）14件/計20点 貸出2件/計12点 借用3件/60点

貸出先 重要文化財千葉県金鈴塚古墳出土品関係資料（国立歴史民俗博物館） 東京湾海底出土陶器（千葉経済大学地域経済博物館）

借用先 常設展示のリニューアルをするにあたり、展示品として資料を借用した。

木更津市立図書館（市指定文化財「鈴木三郎家蔵古文書」7点・県指定文化財「至徳堂関係資料」3点・重城家文書1点） 友の会（はたおり関連資料3点）

R4年度：特別利用（熟覧・撮影等）23件/計78点 貸出6件/計30点 借用1件/33点

貸出先 国立歴史民俗博物館（重要文化財千葉県金鈴塚古墳出土品関係資料） 千葉市立郷土博物館（真里谷城跡出土資料・市指定文化財上総鋳物師大野家関係資料） 愛知県陶磁美術館（市指定文化財灰釉双耳壺） 大田区立郷土博物館（勾玉） 新宿区歴史博物館（市指定文化財中越遺跡出土小銅鐸附石製舌） 袖ヶ浦市郷土博物館（浮世絵）

借用先 千葉市美術館（特別展用江戸絵画33点） 友の会（はたおり関連資料3点）

R3年度に図書館から借用した古文書類は保管替えにより博物館管理となった。

（3）講座等（詳細は別表参照）

R3年度：郷土文化伝承体験講座2回 きさらづ歳時記4回 木更津風土記3回 他は新型コロナウイルス感染防止対策及びリニューアルオープン準備のため開催を見合わせた。

R4年度：郷土文化伝承体験講座1回 きさらづ歳時記3回 夏休み体験教室「勾玉づくり教室」1回 歴史講座「金鈴塚古墳を学ぶ」6回 古文書講座6回 上映会1回

（4）旧安西家住宅利用状況 R3年度：1件（5/8 有料） R4年度：なし

6. 協議会など

郷土博物館金のすず協議会 R3年度：1回（6/25） R4年度：1回（7/5）

令和4年11月1日からあらたに第8期の委員が10月の教育委員会議で承認された。

君津地方公立博物館協議会 木更津市・君津市・袖ヶ浦市の公立博物館による協議会。

R3年度：理事会（6/4 12/10） 担当者会議（8/18 11/12 3/30）

R4年度：理事会（5/22 11/25） 担当者会議（7/15 11/5） 研修会（12/21）

千葉県博物館協会 県内の博物館の団体。R4年度から役員（監事）に就任。

R3年度：総会（5/20 書面開催） 災害時情報伝達訓練（3/12）

R4年度：総会（5/24 オンライン開催）

日本博物館協会「博物館研究」の年間購読等により今日的な博物館の課題、情報を収集。

R3・4年度：新型コロナウイルス感染防止対策のため全国博物館館長会議不参加。

その他 君津地方社会教育研究会

社会教育に関する問題解決等のため、君津地方4市の職員が集まり、実践および研修を重ねることで、専門的なスキルアップを図る。

7. 友の会の活動

R3年度：会員数51名 定期総会1回（書面開催） 役員会7回 会報23・24号発刊

太田山クリーンデー1回

R4年度：会員数45名 定期総会1回（書面開催） 役員会4回 会報25号発刊 サークル展

1回（11/1～11/30）

8. きさらづ文化財ガイドボランティアの会への委託

旧安西家住宅への来館者に対する解説等を委託した。また、旧安西家住宅へ来館した小学3年生の昔の暮らし体験学習を受け入れた。

R3年度：活動193日間 来館者3,366人・ガイド延べ796人 定期総会1回（書面開催） 役員会9回

R4年度：活動198日間 来館者2,302人・ガイド延べ701人 定期総会1回（書面開催） 役員会6回

※新型コロナウイルス感染防止対策のため、以下の時期を活動休止とした。

令和3年4月1日～7月31日 令和4年8月1日～31日

※活動継続及び新型コロナウイルス感染防止の両立のため、以下の時期を午前のみの活動とした。

令和4年12月1日～27日

9. 入館者の推移

年度	利用者 総数	観覧者 総数	中学生 以下	一般	65歳 以上	※1 その他	主催事業 等参加者	開館 日数
3	6,571	5,212	1,605	2,148	1,040	355	1,359人	※2 304日
4	9,912	5,401	1,484	2,144	1,388	385	1,511人	※2 232日

※1 その他とは高校生・大学生など。

※2 旧安西家住宅開館日数。

令和3年度は7月17日リニューアルオープンのため本館開館日数212日。

令和4年は特別展準備・撤収等の臨時休館のため本館開館日数205日。

別表 5. 教育普及活動 (3) 講座など

○ 令和3年度

郷土文化伝承体験講座 ※はたおり講習会は新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴い中止。

月	日	曜日	会場	タイトル	講師	参加者
12	19	日	多目的室	正月飾り作り教室	大鹿幸恵・尾崎進・長野直幸	15
1	30	日	旧安西家住宅	西上総の味噌作り教室	大鹿幸恵・佐伯信子・沼田静代	15

古文書講座

月	日	曜日	会場	タイトル	講師	参加者
1	29	土	多目的室	中級編	實形裕介	7
2	29	土	多目的室	中級編2	實形裕介	8
3	19	土	多目的室	中級編3	實形裕介	8

地域学講座「木更津風土記」

月	日	曜日	会場	タイトル	講師	参加者
1	30	日	多目的室	長須賀古墳群と丸山古墳をめぐって	木更津市郷土博物館金のすず職員	21
2	27	日	多目的室	木更津のあけぼのー原始ー	木更津市郷土博物館金のすず職員	20
3	20	日	多目的室	木更津市の誕生と発展	木更津市郷土博物館金のすず職員	14

きさらづ歳時記

月	日	曜日	～	月	日	曜日	会場	タイトル	内容	参加者
4	24	土	～	5	5	水	旧安西家住宅	旧安西家住宅の端午の節句	鯉のぼりの飾り付け	未集計
7	1	木	～	7	7	水	旧安西家住宅	旧安西家住宅の七夕	七夕飾り	未集計
9	14	火	～	9	20	祝・月	旧安西家住宅	旧安西家住宅の十五夜	お月見	131
2	16	水	～	3	6	日	旧安西家住宅	旧安西家住宅のひな祭り	雛飾り	419

講師派遣

月	日	曜日	会場	タイトル等	参加者
5	16	日	岩根公民館エリア 内史跡巡り	てくてく木更津わくわく散歩 いにしへの岩根～石造物と歴史を訪ねて～	18
10	15	金	畑沢公民館	はたざわ歴史講座第6回学習会 長須賀古墳群について	34
11	18	木	西清川公民館	歴史学級第6回 幕末の木更津	14
11	18	木	富来田公民館	富来田ふるさと講座 小櫃川の歴史について	23
11	26	金	八幡台公民館	八幡台郷土史講座 木更津市指定文化財	19
12	16	木	東清公民館	ふるさと歴史講座第7回 東清川地区ってどんどこ	16
12	16	木	富来田公民館	ふるさと歴史講座 真里谷城と真里谷武田氏	21
12	23	木	東清公民館	令和3年度石造物調査隊第7回 椿、笹子、犬成地区の石造物について	12
1	20	木	東清公民館	ふるさと歴史講座第8回 東清川地区ってどんどこ その2	17
1	27	木	富来田公民館	富来田ふるさと講座第6回 戊辰戦争と木更津	13

○ 令和4年度

郷土文化伝承体験講座 ※はたおり講習会は新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴い中止。

月	日	曜日	会場	タイトル	講師	参加者
12	18	日	多目的室	正月飾り作り教室	大鹿幸恵・尾崎進・長野直幸・福田志津子	9

歴史講座「金鈴塚古墳を学ぶ」

月	日	曜日	会場	タイトル	講師	参加者
7	23	土	多目的室	金鈴塚古墳とは	木更津市郷土博物館金のすず職員	15
8	27	土	多目的室	光輝く遺産 装身具	木更津市郷土博物館金のすず職員	15
9	24	土	多目的室	光輝く遺産 銅鏡	木更津市郷土博物館金のすず職員	16
10	15	土	多目的室	光輝く遺産 装飾付大刀①	木更津市郷土博物館金のすず職員	14
11	19	土	多目的室	光輝く遺産 装飾付大刀②	木更津市郷土博物館金のすず職員	11
12	17	土	多目的室	光輝く遺産 武器と武具	木更津市郷土博物館金のすず職員	12

古文書講座

月	日	曜日	会場	タイトル	講師	参加者
7	16	土	多目的室	入門編	實形裕介	16
8	13	土	多目的室	入門編2	實形裕介	15
9	10	土	多目的室	初級編	實形裕介	13
10	8	土	多目的室	初級編2	實形裕介	13
11	12	土	多目的室	初級編3	實形裕介	10
12	10	土	多目的室	中級編	實形裕介	8

夏休み体験教室

月	日	曜日	会場	タイトル	講師	参加者
8	27	土	多目的室	勾玉づくり教室	博物館実習生	14

きさらづ歳時記

月	日	曜日	～	月	日	曜日	会場	タイトル	内容	参加者
4	23	土	～	5	8	日	旧安西家住宅	旧安西家住宅の端午の節句	鯉のぼりの飾り付け	258
7	1	金	～	7	9	土	旧安西家住宅	旧安西家住宅の七夕	七夕飾り	178
9	1	木	～	9	10	土	旧安西家住宅	旧安西家住宅の十五夜	お月見	36

講師派遣

月	日	曜日	会場	タイトル等	参加者
5	15	日	富津市富津公民館	近世木更津周辺の石工	31
5	24	火	波岡公民館	縄文時代の木更津	14
5	15	日	岩根公民館	いにしへの岩根～石造物と歴史を訪ねて～	12
5	28	土	中央公民館	「ここまでわかった！金鈴塚古墳」	66
7	16	土	市立図書館	「真里谷武田氏について」八剱八幡神社所蔵の「上総国古文書」から	22
7	21	木	東清公民館	「縄文時代のきさらづ」	20
8	18	木	東清公民館	「縄文時代のきさらづ」	16
7	21	木	富来田公民館	「木更津市の歴史・金鈴塚古墳研究成果について」	15
7	16	土	NHK文化センター柏教室	木更津市域における縄文集落	6
7	26	火	岩根公民館	「金鈴塚古墳」について	15
10	13	木	清見台公民館	ふるさと講座第4回「江戸幕府の終焉と木更津」	13
11	24	木	南清小学校	第6学年社会科学習「江戸時代のみなとまち木更津～そして、今」	84
11	24	木	富岡公民館	「金鈴塚古墳出土品からわかる当時の木更津」	22
12	24	土	生涯学習課	生涯学習市民公開講座「金鈴塚古墳を学ぶ」	90

上映会

月	日	曜日	～	月	日	曜日	会場	タイトル	内容	参加者
8	13	土	～	8	14	日	多目的室	太平洋戦争関連ドキュメンタリー作品 上映会	DVD上映会	11

青少年指導関係

1. 活動方針

家庭、地域、学校、警察署や内房地区少年センター、南房総教育事務所生徒指導班、児童相談所等の関係機関との連携を密に、青少年の非行を防止し、健全育成を図る。

2. 業務内容

(1) 相談活動

①来所相談、電話相談、メール相談等の充実に努める。

相談受理件数（令和4年12月31日現在）

来所相談	電話相談	メール相談	合計
14件	90件	34件	138件

②関係諸機関との連携を密に、効果的な支援に努める。

(2) 街頭指導

①計画指導 青色灯装着車による街頭パトロールを週1回以上実施する。

②地区指導 青少年補導員による街頭指導を中学校区毎に実施する。

③特別指導 関係諸機関・諸団体と連携し、JR乗車マナー指導及び花火大会終了後のパトロール（分散開催）等、特別街頭指導を実施する。

実施状況 (令和4年12月31日現在)	実施回数(回)	延従事者(名)	指導少年数(名)
計画指導	63	122	0
地区指導	114	328	0
特別指導(花火・JR)	4	72	0
合 計	128	396	0

(3) 安心して安全にインターネット環境を利用するため

①インターネットリテラシーの向上を目指した授業、講演会、啓発活動等の実施。

②県の実施するネットパトロールと連携し、適切な指導・支援を行う。

(4) 関係機関・団体との連携

①学校、警察、児童相談所等との協力体制の推進強化を図る。

②各種連絡会議との連携を図る。

(5) 啓発活動

①青少年健全育成のための広報紙等を定期的に発行する。

②未成年による飲酒・喫煙、危険ドラッグ、薬物乱用等の防止・撲滅に関する各種キャンペーンに参加する。(中止)

(6) 青少年指導関係運営協議会

青少年の健全な育成及び非行の防止を支援するために、関係行政・教育機関及び団体

の代表で構成される青少年指導関係運営協議会を設置している。

委員は市長が委嘱し、任期2年、定数15名以内と定められている。(現員数14名)

(7) 青少年補導員

青少年補導員は、地域における非行状況の情報連絡をするとともに、自主的組織の青少年補導員連絡協議会を組織し、地区活動を中心に主たる業務である街頭補導に従事するほか、地域環境浄化活動にも積極的に従事している。

青少年補導員は、市長が委嘱し、任期2年、定数100名以内と定められている。

(現員数78名 令和5年1月1日現在)

7. 資 料

歴代教育委員及び教育長

年度	教 育 委 員			
	委 員 長	委 員 長 職務代理者	委 員	教 育 長
S 27	大日方惟信	浜名 儀三	加藤 儀助 ・ 梶 良一 ・ 加藤 議祐	斉藤 善治 (助役事務取扱)
28	浜名 儀三	梶 良一	加藤 儀助 ・ 大日方惟信 ・ 伊藤 誠	東條 繁樹
29	浜名 儀三	梶 良一	加藤 儀助 ・ 大日方惟信 ・ 伊藤 誠 平野千之助	東條 繁樹
30	梶 良一	加藤 儀助	浜名 儀三 ・ 大日方惟信 ・ 伊藤 誠 平野千之助 ・ 伊藤 正雄 ・ 渡辺 庄司	東條 繁樹
31	末吉 弥吉	加藤 儀助	内藤 津多 ・ 渡辺 庄司	小山 義雄
32	末吉 弥吉	加藤 儀助	内藤 津多 ・ 鳩飼 茂	小山 義雄
33	末吉 弥吉	加藤 儀助	内藤 津多 ・ 鳩飼 茂	小山 義雄
34	末吉 弥吉	鳩飼 茂	内藤 津多 ・ 堀切 友雄	小山 義雄
35	鳩飼 茂	堀切 友雄	内藤 津多 ・ 末吉 弥吉	小山 義雄
36	堀切 友雄	内藤 津多	安西 忠蔵 ・ 末吉 弥吉	小山 義雄
37	堀切 友雄	安西 忠蔵	内藤 津多 ・ 末吉 弥吉 ・ 大日方雄三	小山 義雄
38	堀切 友雄	安西 忠蔵	内藤 津多 ・ 大日方雄三	小山 義雄
39	堀切 友雄	安西 忠蔵	内藤 津多 ・ 大日方雄三	小山 義雄
40	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 大日方雄三	小山 義雄
41	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 大日方雄三	小山 義雄
42	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 大日方雄三	小山 義雄
43	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 大日方雄三	小山 義雄
44	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 大日方雄三 ・ 榎本 武雄	小山 義雄
45	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 榎本 武雄	小山 義雄
46	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 榎本 武雄	小山 義雄
47	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 榎本 武雄	小山 義雄
48	堀切 友雄	内藤 津多	市川 舜蔵 ・ 榎本 武雄 ・ 中村 武雄	小山 義雄
49	堀切 友雄	内藤 津多 榎本 武雄	中村 武雄 ・ 高橋 裕吉	小山 義雄
50	堀切 友雄 榎本 武雄	佐久間重男	中村 武雄 ・ 高橋 裕吉	小山 義雄
51	榎本 武雄	佐久間重男	中村 武雄 ・ 高橋 裕吉	小山 義雄
52	榎本 武雄	佐久間重男	中村 武雄 ・ 高橋 裕吉	小山 義雄

年度	教 育 委 員			
	委 員 長	委 員 長 職務代理者	委 員	教 育 長
S 53	榎本 武雄	佐久間重男	中村 武雄 ・ 高橋 裕吉	小山 義雄
54	榎本 武雄	佐久間重男	中村 武雄 ・ 高橋 裕吉	小山 義雄
55	榎本 武雄 佐久間重男	佐久間重男 高橋 裕吉	高橋 裕吉 ・ 中村 武雄 ・ 鈴木 達也	小山 義雄 原 保
56	佐久間重男	高橋 裕吉	中村 武雄 ・ 鈴木 達也 ・ 鹿間 敏夫	原 保
57	佐久間重男	高橋 裕吉	鈴木 達也 ・ 鹿間 敏夫	原 保
58	佐久間重男	高橋 裕吉	鈴木 達也 ・ 鹿間 敏夫	原 保
59	佐久間重男	高橋 裕吉	鈴木 達也 ・ 鹿間 敏夫	原 保 栗林 信夫
60	佐久間重男	高橋 裕吉	鈴木 達也 ・ 鹿間 敏夫	栗林 信夫
61	佐久間重男	高橋 裕吉	鈴木 達也 ・ 鹿間 敏夫	栗林 信夫
62	佐久間重男 高橋 裕吉	高橋 裕吉 鈴木 達也	鈴木 達也 ・ 鹿間 敏夫 ・ 高橋 せい	栗林 信夫
63	高橋 裕吉	鈴木 達也 鹿間 敏夫	鹿間 敏夫 ・ 高橋 せい ・ 白石 英夫	栗林 信夫
H 1	高橋 裕吉	鹿間 敏夫	高橋 せい ・ 白石 英夫	栗林 信夫
2	高橋 裕吉 高橋 せい	鹿間 敏夫	高橋 せい ・ 白石 英夫 ・ 山本 恭雄	栗林 信夫
3	高橋 せい	鹿間 敏夫	白石 英夫 ・ 山本 恭雄	栗林 信夫
4	高橋 せい	鹿間 敏夫	白石 英夫 ・ 山本 恭雄	栗林 信夫
5	高橋 せい 鹿間 敏夫	鹿間 敏夫 白石 英夫	高橋 せい ・ 山本 恭雄	栗林 信夫
6	鹿間 敏夫	白石 英夫	高橋 せい ・ 山本 恭雄	栗林 信夫
7	鹿間 敏夫	白石 英夫	高橋 せい ・ 山本 恭雄 ・ 石川 茂子	栗林 信夫
8	鹿間 敏夫	白石 英夫 石川 茂子	杉井 和夫 ・ 橘田 昭雄	栗林 信夫 西村 堯
9	鹿間 敏夫 杉井 和夫	杉井 和夫 橘田 昭雄	橘田 昭雄 ・ 石川 茂子 ・ 石井 利枝	西村 堯
10	杉井 和夫	橘田 昭雄	大日方惟忠 ・ 石井 利枝	西村 堯
11	杉井 和夫	橘田 昭雄	大日方惟忠 ・ 石井 利枝 ・ 井原 一恵	西村 堯
12	杉井 和夫 橘田 昭雄	橘田 昭雄 大日方惟忠	大日方惟忠 ・ 井原 一恵 ・ 青木 和義	西村 堯
13	橘田 昭雄	大日方惟忠	井原 一恵 ・ 青木 和義	西村 堯
14	橘田 昭雄	大日方惟忠	井原 一恵 ・ 青木 和義	西村 堯
15	橘田 昭雄	大日方惟忠	井原 一恵 ・ 青木 和義 ・ 清崎 光恵	西村 堯
16	橘田 昭雄 青木 和義	大日方惟忠	青木 和義 ・ 清崎 光恵 ・ 石井 英美	西村 堯 初谷 幹夫

年度	教 育 委 員			
	委 員 長	委 員 長 職務代理者	委 員	教 育 長
H 17	青木 和義	大日方惟忠	清崎 光恵 ・ 石井 英美	初谷 幹夫
18	青木 和義	大日方惟忠	清崎 光恵 ・ 石井 英美	初谷 幹夫
19	青木 和義	大日方惟忠	清崎 光恵 ・ 石井 英美	初谷 幹夫
20	青木 和義 石井 英美	大日方惟忠 清崎 光恵	清崎 光恵 ・ 石井 英美 大日方惟忠 ・ 青木 和義	初谷 幹夫
21	石井 英美	清崎 光恵	大日方惟忠 ・ 青木 和義 ・ 武井 紀夫	初谷 幹夫
22	石井 英美	清崎 光恵	青木 和義 ・ 武井 紀夫 ・ 長谷部理絵	初谷 幹夫
23	石井 英美	清崎 光恵 長谷部理絵	武井 紀夫 ・ 長谷部理絵 ・ 吉田 一雄	初谷 幹夫
24	石井 英美	長谷部理絵	武井 紀夫 ・ 吉田 一雄	初谷 幹夫
25	石井 英美	長谷部理絵	武井 紀夫 ・ 吉田 一雄	初谷 幹夫
26	石井 英美	長谷部理絵	武井 紀夫 ・ 吉田 一雄	初谷 幹夫
27	—	石井 英美	武井 紀夫 ・ 吉田 一雄 ・ 長谷部理絵	高澤 茂夫
28	—	武井 紀夫	吉田 一雄 ・ 長谷部理絵 ・ 渡部 佳子	高澤 茂夫
29	—	武井 紀夫	吉田 一雄 ・ 長谷部理絵 ・ 渡部 佳子	高澤 茂夫
30	—	武井 紀夫	吉田 一雄 ・ 渡部 佳子 ・ 豊田 雅之	高澤 茂夫
31 (R1)	—	武井 紀夫	渡部 佳子 ・ 豊田 雅之 ・ 井上 美鈴	高澤 茂夫
R2	—	武井 紀夫	渡部 佳子 ・ 豊田 雅之 ・ 井上 美鈴	高澤 茂夫
R3	—	武井 紀夫 渡部 佳子	豊田 雅之 ・ 井上 美鈴 ・ 小寺孝治郎	廣部 昌弘
R4	—	渡部 佳子	豊田 雅之 ・ 小寺孝治郎 ・ 加藤 緑	廣部 昌弘

教育功勞被表彰者一覧

年度	氏 名（団 体 名）
S 28	山崎 直 ・ 榎本 武治 ・ 時田 新蔵 ・ 中村 平吉 ・ 石渡健三郎 ・ 堀切 友雄 ・ 君塚 嘉夫 ・ 佐久間重男 ・ 栗原 金司
29	石井 幹夫 ・ 小熊 君子 ・ 三枝 重蔵 ・ 市川 清茂 ・ 高橋 卓一 ・ 河田 陽 ・ 藤倉 信雄
30	近藤 音松 ・ 松本菊治郎 ・ 鈴木 和子 ・ 安田 静一 ・ 小野 秀三 ・ 藤倉 信雄 ・ 望月 湊 ・ 嶋田 廣吉
31	浅井 泰治 ・ 内海 茂 ・ 飯塚 しづ ・ 浪久 丈雄 ・ 榎本 武雄 ・ 細井子之助 ・ 林 好雄
32	宮本 寿吉 ・ 古屋 昇 ・ 篠崎 弘 ・ 服部 てい ・ 藤倉 かね ・ 山田 金吾 ・ 若鍋千代吉 ・ 山崎 ふさ
33	北見 日吉 ・ 大日方雄三 ・ 竹内 隆 ・ 白木 光郎 ・ 内藤百合子
34	杉山 聞多 ・ 平野 要 ・ 鈴木 康夫 ・ 鈴木利三郎 ・ 神子 仁明 ・ 飯塚 信明
35	鈴木 保 ・ 山田 千鶴 ・ 佐藤 富士 ・ 石渡 真一 ・ 黒田 清 ・ 鈴木 一平 ・ 松 美佐雄 ・ 植松 仁子 ・ 泉水 潔 ・ (点字奉仕会)
36	花崎農夫寿 ・ 古藤田茂雄 ・ 内木 みち ・ 山田精五郎 ・ 三沢 英夫 ・ 北見 定吉 ・ 鈴木 静夫 ・ (西上総文化会木更津支部)
37	大日方惟信 ・ 藤代善次郎 ・ 唯野 寿雄 ・ 北村つめよ ・ 多田 一夫 ・ 神頭 千代 ・ 根本 安代 ・ 石川 寛 ・ 伊藤 俊栄
38	竹内正太郎 ・ 高橋 まつ ・ 青柳 三郎 ・ 鳥海ゆき江 ・ 高橋 せい ・ 細野 鹿蔵 ・ 在原 定雄 ・ 柴崎 みつ
39	畑野 敏 ・ 三枝 正夫 ・ 細井 美和 ・ 山口 祐正 ・ 伊草 光次 ・ 桐谷 清 ・ 林 英樹
40	栗原 正美 ・ 関口 清二 ・ 斉藤 新蔵 ・ 磯辺 快子 ・ 桑田 馨二 ・ 梶川 環 ・ 山本 恭雄
41	田村 きよ ・ 小倉 重成 ・ 青木 秀 ・ 内藤賀寿夫 ・ 関口 義雄 ・ 小島 寿子 ・ (武道連盟)
42	田村 芳美 ・ 岩瀬 すみ ・ 落合 均 ・ 杉浦 和平 ・ 安田 智堂 ・ 高橋 省己 ・ 千代倉 胖
43	竹内金兵衛 ・ 渡辺 達雄 ・ 本多 光子 ・ 斉藤 藤江 ・ 森 美代子 ・ 本吉 雄吉 ・ 高木 茂男
44	吉川 金一 ・ 根本 隆之 ・ 鶴岡 清子 ・ 高崎 繁雄 ・ 秋楽 幸子 ・ 嶋野 一雄 ・ 鈴木 安雄
45	積田 博 ・ 佐藤美代子 ・ 重田 まさ ・ 榎本 功 ・ 鈴木 文子 ・ 鈴木 重雄 ・ 赤川 徹男
46	若林 隆 ・ 安西 輝子 ・ 小梶 和子 ・ 八剣 澄子 ・ 村上 香 ・ 田村きみ江 ・ 山口 健一
47	原 保 ・ 和田 裕之 ・ 武長 瑾英 ・ 刈込 淑子 ・ 相沢 雪 ・ 飯田 哲夫 ・ 石井 堅一 ・ 宇野 六夫 ・ 守 智雄 ・ 勝呂 国利 ・ 羽瀬 玲子
48	石橋 郁夫 ・ 分目 茂 ・ 石井 富子 ・ 大久保 進 ・ 小林 きく ・ 渡辺 和彦 ・ 横須賀 孝
49	前田 弘次 ・ 近藤 禮治 ・ 磯貝 ツヤ ・ 森本 俊 ・ 小林 いつ ・ 国分 貞子 ・ 西山 六郎
50	大河原三夫 ・ 平野 勉 ・ 平戸 襄 ・ 立石智恵子 ・ 高橋 巴子 ・ 鳥飼 誠 ・ 手島 宏晴 ・ 小原 三郎 ・ 楠田伝次郎
51	石川 俊夫 ・ 榎沢 竹夫 ・ 磯崎 愛子 ・ 水野 章男 ・ 下室 高治 ・ 安達 武夫 ・ 大岩 徳 ・ 川名寿美恵 ・ 曾根 和男
52	柳瀬 秀雄 ・ 白石 三郎 ・ 筑紫 栄徳 ・ 荒居善次郎 ・ 鶴岡 つね ・ 池田 幹男 ・ 庄司 邦夫 ・ 鈴木 健之 ・ 佐久間さく
53	天羽 隆雄 ・ 浅井 昭 ・ 相川 良二 ・ 三枝 園子 ・ 山口 敏子 ・ 鈴木 恒子 ・ 小籠 定長 ・ 鈴木 音彌 ・ 花輪 正好

年度	氏 名 (団 体 名)
S 54	齋藤武次郎・田浦壽太郎・藤里 玲子・景山喜久子・斉藤 誠・山口 栄治・ 吉川智恵子・福島 健次・鳥飼明二郎
55	片山 好實・鈴木 騎兵・安田 敬・林 秀雄・牛島登志子・土屋 清子・ 石川 明・庄司 肇
56	重田 吉彦・渡辺 敏夫・中島 京・桑田 芳枝・萱野 敏彦・井上 亮三・ 辻田 昇・八剣 昭雄
57	谷萩 武雄・青柳 文夫・榎本しづえ・早田 芳子・瀬戸 正嗣・森山 弘大・ 渡辺 弘己・稲垣 新清・大溝 晴史・重城 良造
58	増田 治男・刈込 仁・嶋田伊富子・鈴木 恵子・松本 祐子・東 秀和・ 館脇 きよ・山田 弘・富澤 一枝
59	山口 清次・竹内 秀夫・安田 祿彌・小林 セツ・和地 妙子・市東 良子・ 安藤 小平・伊藤 満
60	大沢 雅一・星野 享永・渡辺 博・尾棹 正夫・鈴木 郁夫・曾根美代子・ 藤寄百合子・山本 茂子・白石 裕
61	鈴木 隆・萩原 一郎・三枝 公一・高橋 君子・八剣 茂・富澤 義夫・ 渡辺 朱美・山本 良治・吉田 明
62	石渡 三郎・山田 重昭・藤里 公一・細谷 竹松・和地 恵實・山口 かの・ 安藤 はま・篠辺 正和・塩塚 重雄・大野 進
63	郷津 信賢・鈴木 泰明・山口 満夫・花澤 重男・山口 義雄・鈴木 昇・ 小川 弘子・古宮 玲子・川口 純・関 正輪
H 1	重田 勲・米澤 安夫・曾根 英範・岡田 良平・岸 守・松永 和夫・ 鈴木 久子・地曳 岩夫・高木 厚行・壇谷 洋
2	榎本 秀夫・須藤 英夫・藤寄 啓好・林 務・鈴木 和郎・鈴木 敏男・ 箱守 和子・川本 勉・飯田厚三郎・大日方 洋・高橋 竹乃・石井美佐子・ 磯辺 明・和泉 禮明・飯島 咲子
3	竹内 哲也・前田 昇・牛島 新治・小川 郁夫・石渡 重彦・山田 文子・ 池田 昭・荻野 敬次・鳥海 郁二
4	東條 章夫・鶴野 光雄・鈴木 勝江・茂田 政睦・宇渡 明巳・高浦早智子・ 藤倉 貞子・武井 重雄・仲田 一・磯貝 良・影山 乾一・篠田 一恵
5	石井 恭雄・川名 伸夫・和田 公喜・宮森 文郎・柴崎 明子・能星みち子・ 菅野恵美子・勝呂 至孝・鈴木 寛・桑田きみ子・宮崎 祐致・石井 久喜・ 鳥飼 政枝
6	関口 敏夫・中山 寿弘・中村 督民・平野 勲・古谷 鉄男・羽山 豊春・ 谷澤那美江・庄司安兵衛・大野 英二・本吉 松博・平瀬雄二郎
7	野口 芳宏・石川仁一郎・小川 昇・鈴木 貞雄・松江 俊昭・渡辺美智子・ 岡庭カツ子・大塚 淳・村山 康太・伊草 文代・桐谷 新三・杉井 和夫・ 芳野 眞任
8	茂田 才治・福本 清治・錦織 正道・金子 馨・景山 正之・吉田 重夫・ 鈴木 良彰・三木美代子・磯貝 昇・今井 香樹・萱野 文雄・馬場 昭夫
9	鈴木 義明・木村 智行・能星 晃・長谷川久治・柳川 秀雄・酒井 正雄・ 前田 宏・鈴木 房子・小磯 利夫・赤川 宣子・岡田 正剛・高橋 一美・ 安部トシ子・(木更津市美術連盟)
10	木田 繁・青柳 敬子・伊藤 淑江・小池 和夫・君塚 桂子・板倉美代子・ 安藤 智子・江野沢眞弓・鹿間 敏夫・小泉ヨシ子・石井 芳夫・瀬能 正一・ 榛沢 敦子・(こあらの会)
11	齋藤 福一・福原 功・高橋 恵子・吉田 恵子・廣部 尚子・伊藤 三子・ 山田 勝巳・安達 弦太・藤井 一夫・山口 延善・石井 久子・田村 幸雄・ 吉野 郁子・加藤 房江・永島 貞二
12	押野見邦彦・三上 勝彦・浦部紘一郎・石邑祐一郎・平野紀美子・勝又 節子・ 平野 弘子・佐久間道子・安積美智子・藤井 昭夫・市川 昇・鈴木 芳則・ 青木 和義・網中 和子・(木更津ばやし保存会)
13	飯島 公一・村松 和久・安藤 昭之・御園 信弘・須貝 和子・川名 好枝・ 中村 和成・大日方惟忠・佐藤 敏彦・細井系太郎・齊藤 昭平・山田 節義・ (木更津市子ども会育成連絡協議会)

年度	氏 名 (団 体 名)
H 14	鈴木 克彦 ・ 根本榮治郎 ・ 山口 正明 ・ 奈良輪 索 ・ 柳生 直宣 ・ 園田 陽子 ・ 松沢 廣子 ・ 宮本 紀子 ・ 鳥海 照代 ・ 鳥海ひろみ ・ 齊藤 英子 ・ 水野 信義 ・ 飛澤 彰 ・ 筑紫 敏夫
15	鴻池 敦 ・ 鵜田 憲司 ・ 横内 規明 ・ 磐井美千代 ・ 吉元 玲子 ・ 横内きよ子 ・ 石渡 宏 ・ 吉田 敬 ・ 小竹 和己 ・ 櫻井 満 ・ 吉田 光代 ・ 鈴木 克己 ・ 蘇我 芳章 ・ (木更津市体育協会) ・ (木更津市文化協会)
16	藤沢きよ子 ・ 平野 寛 ・ 勝畑 利光 ・ 磯貝 修一 ・ 大塚 典夫 ・ 川名眞木子 ・ 功刀 和子 ・ 八角 泰男 ・ 勝呂 文恵 ・ 磯貝 節子 ・ 地曳 貞二 ・ 原 初恵 ・ 廣部 一 ・ (千葉県自転車軽自動車商協同組合木更津支部)
17	林 俊之 ・ 實形勢津子 ・ 関口 一眞 ・ 高橋 博光 ・ 渡邊 啓子 ・ 露寄 信子 ・ 村野はるみ ・ 鈴木 俊子 ・ 門田 秀夫 ・ 磯貝 隆久 ・ 鈴木 敏子 ・ (岩根西地区青少年健全育成振興会) ・ (木更津新能の会)
18	長島 眞 ・ 齋藤 勇 ・ 磯崎 正利 ・ 川名 和夫 ・ 長谷川貢一 ・ 武田 敏子 ・ 上田 光代 ・ 松清 央 ・ 小関 洋男 ・ 石村 元章 ・ 島田登美夫 ・ 桑田 光正
19	磯貝 章 ・ 鈴木 健治 ・ 田村 博 ・ 平野えい子 ・ 宇野 裕子 ・ 中山 立子 ・ 長尾 幸子 ・ 綾野美登里 ・ 上田 誠治 ・ 橋爪 洋平 ・ 市東 良子 ・ 山口 一郎 ・ 鵜田 隆一 ・ 武藤 義彦
20	鈴木 順一 ・ 鎌田 実 ・ 藤森けい子 ・ 鈴木 節子 ・ 今井 裕文 ・ 古泉美根子 ・ 石井 禎一 ・ 相沢枝里子 ・ 飯田 勉 ・ 吉崎 治美 ・ 溝口五百子 ・ 筑紫 敏夫
21	小原 俊郎 ・ 内藤 健一 ・ 塩田 耕司 ・ 鈴木 正美 ・ 永嶋 博文 ・ 高橋 純子 ・ 嶋田 敏恵 ・ 山田ゆり子 ・ 鈴木喜代江 ・ 杉山 公夫 ・ 鈴木 勝也 ・ 渡辺 和彦
22	高村 直道 ・ 土井 淳治 ・ 多田 元樹 ・ 石井 春久 ・ 古閑 晃一 ・ 玉川 剛 ・ 鈴木 雄子 ・ 内海 晃 ・ 齋藤眞理子 ・ 平山 政彦 ・ 山下 博 ・ 佐々木幸生 ・ 李 程英
23	林 正巳 ・ 明石 知幸 ・ 白石 修一 ・ 多田 芳明 ・ 石井 吉明 ・ 宮城三津子 ・ 内藤 成人 ・ 柳澤 裕子 ・ 森 孝子 ・ 鈴木 克己 ・ 水野 幸子
24	栗原 正志 ・ 桐谷 和美 ・ 古泉 忠之 ・ 小尾 哲郎 ・ 齋藤 幸子 ・ 大岩 静江 ・ 長谷川文子 ・ 平野 洋子 ・ 八代 時江 ・ 宮崎 恵子 ・ (木更津市婦人会連絡協議会)
25	田口 哲郎 ・ 渡辺 正悟 ・ 高澤 茂夫 ・ 池田 武 ・ 神子 由之 ・ 堤 千枝子 ・ 鹿島 都子 ・ 佐久間 薫 ・ 久我 京子 ・ 泉水 桂子
26	小高已喜男 ・ 篠原 和行 ・ 伊東 晶一 ・ 安川 公子 ・ 荒井 幸江 ・ 加藤 則子 ・ 山本 泉 ・ 仲野 憲治 ・ 杉本 正美 ・ 山口 治彦 ・ 石井 典子 ・ 佐久間ひさい ・ 志保沢博央 ・ 山田 治子
27	石井 章 ・ 関口 明 ・ 小川 善彦 ・ 大胡 利一 ・ 萱野 弘之 ・ 伊藤 俊樹 ・ 渡邊 義明 ・ 原田 智子 ・ 岩崎 淳
28	加藤 高明 ・ 竹内 淑子 ・ 江田 欣弘 ・ 積田 一重 ・ 永嶋 偉子 ・ 上田 順次 ・ 中村 吉朗 ・ 関 和一 ・ 竹重 厚志 ・ 若海 和広 ・ 大久保尚子
29	山本 卓人 ・ 藤平 慶子 ・ 鈴木 修一 ・ 額賀 敏行 ・ 平野千津子 ・ 武田 重雄 ・ 横田由起子 ・ 宮下 育夫 ・ 小宮 邦夫 ・ 齋藤 裕子
30	米澤 雅史 ・ 積田 等 ・ 安田 正幸 ・ 佐々木洋子 ・ 桑田 清行 ・ 縄谷 尚志 ・ 宮崎 眞司 ・ 伊藤結実子 ・ 小尾みどり ・ 高品 律子 ・ 吉田 裕子 ・ 地曳 昭裕 ・ 青木美津子
31 (R1)	廣部 昌弘 ・ 佐藤 千明 ・ 田村 淳也 ・ 矢野 直明 ・ 北川 久雄 ・ 越川 茂夫 ・ 伊藤 裕美 ・ 星野志げ子 ・ 鈴木 一枝 ・ 緒形由美子 ・ 鶴岡 宗一 ・ 中澤 恵 ・ 松本 衣江 ・ (木更津ユネスコ協会)
R 2	河野 勝 ・ 前田 達哉 ・ 齊藤 毅人 ・ 藤寄 保 ・ 市原 浩 ・ 平 一晶 ・ 小峯 清茂 ・ 矢田 博幸 ・ 白石 雅子 ・ 大庭 俊哉 ・ 高梨 朋子 ・ 丸山 隆子 ・ 中村 哲 ・ 荻野 敬次 ・ (かずさジュニアオーケストラ)
3	高野 芳一 ・ 大木 昌代 ・ 小倉 敏幸 ・ 増田 一秀 ・ 大木 栄子 ・ 鵜田友美子 ・ 橘田 和子 ・ 山口 正美 ・ 水田佐恵子 ・ 藤平紀代美 ・ 内田慎一郎 ・ 石村比呂美 ・ 宮崎 敏江 ・ 大日方幸子 ・ (中島区文化財保存会)
4	篠田 薫 ・ 齋藤 雄一 ・ 西 克夫 ・ 吉沢 信之 ・ 臼井 弘子 ・ 唐鎌 勲 ・ 故窪田 宏一 ・ 根本 勝也 ・ 宮下 英子 ・ 額賀美代子 ・ 藤寄 啓子 ・ 鳥飼 栄一 ・ 石渡 恵理 ・ 入野すみ江 ・ 吉澤 隆子 ・ 藤浪 孝 ・ 天野 早苗

市内指定等文化財一覧

令和5年1月1日現在

番 号	種 別	名 称	現所在地	所有者	指定年月日	員数	備考
国指定	1	重要文化財 (考古資料)	千葉県金鈴塚古墳出土品	木更津市	S34. 6. 27 R 2. 9. 30	一括	追加
	2	重要有形民俗文化財 (生産、生業に用いられるもの)	上総掘りの用具	木更津市	S35. 6. 9 H 7. 12. 26	258点	追加
国選択	1	記録選択 (無形民俗文化財)	木更津市中島の梵天立て	中島 (神事会場は金田漁業協同組合裏の水神宮付近の海)	中島区文化財保存会	H 4. 2. 25	
国登録	1	登録文化財 (建造物)	選擇寺本堂	中央1-5-6	選擇寺	H12. 2. 15	1棟
	2	登録文化財 (建造物)	下郡郵便局旧局舎	下郡	個人所有	H16. 7. 23	1棟
	3	登録文化財 (建造物)	ヤマニ綱島商店店舗	中央2-5-9	個人所有	H23. 7. 25	1棟
県指定	1	記念物 (史跡)	金鈴塚古墳	長須賀430	木更津市	S25. 11. 3	251㎡
	2	有形文化財 (彫刻)	銅造阿弥陀如来立像	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木野根沢区	S29. 3. 31	1躯 寄託
	3	有形文化財 (彫刻)	木造薬師如来立像	桜井1450	東光院	S30. 12. 15	1躯
	4	有形文化財 (彫刻)	木造薬師如来坐像	請西	法人所有	S35. 6. 3	1躯
	5	有形文化財 (工芸品)	金銅孔雀文磬	請西	法人所有	S35. 6. 3	1面
	6	有形文化財 (工芸品)	金銅五鈎鈴	請西	個人所有	S35. 6. 3	1点
	7	民俗文化財 (無形民俗文化財)	木更津ばやし	中央 (旧仲片町)	木更津ばやし保存会	S38. 5. 4	
	8	有形文化財 (工芸品)	梵鐘 (長禄三年在銘)	真里谷1760	妙泉寺	S39. 4. 28	1口
	9	有形文化財 (古文書)	制札	請西	法人所有	S39. 4. 28	1枚
	10	有形文化財 (考古資料)	黄瀬戸灰釉木の葉文瓶 附 常滑不識壺	永井作1-4-66	善光寺	S40. 4. 27	各1口
	11	有形文化財 (建造物)	須賀神社本殿	祇園524	須賀神社	S54. 3. 21	1棟
	12	民俗文化財 (有形民俗文化財)	東京湾のり生産用具	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	S54. 3. 2	一括
	13	有形文化財 (古文書)	天正検地帳 (上総国望陀郡菅生庄請西之郷御縄打水帳)	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	S57. 4. 6	16冊
	14	有形文化財 (絵画)	板絵著色富士の巻狩図絵馬	長須賀2444	日枝神社	H 5. 2. 26	1面
	15	有形文化財 (考古資料)	上総大寺廃寺露盤	大寺1029	熊野神社	H13. 3. 30	1点
	16	有形文化財 (歴史資料)	至徳堂関係資料	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	H14. 3. 29 H20. 3. 18	220点 追加
	17	有形文化財 (考古資料)	高部30号墳・32号墳出土品	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	R 2. 3. 10	27点
市指定	1	記念物 (史跡)	斎藤昌麿の墓	小浜	個人所有	S39. 3. 25	1基
	2	記念物 (史跡)	鳥海酔車の墓	長須賀1668 福寿寺内	個人所有	S39. 3. 25	1基
	3	記念物 (史跡)	鑄匠大野五郎右衛門遺跡	矢那	個人所有	S40. 2. 20	30㎡
	4	有形文化財 (書跡)	橘守部遺墨	小浜	個人所有	S40. 2. 20	23点
	5	有形文化財 (古文書)	鈴木三郎家蔵古文書	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	S40. 6. 17	一括
	6	有形文化財 (工芸品)	徳川家より下賜された獅子頭	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	中央 (旧北片町)	S40. 9. 6	1体
	7	有形文化財 (古文書)	木更津船之由緒書	中央	個人所有	S40. 9. 6	1点
	8	有形文化財 (彫刻)	長楽寺の五輪塔	請西	法人所有	S41. 4. 22	1基
	9	記念物 (史跡)	真武根陣屋遺址	請西1139-33	木更津市	S41. 4. 22	39㎡
	10	記念物 (史跡)	貝渕木更津県史蹟	貝渕3-10-1	木更津市	S41. 4. 22	960. 53㎡
	12	有形文化財 (彫刻)	嶺田楓江寿碑	富士見1-6-4	八剱八幡神社	S44. 7. 1	1基
	13	有形文化財 (彫刻)	加藤家の板碑・五輪塔	矢那	個人所有	S45. 6. 11	4基
	14	有形文化財 (絵画)	江戸期の風俗図屏風六曲一隻	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	S51. 2. 17	1隻

市指定	15	有形文化財 (古文書)	小倉家文書	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	個人所有	S51. 2. 17	2点	寄託
	16	有形文化財 (書跡)	寛平御時后宮歌合断簡「春」	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	S51. 2. 17	1幅	
	18	有形文化財 (彫刻)	木造聖観音立像	万石176	金勝寺	S52. 6. 6	1躯	
	19	記念物 (天然記念物)	安西家のキササギ (キササゲ)	草敷	個人所有	S56. 4. 23	1樹	
	20	有形文化財 (建造物)	旧安西家住宅	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	S56. 4. 23	1棟	
	21	有形文化財 (歴史資料)	五大力船絵馬	富士見1-6-4	八剱八幡神社	S59. 2. 23	1面	
	22	記念物 (天然記念物)	松本家のグミ	大稲	個人所有	S60. 12. 12	1樹	
	23	有形文化財 (絵画)	八剱八幡神社の格天井装飾画	富士見1-6-4	八剱八幡神社	S61. 9. 12	162面	
	24	記念物 (天然記念物)	根本家の椎	真里谷	個人所有	S63. 1. 20	1樹	
	26	有形文化財 (歴史資料)	上総鋳物師大野家関係資料	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	個人所有	H14. 1. 4	一括	寄託
	28	記念物 (天然記念物)	「鎌足桜」祖株	矢那1245 高蔵寺内	木更津市	H17. 2. 25	1株	
	29	有形文化財 (彫刻)	木造釈迦如来坐像	曾根96	釋蔵寺	H19. 2. 5	1躯	
	30	民俗文化財 (無形民俗文化財)	桜井の獅子舞	桜井	桜井獅子舞 保存会	H22. 6. 2		
	31	有形文化財 (彫刻)	富士見厳島神社の社殿彫刻	富士見1-7-10	厳島神社	H23. 6. 29	3点	
	32	有形文化財 (歴史資料)	銅造聖観世音菩薩立像	茅野683-1	善雄寺	H25. 8. 20	1躯	
	33	有形文化財 (考古資料)	灰釉双耳壺	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	H27. 4. 24	1口	
	34	有形文化財 (考古資料)	庚申塚 9 号墳出土方頭大刀	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	R2. 10. 20	1振	
	35	有形文化財 (考古資料)	宮脇遺跡出土奈良三彩小壺 附伴出土土師器	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	R2. 10. 20	1点	
	36	有形文化財 (考古資料)	中越遺跡出土小銅鐸 附石製舌	太田2-16-2 木更津市郷土博物館金のすず	木更津市	R4. 8. 9	1点	

(1) 番号：市の指定文化財については指定書の番号を用いているか、その他の指定等文化財については木更津市において次の文化財指定等区分ごとに通し番号を付した。

文化財指定等区分

国指定＝国の重要文化財 県指定＝千葉県が指定した文化財 市指定＝木更津市が指定した文化財

国選択＝「記録選択制度」によって記録を残すべく選択された文化財（指定文化財とは異なる）

国登録＝「文化財登録制度」によって文部科学大臣が文化財登録原簿に登録する文化財（指定文化財とは異なる）

(2) 指定年月日：国選択および国登録に区分された文化財については、選択年月日および登録年月日にそれぞれ読み替えるものとする。

(3) 欠番：市指定11号「板絵著色富士の巻狩図絵馬」、同25号「至徳堂関係資料」、同27号「高部30号墳・32号墳出土資料」は、県指定文化財へ移行のため欠番とした。市指定17号「高蔵寺本堂・山門・鐘楼」は、指定解除により欠番とした。

(4) 追加指定：国指定2の「上総掘りの用具」と県指定16の「至徳堂関係資料」については、当初指定後に追加指定があった物件であるため、追加指定年月日を下段に併記した。

(5) 国指定1の「千葉県金鈴塚古墳出土品」は追加指定に伴い、「上総木更津金鈴塚古墳出土品」から名称を変更した。

学 校 施 設 等

○ 小 学 校

令和4年5月1日現在

No.	学校名	創 立 年 月 日	校 舎			普通 教室	特 別 教 室										校 地				屋 内 運 動 場					
			鉄筋 鉄骨 ア ロ ック	木造	計		理 科	生 活	音 楽	図 画 工 作	(美 術)	(技 術)	家 庭	外 国 語	視 聴 覚	コ ン ピ ュ ー タ	図 書 室	特 別 活 動	教 育 相 談	(進 路 指 導) 資 料		計	建 物 敷 地	運 動 場 敷 地	そ の 他	計
1	第 一 小	M 6.	5,811		5,811	17	1		1	1	1	1	1	1	1	1	2	5	2	15	7,082	5,062	1,090	13,234	1042	
2	第 二 小	M 6. 2.	4,783	12	4,828	17	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	5	1	11	9,318	10,520		19,838	831	
3	東 清 小	M20. 5. 20	2,509	152	2,694	7	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	8	7,980	8,081	4,467	20,528	1,024	
4	西 清 小	M 6. 5. 4	3,107		3,126	13	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1	9	4,736	2,757	940	8,433	1,118	
5	南 清 小	M 6. 4.	4,977	348	5,371	17	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	8	7,178	10,276	3,952	21,406	954	
6	岩 根 小	M 6.	5,394	19	5,433	16	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	8	1	15	9,807	8,851	482	19,140	950	
7	波 岡 小	M41. 4.	3,686	62	3,748	10	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	3		8	5,379	7,037	4,447	16,863	703	
8	鎌 足 小	M 6. 7.	2,233	32	2,265	8	1		1	1	1	1	1	1	1	1	2		6	6,875	6,520	2,285	15,680	600		
9	金 田 小	M26. 8.	2,545	1207	3,794	15	1		1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	7	10,011	11,893		21,904	658		
10	中 郷 小	M 6.	33	22	1429	8	1		1	1	1	1	1	1	1	1		1	5	5,907	4,807	104	10,818	624		
11	清見台小	S45. 4. 6	5,880	102	6,035	24	1		1	1	1	1	1	1	2	2	6	1	15	8,283	6,381	7,616	22,280	1,201		
12	高 柳 小	S46. 4. 5	5,983	132	6,182	15	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	8	1	15	13,812	13,359		27,171	808	
13	富来田小	M 5. 8. 1	2,413	508	2,979	9	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7	8,869	3,727		12,596	603		
14	祇 園 小	S49. 4. 5	6,691	132	6,823	25	2	1	2	1	1	1	1	1	1	2	5	1	15	12,362	7,625	2,289	22,276	1,273		
15	畑 沢 小	S53. 4. 5	5,881	207	6,121	21	1		1	1	1	1	1	1	1	1	7	1	13	10,515	10,425	5,768	26,708	900		
16	請 西 小	S54. 4. 3	4,901	1,023	5,924	20	1		1	1	1	1	1	1	1	1	8	1	15	10,354	7,438		17,792	900		
17	八幡台小	S56. 4. 3	3,873	1,720	5,593	30	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7	26,444	6,696		33,140	900		
18	真 舟 小	H26. 4. 1		8,120	8,120	34	1		1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	9	20,237	15,548		35,785	1,110		
計			70,700	13,798	1,833	306	19	2	19	15	0	0	18	5	1	2	22	67	18	0	188	185,149	147,003	33,440	365,592	16,199

○ 中 学 校

令和4年5月1日現在

No.	学校名	創立 年月日	校 舎			普通教室	特 別 教 室										校 地				屋 内 運動場						
			鉄筋 鉄骨	鉄骨 ﾌｫｯｸ	木造		計	理 科	(生活)	音 楽	(図画工作)	美 術	技 術	家 庭	外国語	視聴 覚	ｺﾝﾍﾟｭｰﾀ	図 書 室	特 別 活 動	教 育 相 談		進 路 指 導 料	計	建 物 敷	運動場 敷	その他	計
1	第一中	S22. 4. 22	4,157		41	4,198	12	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	3	15	10,956	11,404		22,360	1,065	
2	第二中	S22. 5. 10	4,206	98		4,304	17	2	1	1	1	1	1	2		1	1	3	2		14	7,702	9,327	1,268	18,297	1,051	
3	第三中	S22. 4. 1	181	4,978		5,159	13	2	1	1	1	1	1	2		1	1	2	1	1	13	6,746	8,404		15,150	1,029	
4	岩根中	S22. 4. 30	4,382	54	36	4,472	8	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	6	2	1	18	11,335	17,811		29,146	1,067	
5	鎌足中	S22. 5. 10	1,866		76	1,942	5	1	1	1	1	1	1	1	1		1	2	1		9	8,727	13,272	935	22,934	875	
6	金田中	S22. 5. 10	1,672	340	92	2,104	5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1		11	5,950	10,443		16,393	967	
7	富来田中	S22. 5. 10	3,220	23	100	3,343	5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	6	1		15	7,607	25,086		32,693	843	
8	太田中	S52. 4. 5	4,537	1348	26	5,911	24	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		13	14,095	13,459	4,109	31,663	997	
9	畑沢中	S55. 4. 5	3,679	243	76	3,998	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	3	1	14	13,949	18,971		32,920	1,018	
10	岩根西中	S57. 4. 1	3,871	162	66	4,099	9	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	1		12	10,392	12,659	2,352	25,403	1,000	
11	波岡中	S58. 4. 1	4,564		76	4,640	15	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	6	1		15	8,430	17,322	2,512	28,264	1,040	
12	清川中	S60. 4. 1	3,751		43	3,794	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2		11	10,884	11,208	721	22,813	990	
計			40,086	7,246	632	47,964	137	19	0	14	0	13	12	14	1	0	11	12	39	19	6	160	116,773	169,366	11,897	298,036	11,942
小中学校 合計			110,786	21,044	2,465	134,295	443	38	2	33	15	13	12	32	6	1	13	34	106	37	6	348	301,922	316,369	45,337	663,628	28,141

○ 木更津市学校給食センター

令和5年1月1日現在

開設年月日	所在地	構造階層	敷地面積	延床面積
平成21年4月1日	潮見二丁目13番地1	鉄骨造2階建	5,474.93㎡	2,524.08㎡

○ 木更津市まなび支援センター

令和5年1月1日現在

開設年月日	所在地	構造階層	敷地面積	延床面積
昭和55年4月1日	朝日一丁目8番17号	鉄筋コンクリート造2階建て	2,314.45㎡	778.61㎡

社会教育施設

施設名	設置年月日	所在地	構造階層	部 屋 名	敷地面積 ㎡	建築延面積 ㎡	備 考
中央公民館 (戸分館)	S38. 4. 1 (S50. 3. 28)	富士見1-2-1 (戸230)	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下2階・ 地上9階建て (一部3階建て) (木造平屋)	スパークルシティ木更津6階/第1～7会議室 アクア木更津B館3階/多目的ホール (集会室3、和室)	972.89 376.00	972.89 376.00 (95.58)	移転新築 S51. 2. 1 移転 (賃借) H30. 7. 1 青年の家廃止H30. 6. 30
富来田公民館	S42. 4. 1	真里谷110	鉄筋コンクリート造 一部木造2階建て	展示ホール、多目的ホール、ラウンジ、図書室、保育室、体育室、和室、 茶室、調理実習室、工芸実習室、会議室、研修室第1・2、学習相 談室、グループ交流スペース、更衣室、印刷室	6,082.60	2,318.90	改築 H14. 1. 1
岩根公民館	S32.10. 1	高柳3-2-1	鉄筋コンクリート造2階建て	学習室1・2・3・4、集会室、休養室、保育室	582.21	564.08	改築 S51. 4. 1
鎌足公民館	S32.10. 1	矢那899-1	鉄筋コンクリート造2階建て	研修室、学習室、調理実習室、和室、工作室、図書室	4,108.36	514.17	改築 S55. 4. 1
中郷公民館	S32.10. 1	井尻789-1	鉄筋コンクリート造2階建て	児童図書室、和室、視聴覚室、研修室1・2、調理実習室	1,260.62	563.56	改築 S55.10. 1
富岡公民館	S42. 4. 1	下郡1770-1	鉄筋コンクリート造平屋建て	集会室2、会議室、研修室、和室、資料室	1,090.89	265.23	一部改築 S62. 3. 31
文京公民館	S55.10. 1	文京2-6-54	鉄筋コンクリート造2階建て	集会室、学習室、休養室、保育室、オーディウム	1,388.88	549.92	
八幡台公民館	S55.12. 1	八幡台4-2-1	鉄骨造平屋建て	図書室、和室1・2、実習室、学習室1・2、集会室	6,002.48	635.24	
東清公民館	S57. 4. 1	笹子469-1	鉄筋コンクリート造2階建て 一部木造平屋建て	研修室1・2・3、調理実習室、図書室	1,861.35	572.14	
清見台公民館	S58. 4. 1	清見台南5-1-29	鉄筋コンクリート造2階建て	集会室、図書ホール、和室、研修室1・2、調理実習室	3,307.71	748.63	
清見台コミュニティ センター附属体育館	S58. 8. 1	清見台南5-1-29	鉄骨造2階建て	アリーナ、トレーニング室2、更衣室2	1,870.06	1,402.74	
畑沢公民館	S59. 4. 1	畑沢1,053-12	鉄筋コンクリート造2階建て	集会室、保育室、休養室、学習室1・2、調理実習室	2,871.49	658.51	
岩根西公民館	S61. 4. 1	江川934-1	鉄筋コンクリート造2階建て	集会室、保育室、休養室、学習室1・2・3、調理実習室	2,392.60	663.62	
西清川公民館	H 2. 4. 1	永井作2-11-12	鉄筋コンクリート造2階建て	集会室、保育室、休養室、学習室1・2・3、調理実習室	2,207.47	733.58	
波岡公民館	H 5. 4. 1	大久保5-7-1	鉄筋コンクリート造2階建て	集会室、学習室1・2・3、調理実習室、図書室、休養室	3,192.81	773.134	
桜井公民館	H14. 4. 1	桜井新町4-2	鉄筋コンクリート造2階建て	集会室、保育室、休養室、学習室1・2、学習室3、調理実習室	2,997.60	1,045.49	
図書館	S 4. 3. 25	文京2-6-51	鉄筋コンクリート造2階建て	貸出室(一般・児童)、会議室、和室、郷土資料室、参考調査室、 書庫1・2、館長室、事務作業室、別棟恵春庵	5,071.53	1,994.11	移転新築 S49. 7. 31
郷土博物館 金のすず	H20. 4. 1	太田2-16-2	鉄筋コンクリート造3階建て ほか	本館(展示室9、収蔵庫2)、新収蔵庫、旧安西家住宅、保管庫 (旧金鈴塚遺物保存館)	2,638.92	2603.11	旧 県立 上総博物館
少年自然の家 キャンプ場	S60. 4. 1	真里谷5343-8	プレハブ平屋建て (管理棟)	管理棟、キャンプ場、フェリス7、炊事場2(4m×20m)、便所2、物見 台、屋根付広場、自由広場、シャワー室	114,809 共用30,000	875.82	

令和４年度 木更津市の教育

発 行 日 令和５年３月
編集・発行 木更津市教育委員会
教育部 教育総務課

〒292-8501 木更津市朝日三丁目１０番１９号

電 話 ０４３８（２３）５２４３

F A X ０４３８（２５）３９９１

E-mail kyo-soumu@city.kisarazu.lg.jp

HPアドレス <http://www.city.kisarazu.lg.jp/1.html>